

健康・快適居住環境に関するアンケート調査 報告書

平成29年3月



東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課

目次

I	調査の概要	2
II	質問事項と集計結果	5
	【(A) 住宅の状況について】	5
	【(B) 冷暖房や換気等について】	13
	【(C) 害虫、ねずみ、殺虫剤等について】	32
	【(D) 消臭、洗濯等について】	44
	【(E) 清掃・寝具の管理等について】	46
	【(F) 家族の構成とアレルギー疾患等について】	53
	【(G) ペット（動物）について】	68
	【(H) 給水や臭気、居住環境等について】	70
III	調査票	77
IV	単純集計表	93
V	世帯タイプ別クロス集計表	119

I 調査の概要

1 調査の目的

都では、健康を支える快適な居住環境について、望ましい基準や住まいの問題点及び改善点等を示した「健康・快適居住環境の指針」（以下「指針」という。）を平成7年に策定し、保健所等での普及啓発を行っている。

近年、共働き世帯や高齢者世帯の増加等に伴う生活スタイルの変化や、住宅の高密度化・高断熱化などに伴い、居住環境を取り巻く状況が変化しており、現在の都民の生活実態を指針の改定に反映させ生活実態に合わせた保健指導を行うため、居住環境やダニ、カビ等の室内アレルゲン対策等に関するアンケート調査を実施した。

2 調査実施機関

調査主体：東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課

調査委託先：株式会社アストジェイ

3 調査実施方法

対 象：都内（島しょ地区を除く）に居住する2,000人（世帯）

抽出方法：住民基本台帳に基づき、以下により層化二段無作為抽出法により抽出

地点数 100地点（一地点当たり20人）

層 化 東京都内を区市町村ごとに次の7地点に分類

（区部）

センター・コア・エリア —— 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・
渋谷・豊島・荒川

区部東部・北部エリア —— 北・板橋・足立・葛飾・江戸川

区部西部・南部エリア —— 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬

（市町村部）

多摩東部エリア —— 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・
西東京・狛江・清瀬・東久留米

多摩中央部北エリア —— 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村・瑞穂

多摩中央部南エリア —— 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城

多摩西部エリア —— 青梅・あきる野・日の出・奥多摩・檜原

調査方法：対象者に調査票を郵送し、郵便による回答又はインターネット回答により回収

期 間：平成28年10月5日（水曜日）から同月24日（木曜日）まで

4 回答率

有効回答件数：875件（郵送 713件／Web 162件）

回 答 率：43.8%

地域別回収結果：区部 566件（回収率 40.4%）、多摩地区 296件（回収率 49.3%）

エリア	発送数	有効回答件数	回 答 率
センター・コア・エリア	440	174	39.5%
区部東部・北部エリア	400	165	41.3%
区部西部・南部エリア	560	227	40.6%
区部計	1,400	566	40.4%
多摩東部エリア	240	116	48.3%
多摩中央部北エリア	60	30	50.0%
多摩中央部南エリア	260	126	48.5%
多摩西部エリア	40	24	60.0%
多摩地区計	600	296	49.3%
無回答	-	13	-
合計	2,000	875	43.8%

5 調査結果の概要

(1) 住宅の状況について

今回の調査対象施設について、質問項目毎の最も割合が高かった回答は、建物の階数は「2階」55.1%、建築年次は「平成16年～平成25年」20.3%、入居期間は「10年以上」62.4%、構造形態は「木造」41.0%、部屋数は「4室」26.5%であった。

居間の床材は、「板(フローリング)」が64.9%で最も高く(「板+ジュウタン」を加えると87.1%)、次いで「畳」が29.3%(「畳+ジュウタン」を加えると39.4%)であった。

(2) 冷暖房及び換気について

24時間換気システムの使用割合は40.9%で、そのうち「常に使用している」は58.9%であった。

暖房器具の使用については、「エアコン」が72.2%で最も高く、次いで「ホットカーペット」、「床暖房」の順で、電気による暖房器具の割合が高い結果となっている。

暖房時の加湿については、「加湿していない」と回答したのは46.6%で、前回調査の約7割から大きく減少している。部屋の温湿度の測定は、「温度計を使っている」は52.0%、「湿度計を使っている」は40.0%であった。

過去3年間の結露の発生は、「窓のみ」が83.8%、「窓と壁の両方」が14.7%であった。カビの発生は33.7%で、発生場所は「浴室」が79.7%と最も高かった。

(3) 害虫、ねずみ、殺虫剤等について

過去3年間で、家の中で害虫やねずみ等に気づいた割合は66.6%で、気付いた害虫等の種類は、「ゴキブリ」84.9%、「蚊」76.7%、「コバエ」57.1%の順であった。被害の内容は、「刺された」69.5%、「不快である」66.1%、「かゆみ」61.8%の順であった。

殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用割合は80.5%で、その形状は「スプレー剤」74.9%、「蚊取り線香」35.2%、「電気蚊取り器」33.9%の順であった。

(4) 消臭、洗濯等について

住宅内での消臭剤や芳香剤の使用割合は66.4%で、使用場所は「トイレ」が82.6%と最も高く、次いで「玄関」44.1%、「靴箱」30.5%の順であった。

洗濯時に香りが付く柔軟剤の使用頻度については、「頻繁に使用している」が47.2%であった。洗濯後の室内干しの頻度は、「ほとんどない」が35.5%、次いで、「週1～2回」が31.3%、「週3回以上」が19.9%の順となっている。

(5) 清掃、寝具の管理等について

掃除機による居間の清掃回数については、「3日に1回以上」が35.5%で最も高く、次いで「週1回程度」が28.7%、「毎日」が22.4%であった。掃除機使用時の窓の換気は「常に、窓開け換気を行う」が59.0%で最も高かった。

布団を乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)する頻度については、「月1回未満」が30.2%で最も高く、次いで、「月1～2回程度」が27.7%、「週1回程度」が27.4%であった。

(6) 家族構成、アレルギー疾患等について

家族の年齢構成は「40代」が含まれる世帯が32.7%、世帯人員は「2人」が24.2%でそれぞれ最も高かった。

家族の中のアレルギー疾患だと診断された人がいる世帯割合は50.4%で、該当するアレルギー疾患については、「アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)」が81.0%、「アレルギー性結膜炎(花粉症を含む)」が22.9%、「気管支ぜんそく」が18.6%であった。アレルギー疾患の原因は、「花粉」が71.4%で最も高く、次いで、「ハウスダスト」37.9%、「ダニ」15.2%の順となっている。

(7) ペット(動物)について

過去3年間でのペットの飼育状況については、ペットを飼っている割合は26.2%であった。ペットの種類は、「犬」が55.9%で最も高く、次いで、「猫」が37.1%であった。

(8) 給水や臭気、居住環境等について

過去3年間の赤水の発生割合は2.6%であった。不快な臭気で困った経験がある割合は26.6%で、そのうち臭気を感じる対象については「浴室の排水口」が33.9%、「台所の排水口」が30.9%、「タバコの煙」が27.5%であった。

(9) 平成5年度調査との比較

平成5年度に実施した健康・快適居住環境に関するアンケート調査において同様の質問をしている項目について比較したところ、居間の床材は「板(フローリング)」が13.5%から64.9%に増加、居間で使用している暖房器具は「エアコン」が46.1%から72.2%に増加、過去3年間のカビ発生は「はい(有)」が55.2%から33.7%に減少、過去3年間の住宅内での害虫やねずみ等発生は「はい(有)」が82.6%から66.6%に減少、過去3年間の赤水発生は「はい(有)」が14.1%から2.6%に減少していた。

【平成5年度調査の概要】

対 象：都内(多摩地区及び特別区)に居住する1,000世帯
抽出方法：電話帳(個人名)に基づく無作為抽出
調査方法：アンケート用紙を郵送の後、調査員が回収

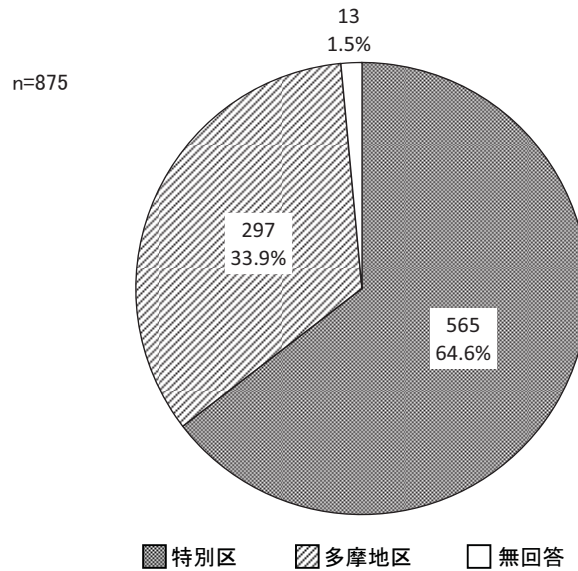
期 間：平成5年12月から平成6年3月まで
有効回答件数：822件
回 答 率：82.2%

Ⅱ 質問事項と集計結果

【(A) 住宅の状況について】

<問1 住居の所在地>

お住まいの所在地はどちらですか。

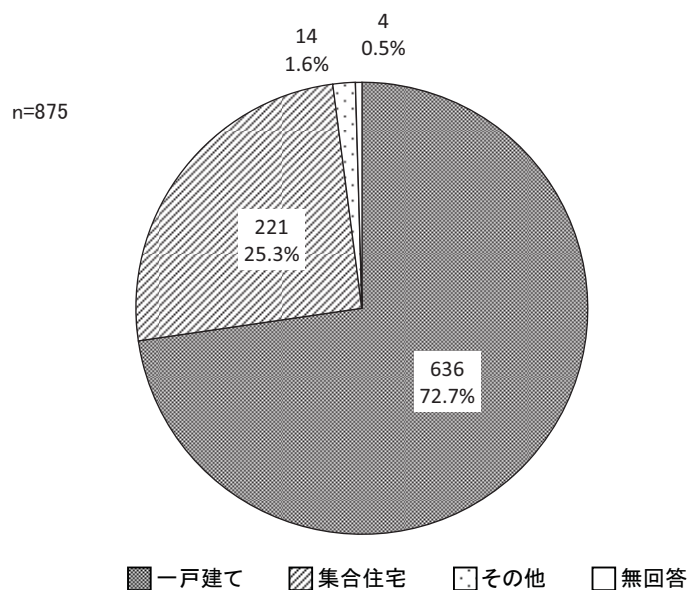


<問2 住居の種類、建物階数、草木の有無>

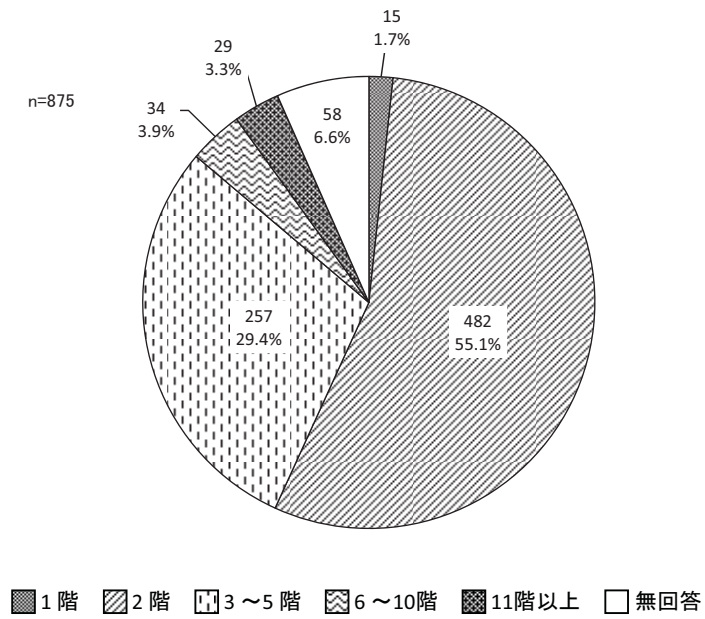
あなたが今、お住まいになっている住宅は一戸建ですか。それとも集合住宅（アパート、マンション等）のどちらですか。

また、建物の階数と草木のある庭（戸別の所有でなくマンションが所有している場合も含む）の有無についてお答えください。

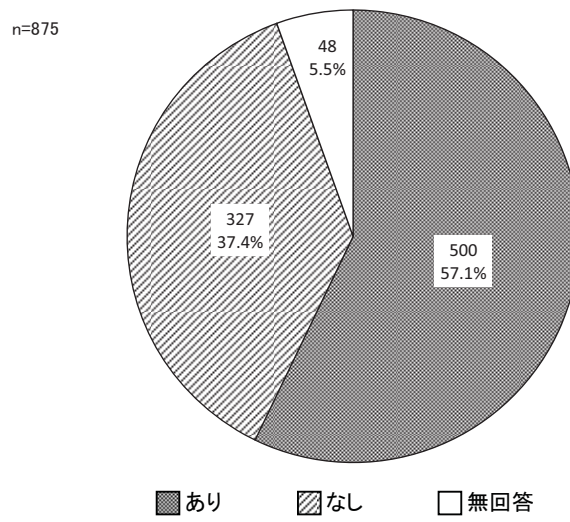
○お住まいの住宅について（一戸建または集合住宅（アパート、マンション等））



○建物の階数



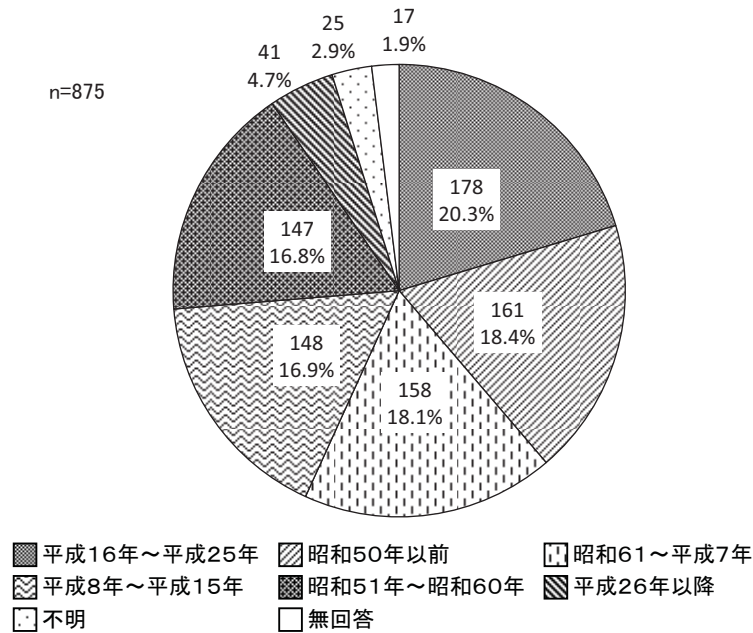
○草木のある庭の有無



<問3 住宅の建築年>

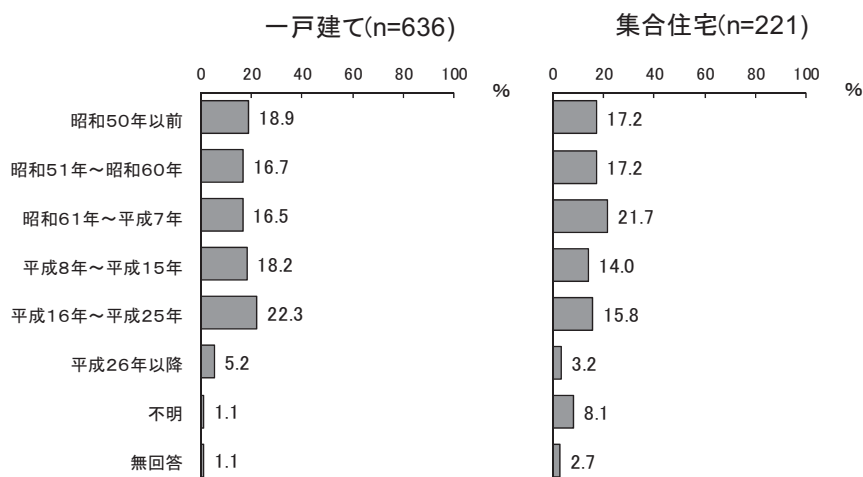
住宅が建てられたのは何年頃ですか。

○住宅の建築年について尋ねたところ、「平成16年～平成25年」が20.3%で最も高く、次いで、「昭和50年以前」が18.4%、「昭和61年～平成7年」が18.1%であった。



<問3×問2 住宅の建築年 住居別>

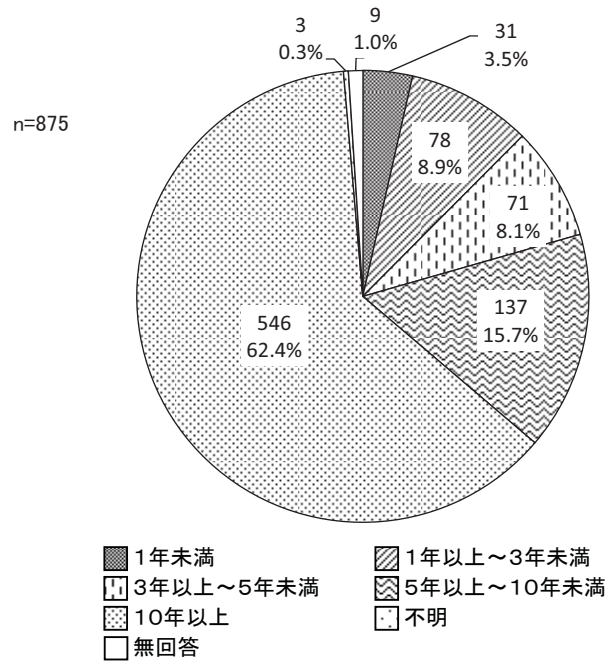
○住居別で見ると、一戸建てでは「平成16年～平成25年」が22.3%で最も高く、集合住宅では「昭和61年～平成7年」が21.7%で最も高かった。



<問4 住宅の入居期間>

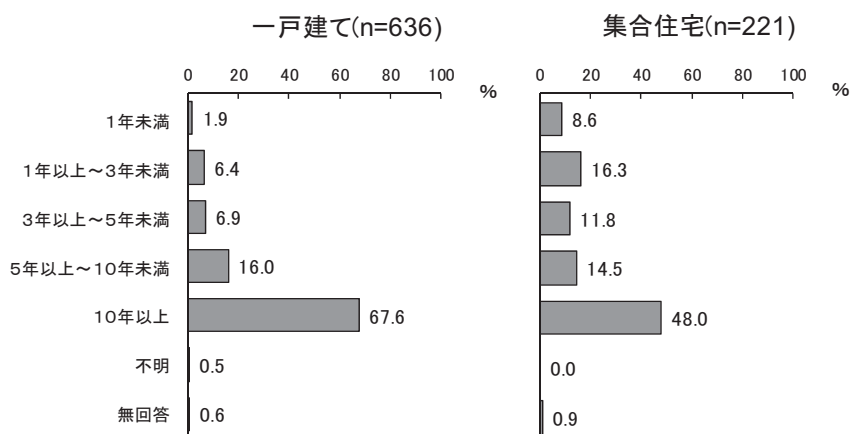
住宅に入居してからの期間はどのくらいですか。

○住宅の入居期間について尋ねたところ、「10年以上」が62.4%で最も高く、次いで、「5年以上～10年未満」が15.7%、「1年以上～3年未満」が8.9%であった。



<問4×問2 住宅の入居期間 住居別>

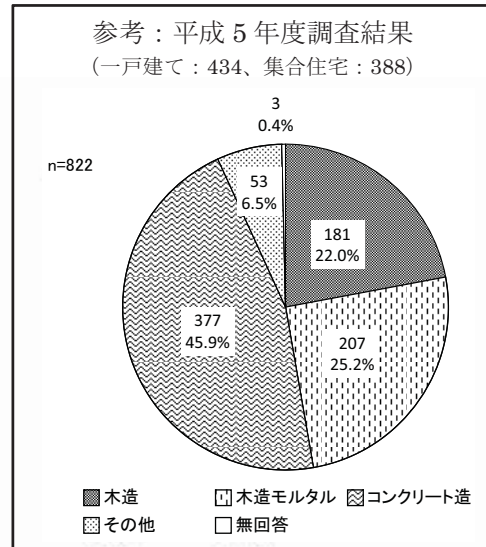
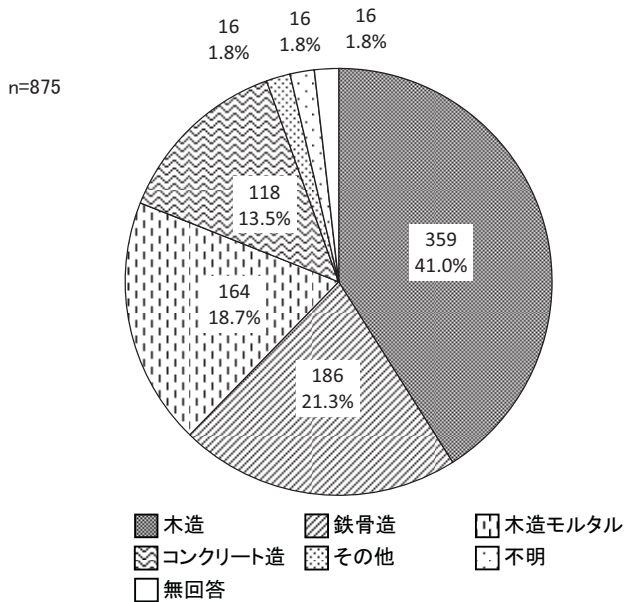
○住居別で見ると、一戸建てでは「10年以上」が67.6%であるのに対して、集合住宅では48.0%となっている。



<問5 住宅の構造形態>

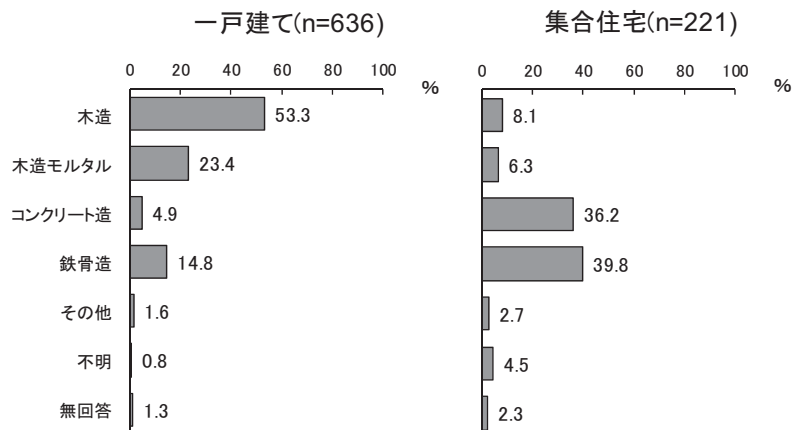
住宅の主な構造は次のうちどれですか。

○住宅の構造形態について尋ねたところ、「木造」が41.0%で最も高く、次いで、「鉄骨造」が21.3%、「木造モルタル」が18.7%であった。



<問5×問2 住宅の構造形態 住居別>

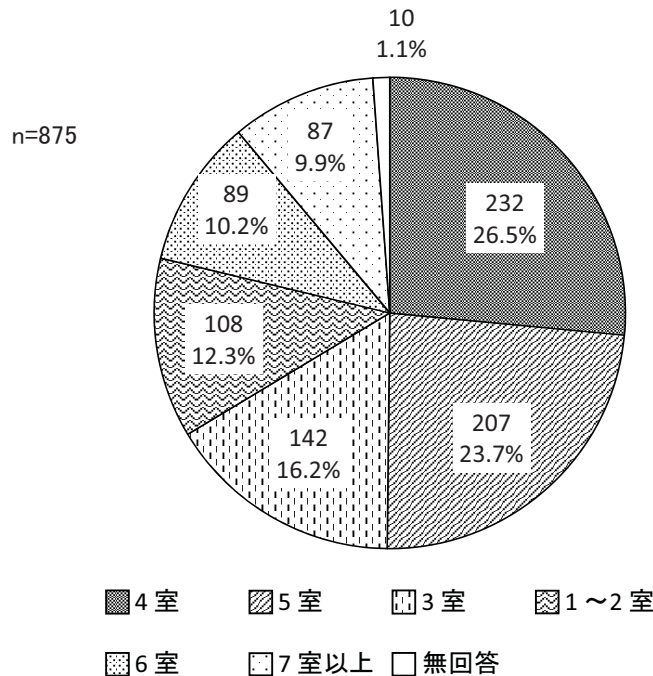
○住居別で見ると、一戸建てでは「木造」が53.3%と最も高く、集合住宅では「鉄骨造」が39.8%、「コンクリート造」が36.2%となっている。



<問6 部屋数>

部屋数（居室数）をお答えください。〔浴室、物置や台所専用の部屋は除く〕

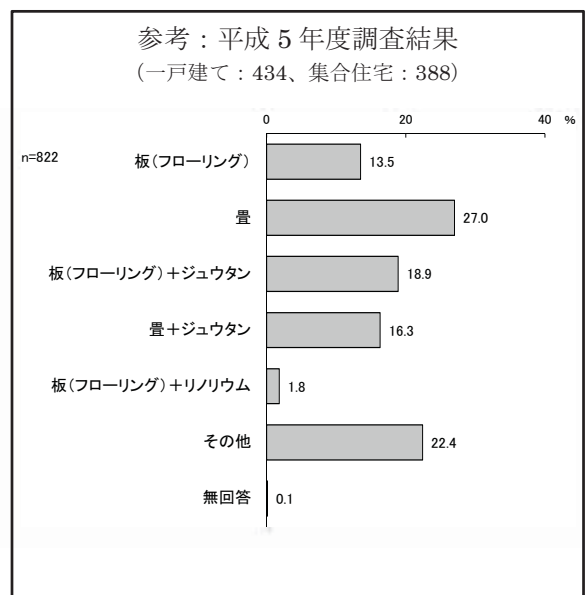
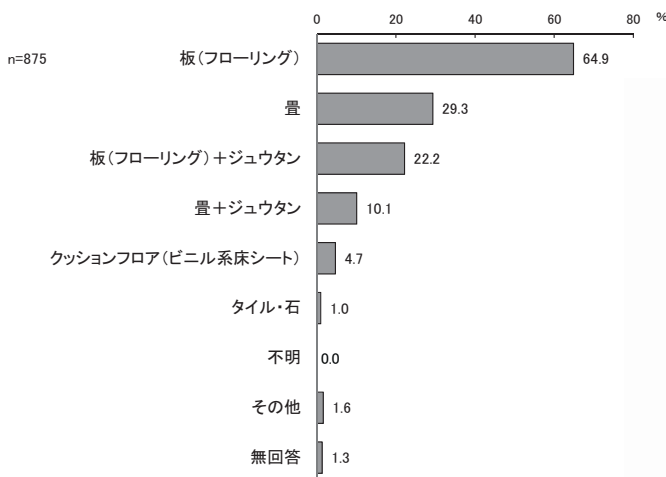
○部屋数について尋ねたところ、「4室」が26.5%で最も高く、次いで、「5室」が23.7%、「3室」が16.2%であった。



<問7 居間の床材>（複数回答）

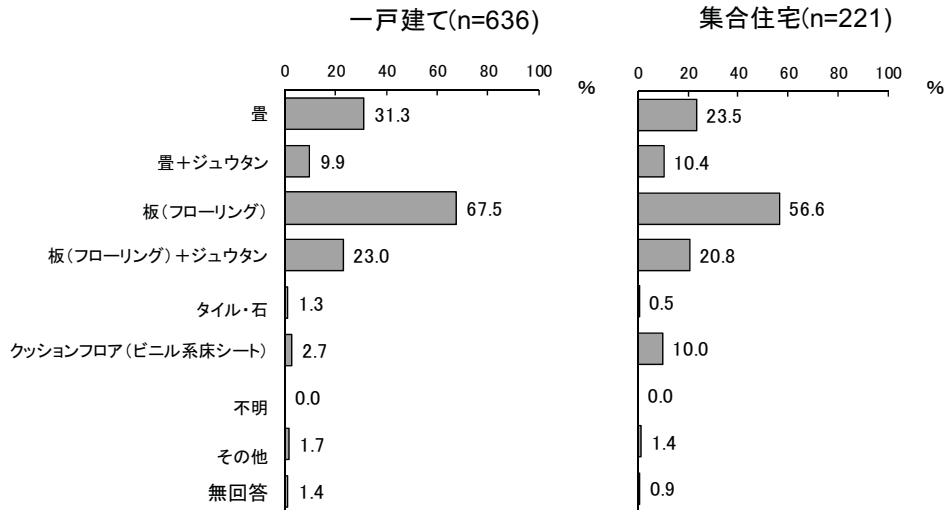
居間の床材は何ですか。〔冬期のみジュウタンを敷いている場合も該当〕

○居間の床材について尋ねたところ、「板（フローリング）」が64.9%で最も高く、次いで、「畳」が29.3%、「板（フローリング）+ジュウタン」が22.2%であった。



<問7×問2 居間の床材 住居別> (複数回答)

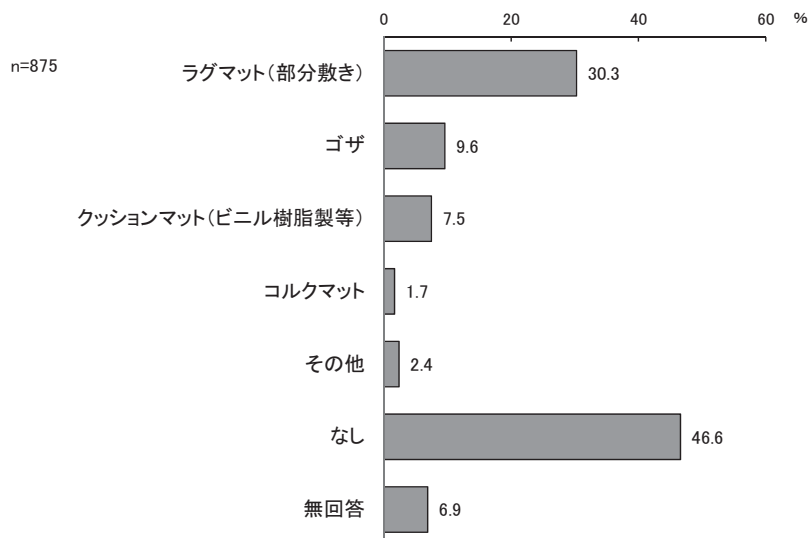
○住居別でみると、「畳」は一戸建てでは31.3%であるのに対して、集合住宅では23.5%となっている。
 また、「クッションフロア(ビニル系床シート)」は一戸建てでは2.7%であるのに対して、集合住宅では10.0%となっている。



<問8 居間のジュウタン(カーペット)以外で床に敷いているもの> (複数回答)

居間で、ジュウタン(カーペット)以外で床に敷いているものはありますか。〔特定の時期のみ敷いている場合も該当〕

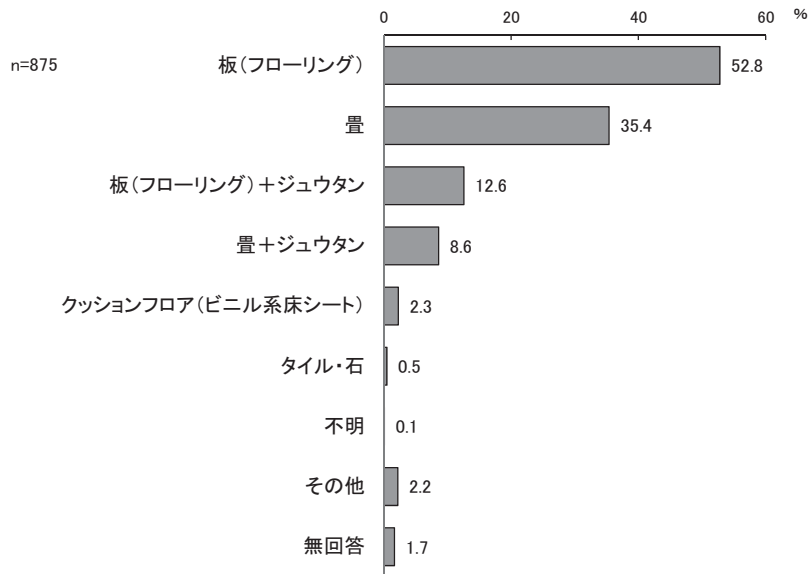
○居間のジュウタン(カーペット)以外で床に敷いているものについて尋ねたところ、敷いているもののうち、「ラグマット(部分敷き)」が30.3%で最も高く、次いで、「ゴザ」が9.6%、「クッションマット(ビニル樹脂製等)」が7.5%であった。一方、「なし」は46.6%であった。



<問9 寝室の床材> (複数回答)

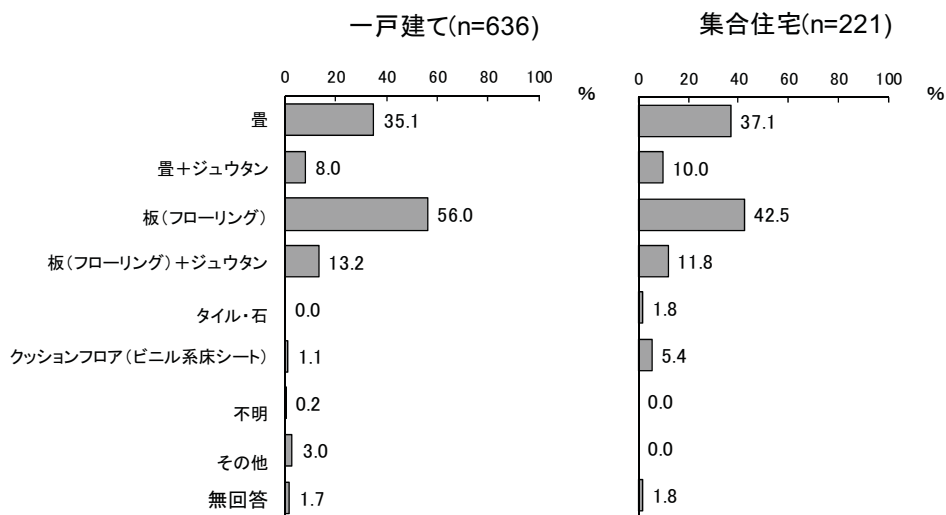
寝室の床材は何ですか。[冬期のみジュウタンを敷いている場合も該当]

○寝室の床材について尋ねたところ、「板(フローリング)」が52.8%で最も高く、次いで、「畳」が35.4%、「板(フローリング)+ジュウタン」が12.6%であった。



<問9×問2 寝室の床材 住居別> (複数回答)

○住居別でみると、「板(フローリング)」は一戸建てでは56.0%であるのに対して、集合住宅では42.5%となっている。

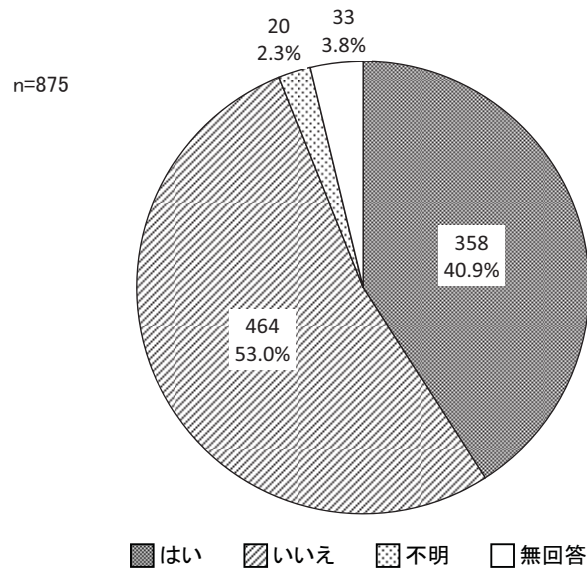


【(B) 冷暖房や換気等について】

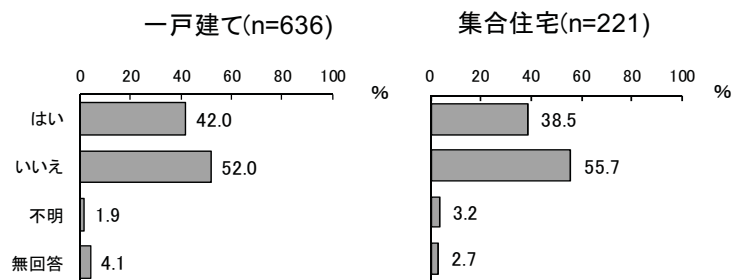
<問10 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の有無>

お住まいの住宅には、「24時間換気システム」(換気扇+換気口)が備わっていますか。

○「24時間換気システム」の有無について尋ねたところ、「はい」が40.9%、「いいえ」が53.0%、であった。

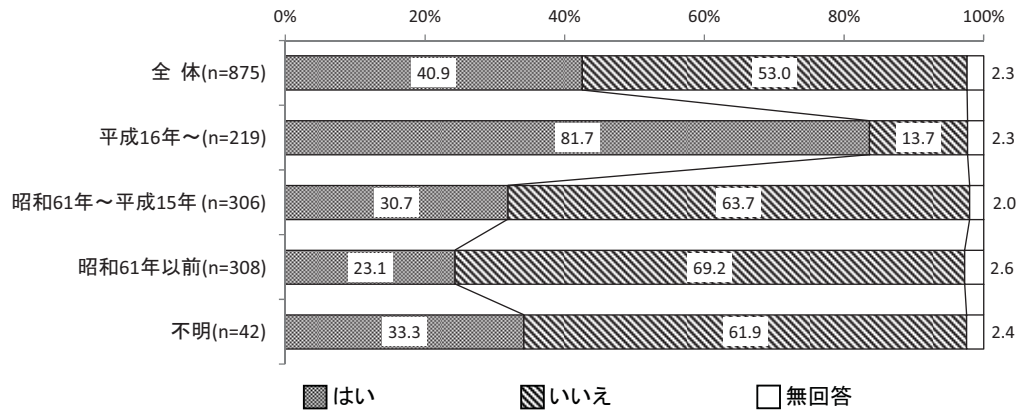


<問10×問2 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の有無 住居別>



<問10×問3 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の有無 建築年別>

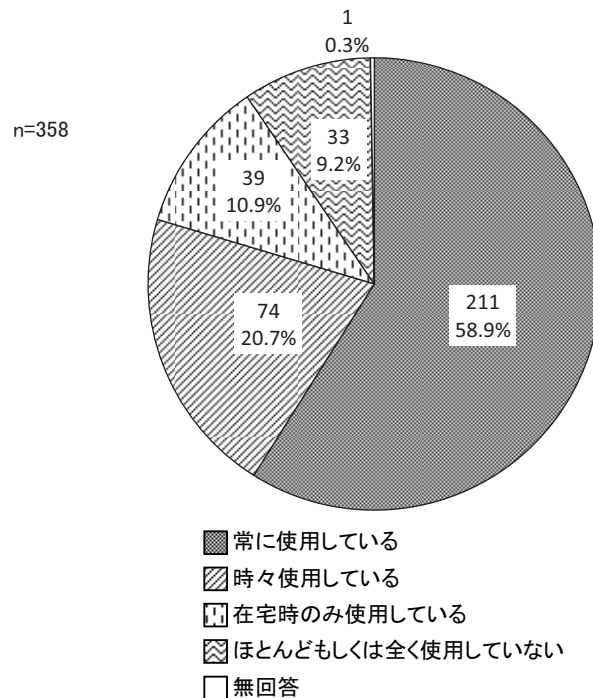
○建築年別で見ると、「はい」は平成16年以降の81.7%、「いいえ」は昭和61年以前の69.2%が最も多くなっている。



<問10-1 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の使用頻度>

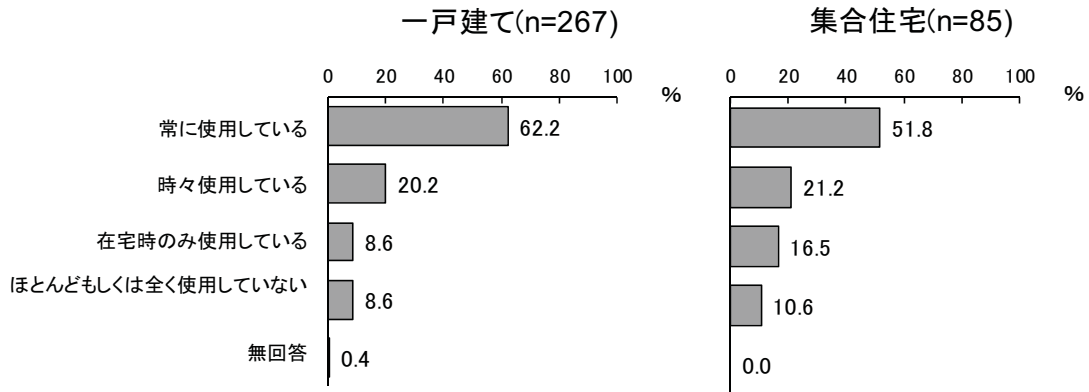
「24時間換気システム」をどれくらい使用していますか。

○問10で「はい」と回答した人に使用頻度について尋ねたところ、「常に使用している」が58.9%で最も高く、次いで、「時々使用している」が20.7%、「在宅時のみ使用している」が10.9%であった。



<問10-1×問2 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の使用頻度 住居別>

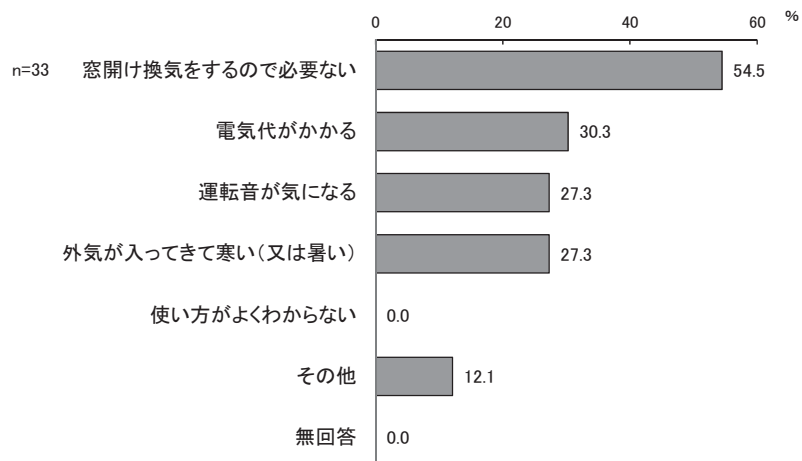
○住居別で見ると、「常に使用している」は一戸建てでは62.2%であるのに対して、集合住宅では51.8%となっている。また、「在宅時のみ使用している」は一戸建てでは8.6%であるのに対して、集合住宅では16.5%となっている。



<問10-2 「24時間換気システム」(換気扇+換気口)の使用していない理由> (複数回答)

「24時間換気システム」をほとんど使用していない理由は何ですか。

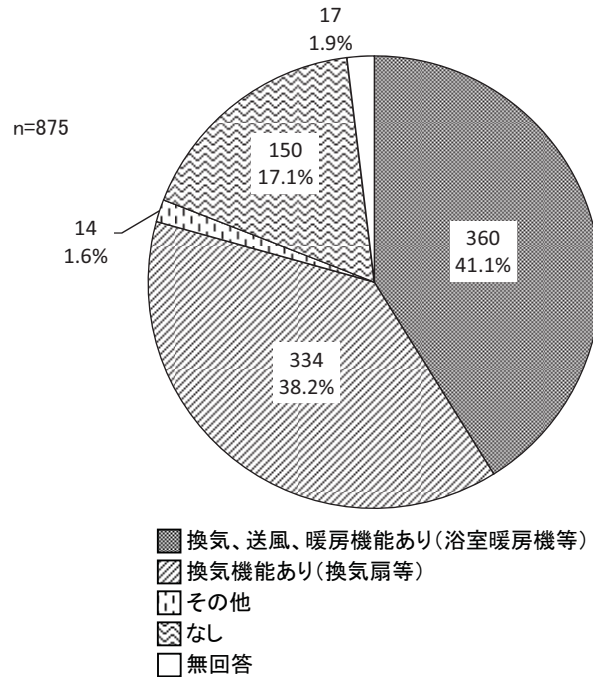
○問10-1で「ほとんどもしくは全く使用していない」と回答した人に理由について尋ねたところ、「窓開け換気をするので必要ない」が54.5%で最も高く、次いで、「電気代がかかる」が30.3%、「運転音が気になる」、「外気が入ってきて寒い(又は暑い)」が27.3%であった。



<問11 浴室の換気設備や暖房設備の有無>

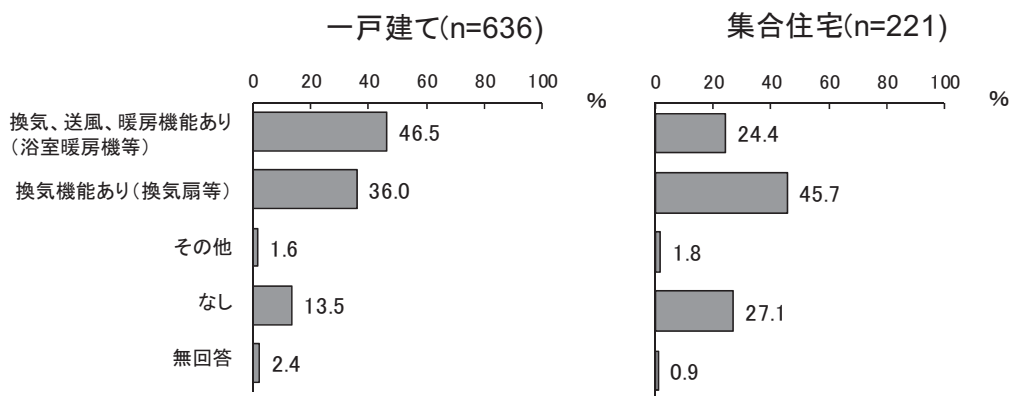
浴室には、換気設備（窓以外の設備）や暖房設備が備わっていますか。

○浴室の換気設備や暖房設備の有無について尋ねたところ、「換気、送風、暖房機能あり（浴室暖房機等）」が41.1%で最も高く、次いで、「換気機能あり（換気扇等）」が38.2%であった。一方、「なし」は17.1%であった。



<問11×問2 浴室の換気設備や暖房設備の有無 住居別>

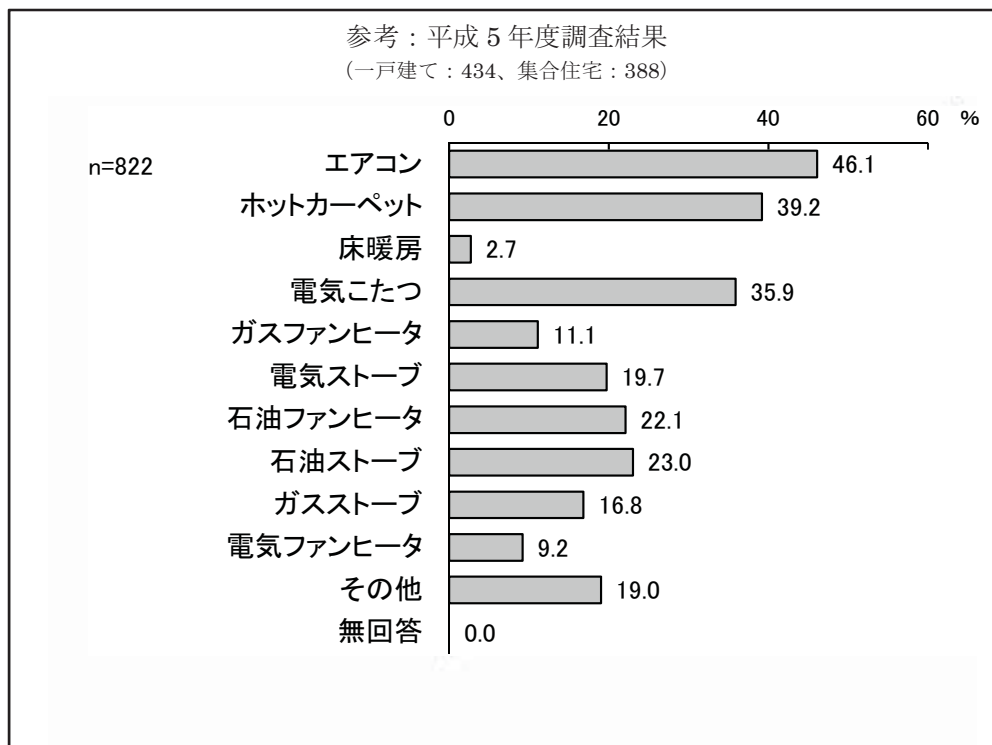
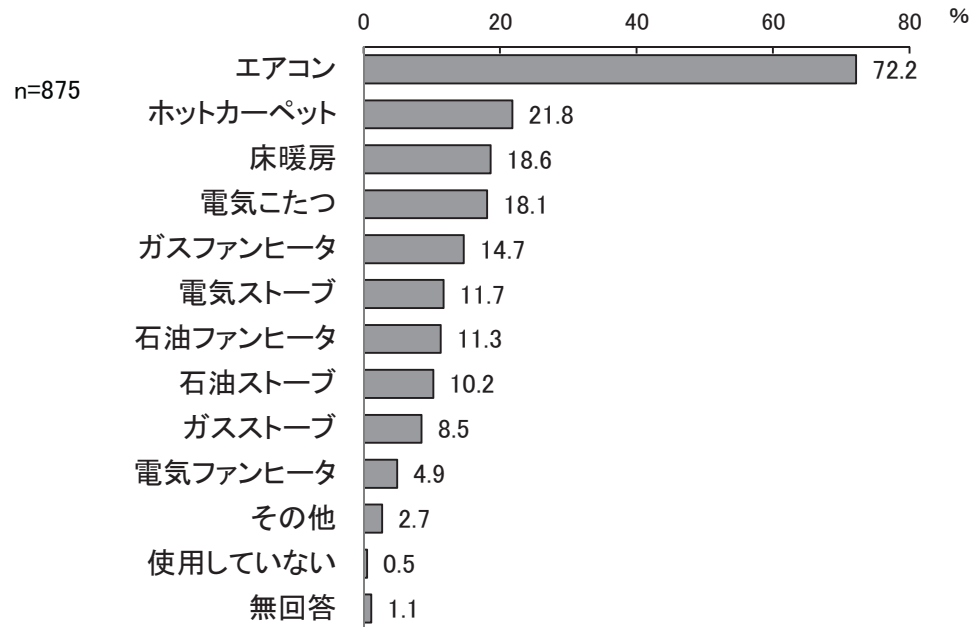
○住居別で見ると、「換気、送風、暖房機能あり（浴室暖房機等）」は、一戸建てでは46.5%であるのに対して、集合住宅では24.4%となっている。



<問12 冬期に居間で使用している暖房器具> (複数回答)

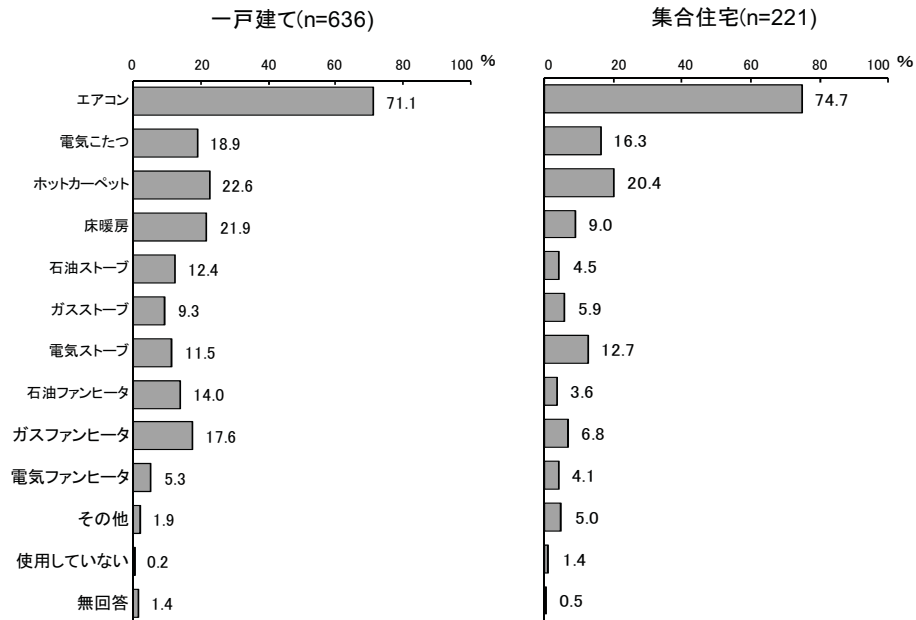
冬期に居間でお使いになっている暖房器具は何ですか。

○冬期に居間で使用している暖房器具について尋ねたところ、「エアコン」が72.2%で最も高く、次いで、「ホットカーペット」が21.8%、「床暖房」が18.6%であった。



<問1 2 × 問2 冬期に居間で使用している暖房器具 住居別> (複数回答)

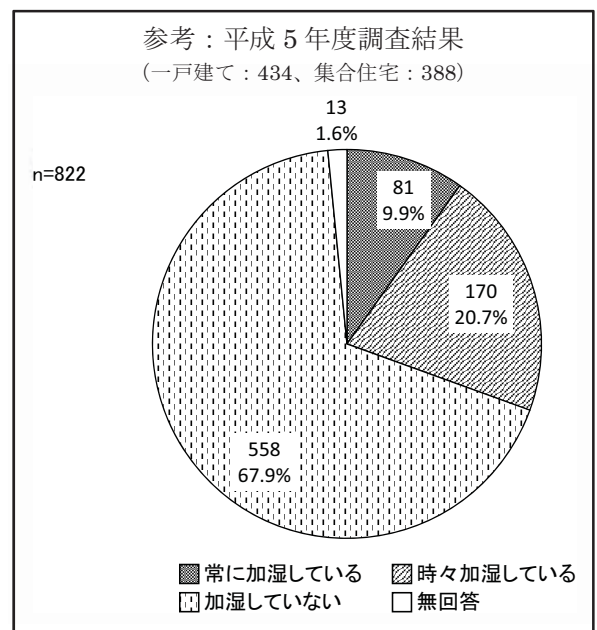
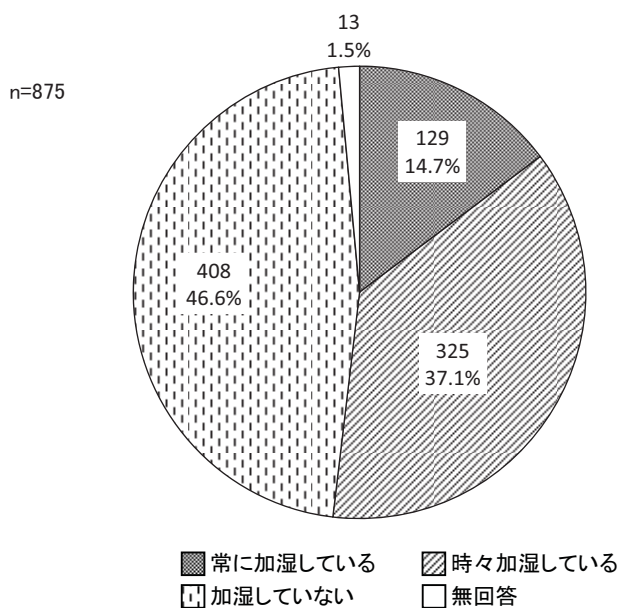
○住居別で見ると、「ガスファンヒーター」「石油ファンヒーター」は、一戸建てではそれぞれ17.6%、14.0%であるのに対して、集合住宅では6.8%、3.6%となっている。また、「床暖房」は一戸建てでは21.9%であるのに対して、集合住宅では9.0%となっている。



<問1 3 加湿器又は暖房器具などの加湿機能の使用状況>

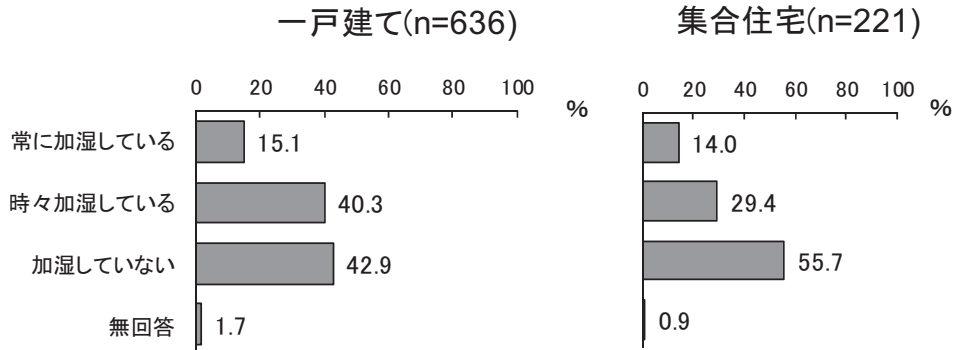
居間や寝室の暖房時には、加湿器又は暖房器具等の加湿機能を使って加湿していますか。

○加湿器又は暖房器具などの加湿機能の使用状況について尋ねたところ、「加湿していない」が46.6%で最も高く、次いで、「時々加湿している」が37.1%、「常に加湿している」が14.7%であった。



<問13×問2 加湿器又は暖房器具などの加湿機能の使用状況 住居別>

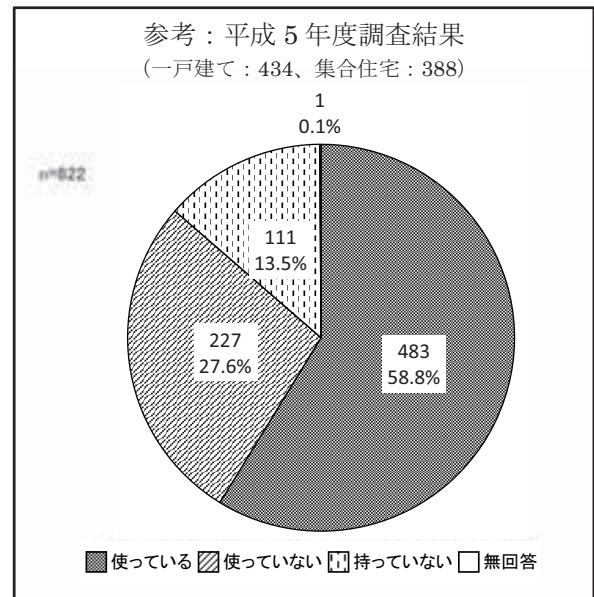
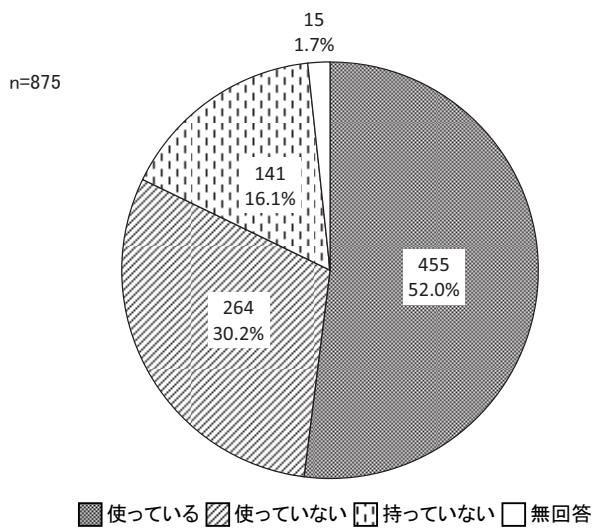
○住居別でみると、「加湿していない」が、一戸建てでは42.9%であるのに対して、集合住宅では55.7%となっている。



<問14 温度計の使用状況>

部屋の温度を測るために、温度計を使っていますか。

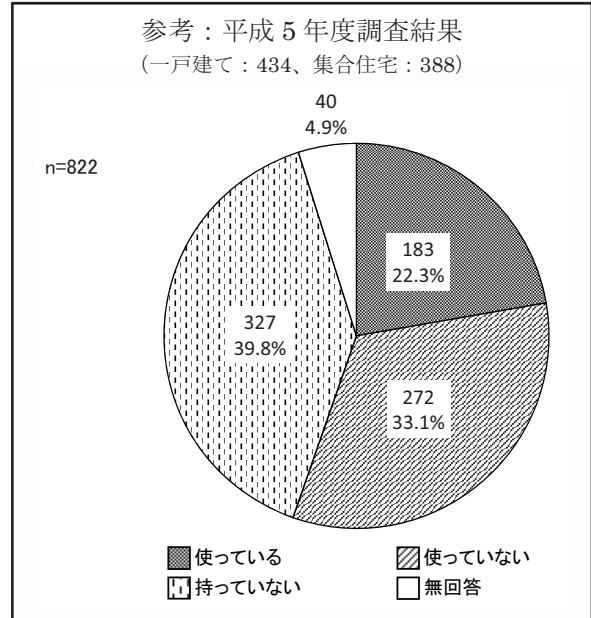
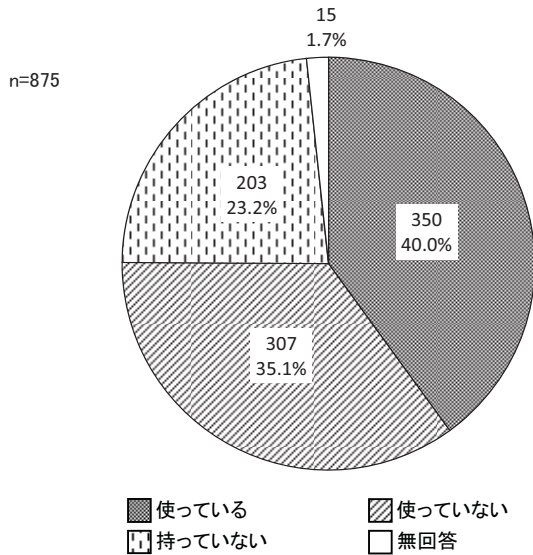
○温度計の使用状況について尋ねたところ、「使っている」が52.0%で最も高く、次いで、「使っていない」が30.2%、「持っていない」が16.1%であった。



<問15 湿度計の使用状況>

部屋の湿度を測るために、湿度計を使っていますか。

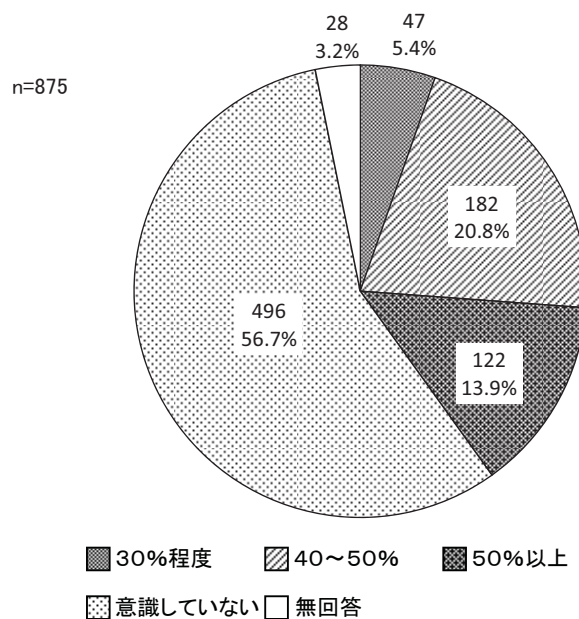
○湿度計の使用状況について尋ねたところ、「使っている」が40.0%で最も高く、次いで、「使っていない」が35.1%、「持っていない」が23.2%であった。



<問16 冬期の湿度設定について>

冬期の湿度は何%くらいを保つようにしていますか。

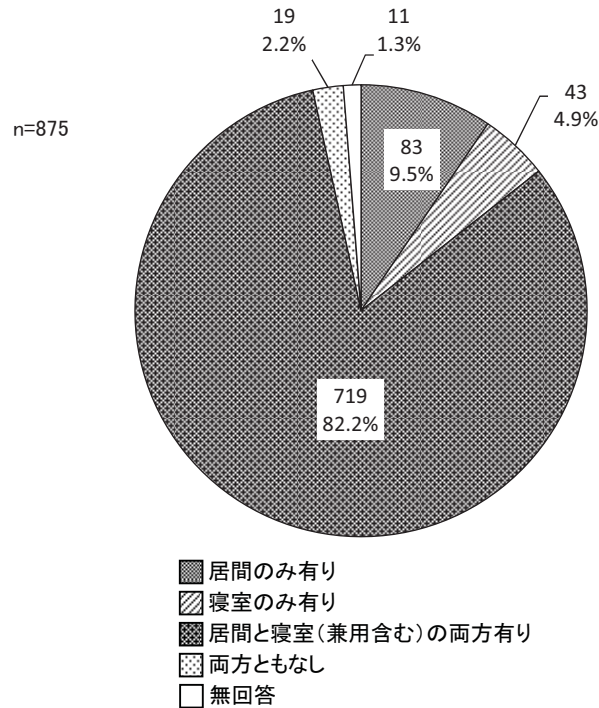
○冬期の湿度設定について尋ねたところ、「意識していない」が56.7%で最も高く、次いで、「40～50%」が20.8%、「50%以上」が13.9%であった。



<問17 居間や寝室のエアコンの有無について>

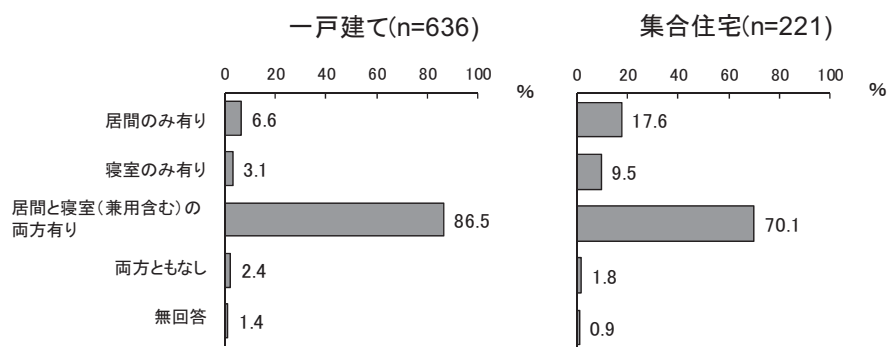
居間や寝室にエアコンがありますか。

○居間や寝室のエアコンの有無について尋ねたところ、「居間と寝室（兼用含む）の両方有り」が82.2%で最も高く、次いで、「居間のみ有り」が9.5%であった。



<問17×問2 居間や寝室のエアコンの有無 住居別>

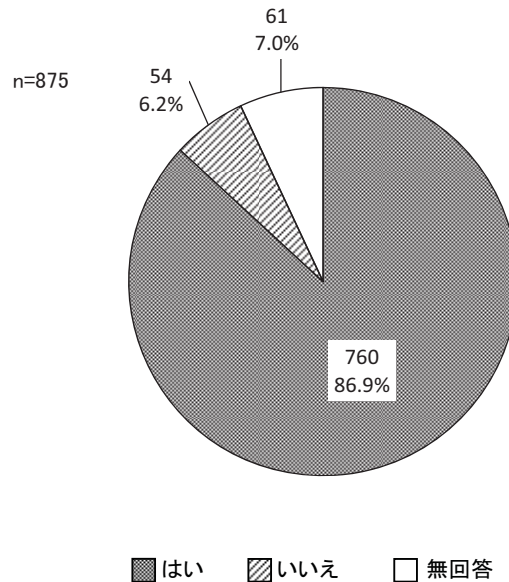
○住居別で見ると、「居間と寝室（兼用含む）の両方有り」は一戸建てでは86.5%であるのに対し、集合住宅では70.1%となっている。



<問18 夏期の就寝時のエアコン、扇風機、冷風機等の使用有無について>

夏期の就寝時にエアコン、扇風機、冷風機等を使用していますか。

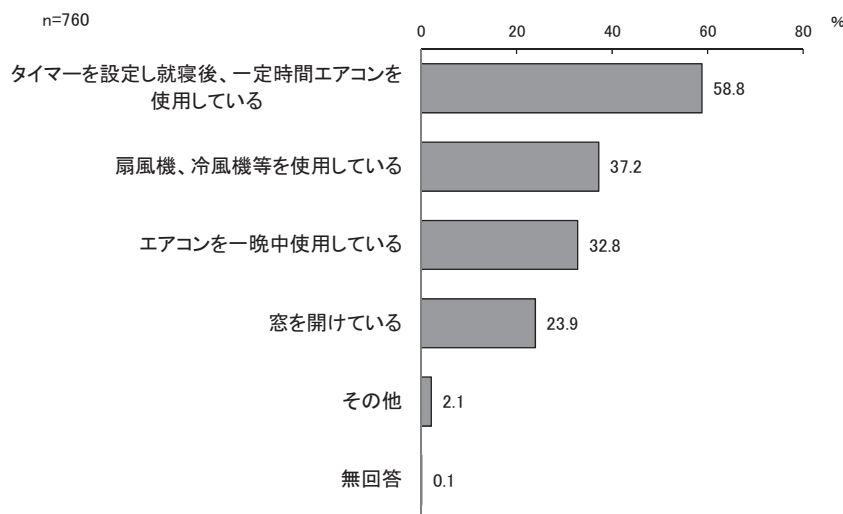
○夏期の就寝時のエアコン、扇風機、冷風機等の使用有無について尋ねたところ、「はい」が86.9%、「いいえ」が6.2%であった。



<問18-1 夏期の就寝時のエアコン等の使用状況について> (複数回答)

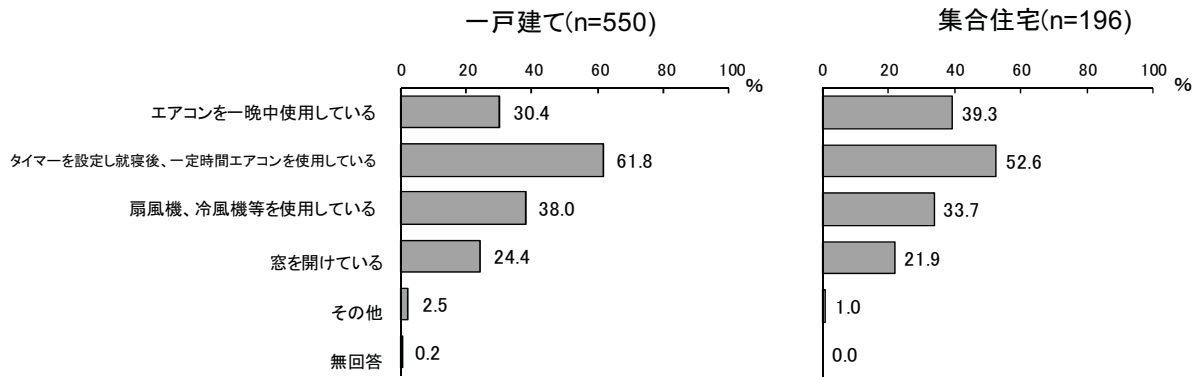
夏期の就寝時のエアコン等の使用状況をお答えください。

○問18で「はい」と回答した人に、夏期の就寝時のエアコン等の使用状況について尋ねたところ、「タイマーを設定し就寝後、一定時間エアコンを使用している」が58.8%、次いで「扇風機、冷風機等を使用している」が37.2%、「エアコンを一晩中使用している」が32.8%であった。



<問18-1×問2 夏期の就寝時のエアコン等の使用状況 住居別> (複数回答)

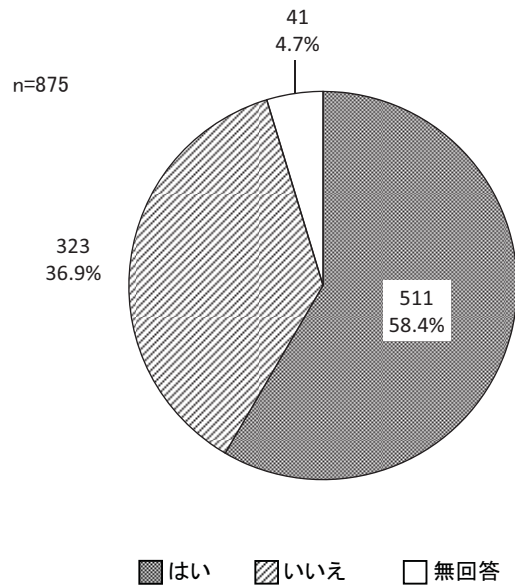
○住居別で見ると、「エアコンを一晩中使用している」は、一戸建てでは30.4%であるのに対して、集合住宅では39.3%となっている。



<問19 過去3年間の結露有無について>

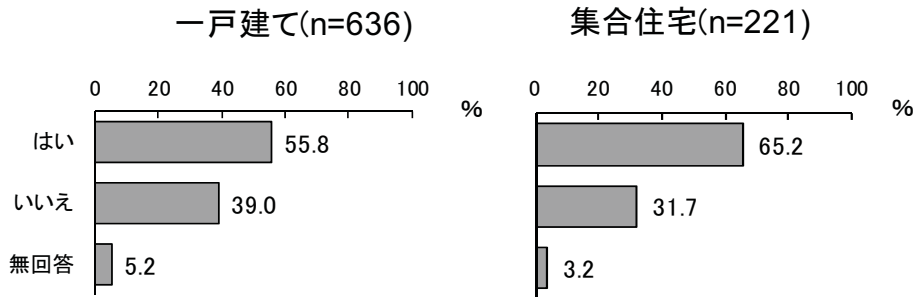
過去3年間に、部屋の中で窓や壁等に結露が発生したことがありますか。

○過去3年間の結露有無について尋ねたところ、「はい」が58.4%、「いいえ」が36.9%であった。



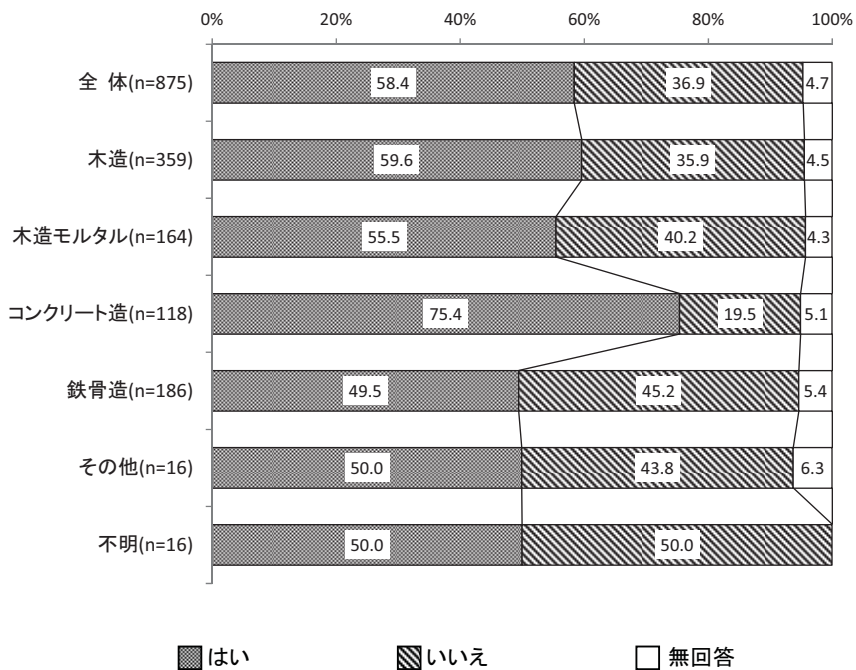
<問19×問2 過去3年間の結露有無 住居別>

○住居別では、「はい」(結露有)が一戸建てでは55.8%であるのに対して、集合住宅では65.2%となっている。



<問19×問5 過去3年間の結露有無 住宅構造別>

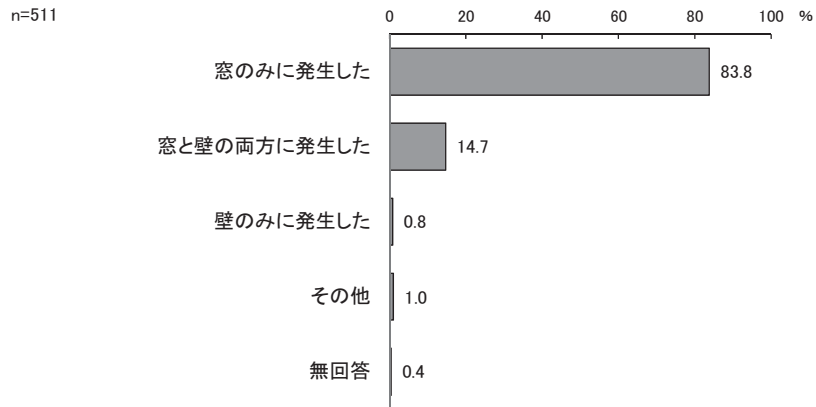
○住宅構造別ではコンクリート造で「はい(結露有)」が75.4%と最も高くなっている。



<問19-1 結露の発生箇所について> (複数回答)

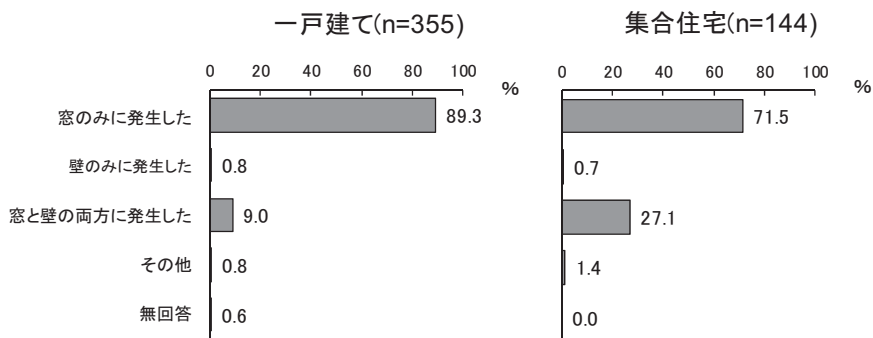
結露が発生した箇所はどこですか。

○問19で「はい」と回答した人に、結露の発生箇所について尋ねたところ、「窓のみに発生した」が83.8%、次いで「窓と壁の両方に発生した」が14.7%であった。



<問19-1 × 問2 結露の発生箇所 住居別> (複数回答)

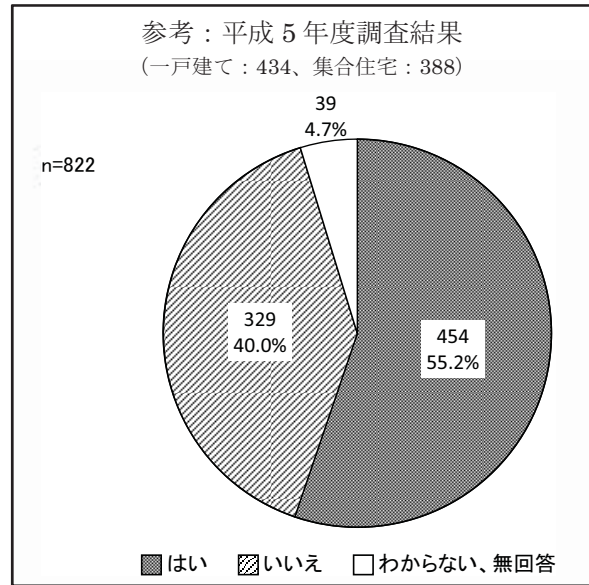
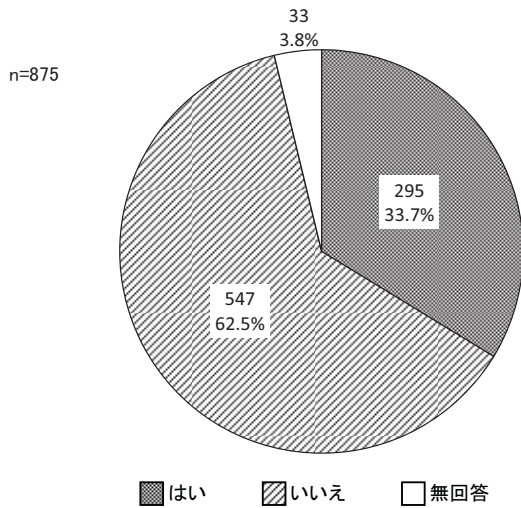
○住居別で見ると、「窓と壁の両方に発生した」が一戸建てでは9.0%であるのに対して、集合住宅では27.1%となっている。



<問20 過去3年間の部屋の壁や天井のカビ発生率>

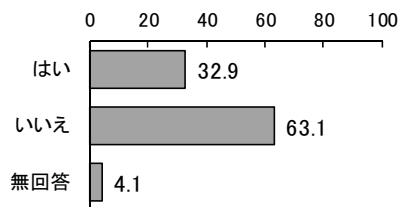
過去3年間に、部屋の壁や天井等にカビが生えたことがありますか。

○過去3年間の部屋の壁や天井のカビ発生について尋ねたところ、「はい」が33.7%、「いいえ」が62.5%であった。

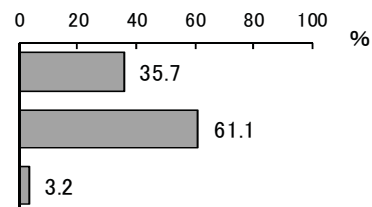


<問20×問2 過去3年間の部屋の壁や天井のカビ発生率 住居別>

一戸建て(n=636)

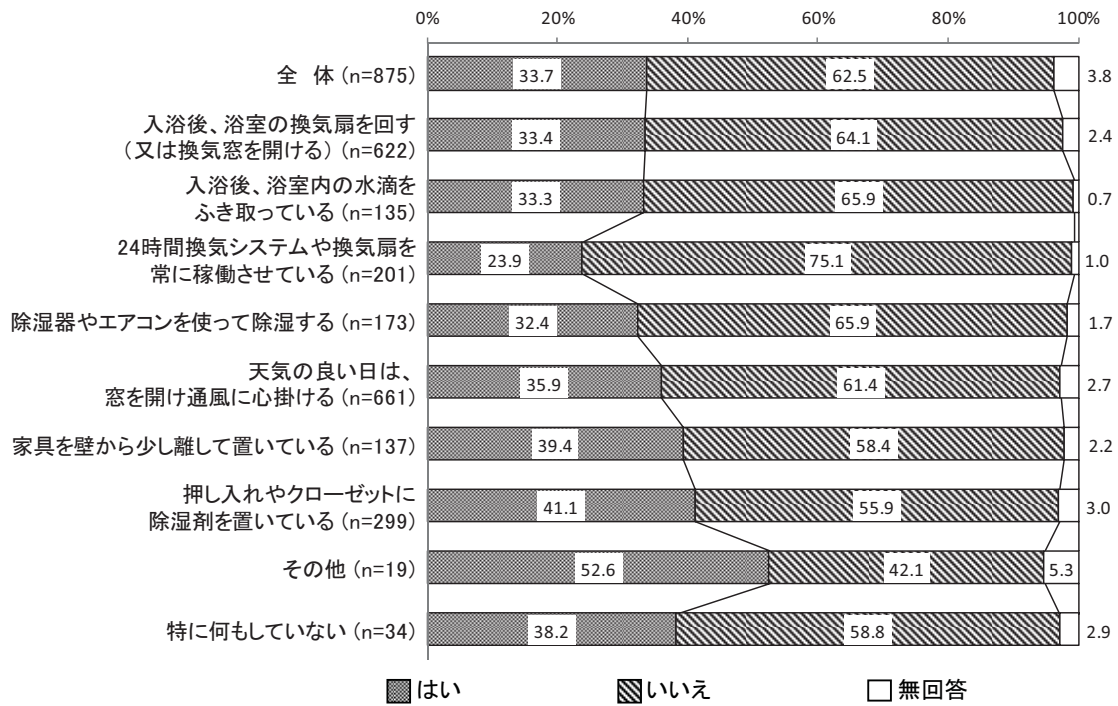


集合住宅(n=221)



<問20×問21 過去3年間の部屋の壁や天井のカビ発生率 カビや湿気の防止対策別>

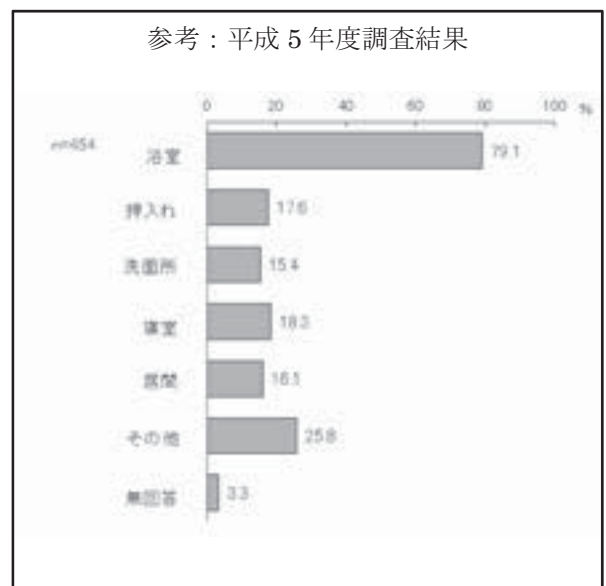
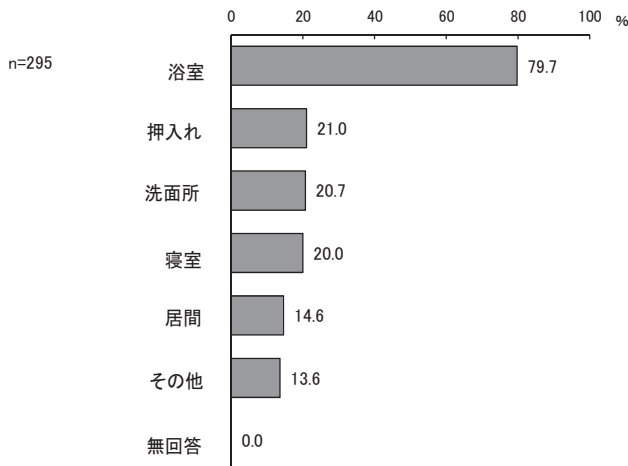
○カビや湿気の防止対策別でみると、「24時間換気システムや換気扇を常に稼働させている」と回答した世帯では「いいえ」（カビ無）が75.1%と最も高かった。



<問20-1 カビの発生場所> (複数回答)

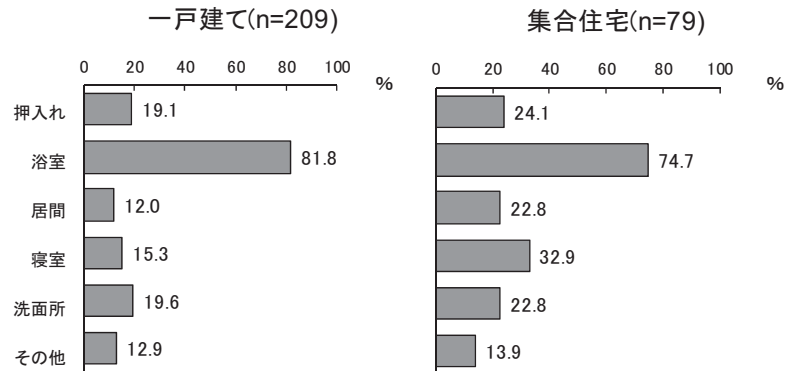
カビが生えた場所はどこですか。

○問20で「はい」と回答した人に、カビの発生場所について尋ねたところ、「浴室」が79.7%で最も高く、次いで、「押し入れ」が21.0%、「洗面所」が20.7%であった。



<問20-1×問2 カビの発生場所 住居別> (複数回答)

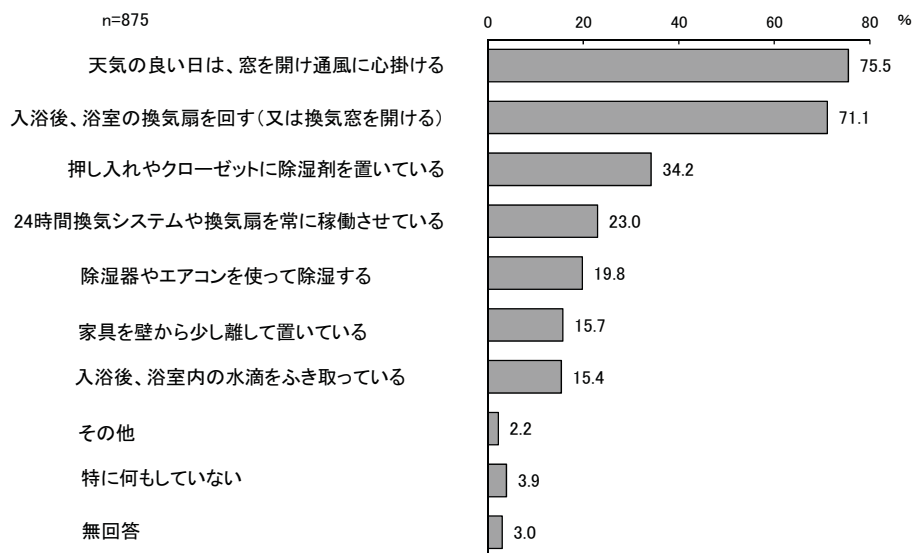
○住居別で見ると、「寝室」「居間」は、一戸建てではそれぞれ15.3%、12.0%であるのに対して、集合住宅では32.9%、22.8%となっている。



<問21 カビや湿気防止のために実行している事> (複数回答)

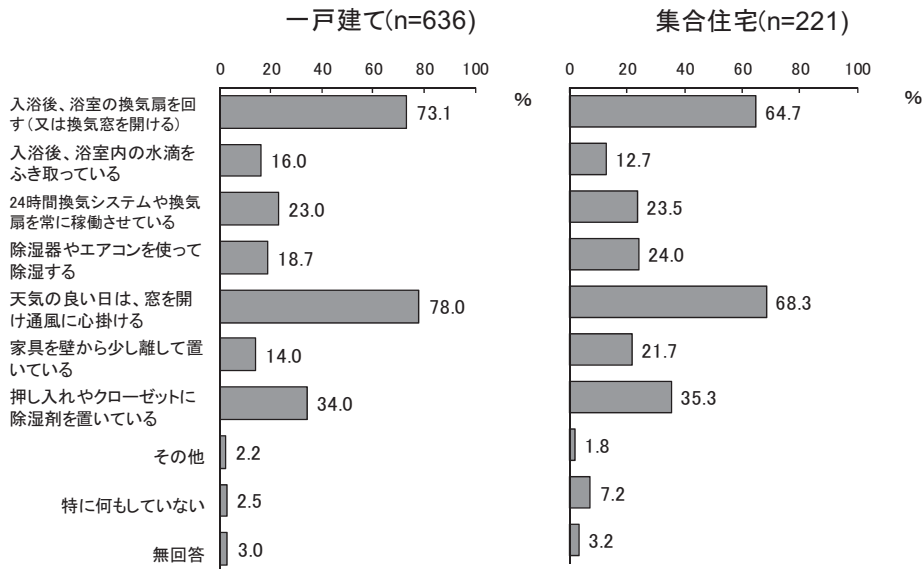
カビや湿気を防ぐために、お家で実行されていることがありますか。

○カビや湿気防止のために実行している事について尋ねたところ、「天気の良い日は、窓を開け通風に心掛ける」が75.5%で最も高く、次いで、「入浴後、浴室の換気扇を回す(又は換気窓を開ける)」が71.1%、「押し入れやクローゼットに除湿剤を置いている」が34.2%であった。



<問2 1 × 問2 カビや湿気防止のために実行している事 住居別> (複数回答)

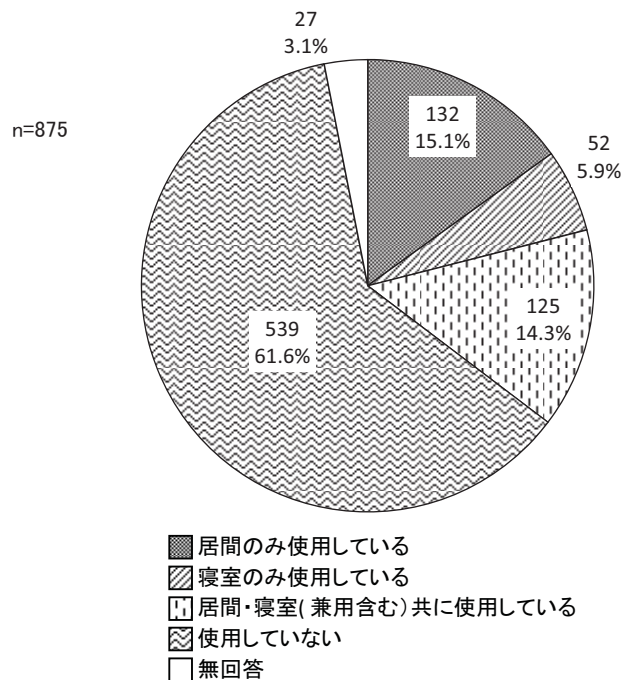
○住居別で見ると、「天気の良い日は、窓を開け通風に心掛ける」は、一戸建てでは78.0%であるのに対して、集合住宅では68.3%となっている。



<問2 2 居間や寝室での空気清浄機の使用状況>

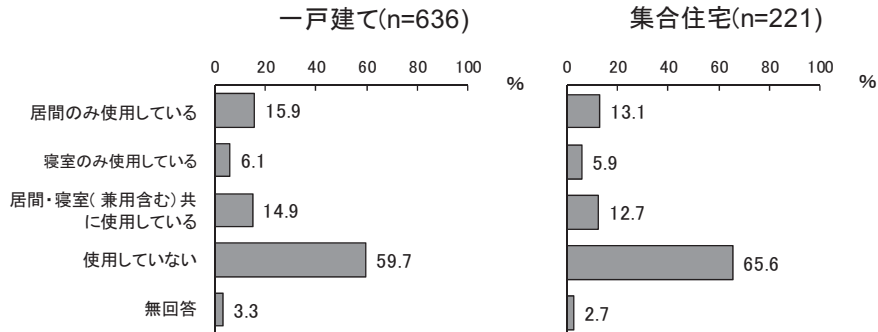
居間や寝室で空気清浄機を使用していますか。

○居間や寝室での空気清浄機の使用状況について尋ねたところ、「使用していない」が61.6%で最も高く、次いで、「居間のみ使用している」が15.1%、「居間・寝室(兼用含む)共に使用している」が14.3%であった。



<問22×問2 居間や寝室での空気清浄機の使用状況 住居別>

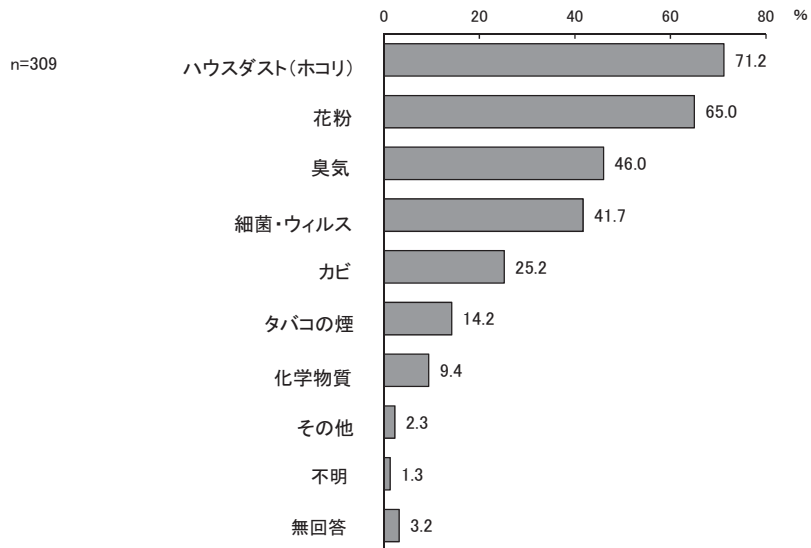
○住居別で見ると、「使用していない」は一戸建てでは59.7%であるのに対して、集合住宅では65.6%となっている。



<問22-1 空気清浄機の使用目的> (複数回答)

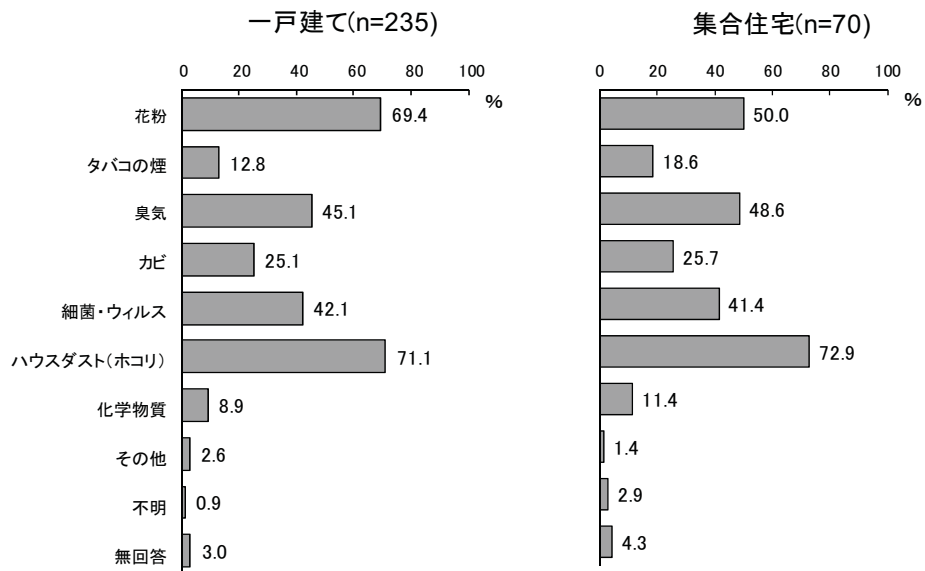
お使いの空気清浄機は、何を除去・低減化する目的で使用していますか。

○問22で「使用している」と回答した人に、空気清浄機の使用目的について尋ねたところ、「ハウスダスト(ホコリ)」が71.2%で最も高く、次いで、「花粉」が65.0%、「臭気」が46.0%であった。



<問2 2-1 × 問2 空気清浄機の使用目的 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「花粉」は一戸建てでは69.4%であるのに対して、集合住宅では50.0%となっている。

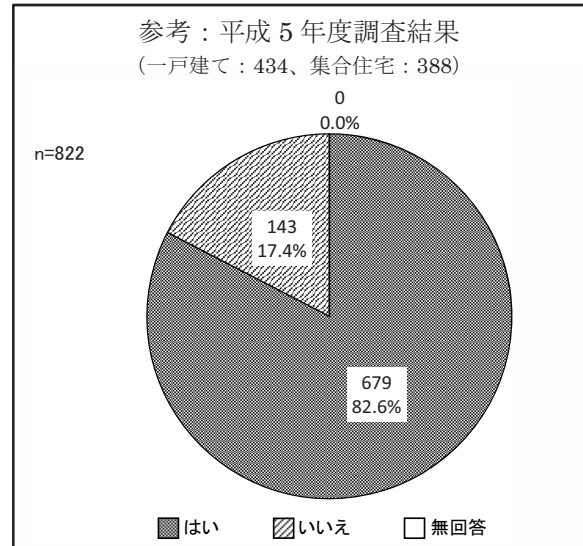
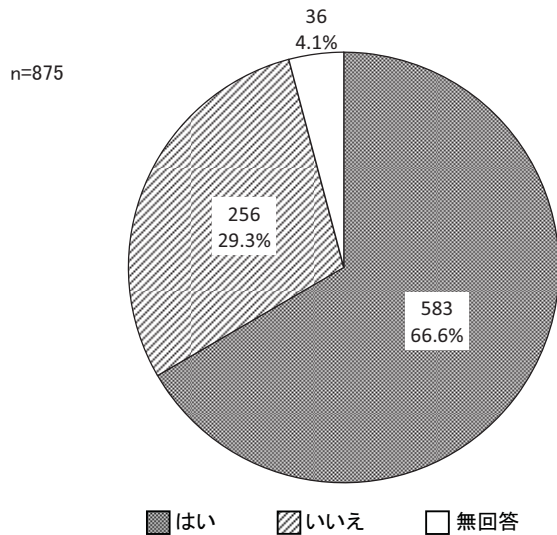


【(C) 害虫、ねずみ、殺虫剤等について】

<問23 過去3年間の住宅内での害虫やねずみの有無>

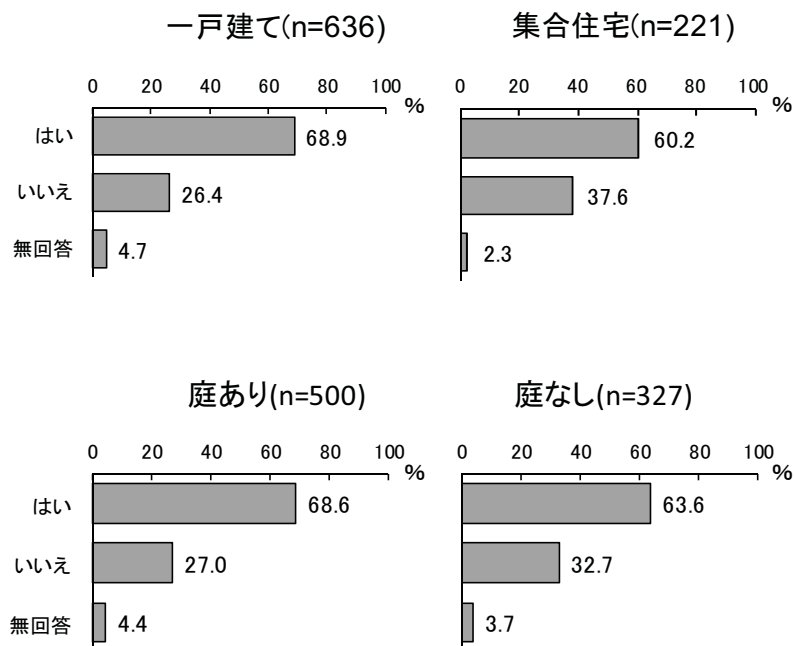
過去3年間に、お住まいの住宅内で害虫やねずみ等に気づいたことがありますか。

○過去3年間の住宅内での害虫やねずみの有無について尋ねたところ、「はい」が66.6%、「いいえ」が29.3%であった。



<問23×問2 過去3年間の住宅内での害虫やねずみの有無 住居別、庭有無別>

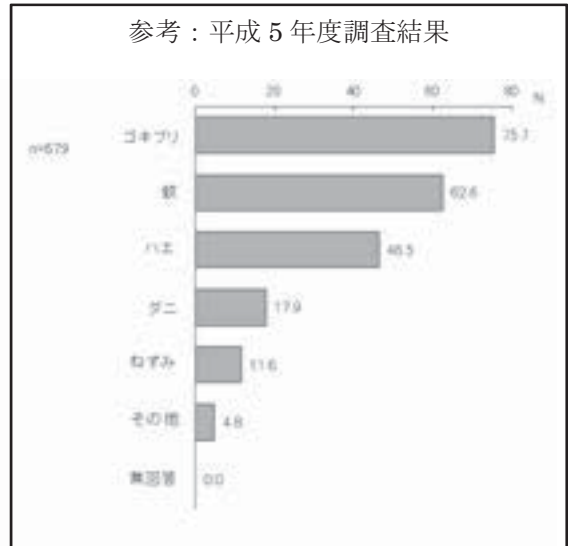
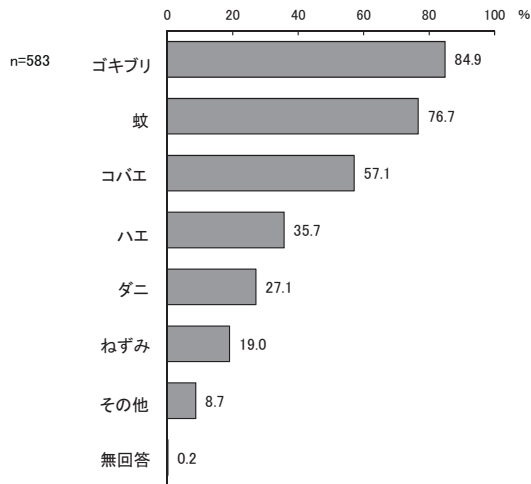
○住居別で見ると、「はい」の割合は一戸建てでは68.9%であるのに対して、集合住宅では60.2%となっている。また、庭ありでは68.6%であるのに対して、庭なしでは63.6%となっている。



<問23-1 害虫の種類> (複数回答)

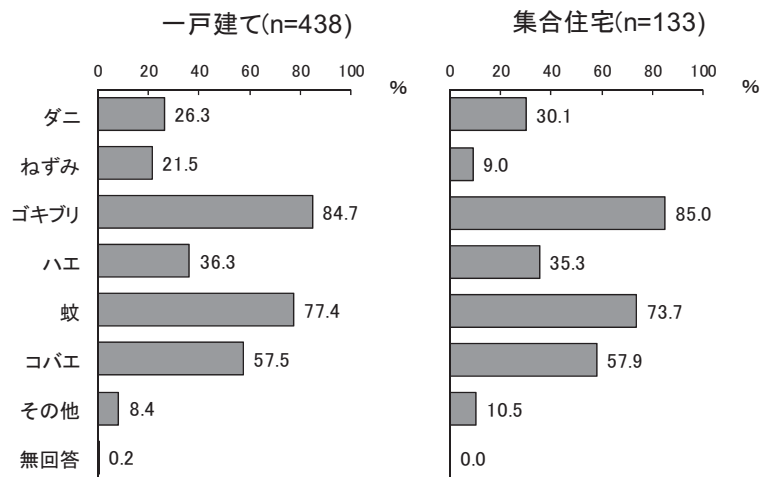
その種類は何ですか。

○問23で「はい」と回答した人に、害虫の種類について尋ねたところ、「ゴキブリ」が84.9%で最も高く、次いで、「蚊」が76.7%、「コバエ」が57.1%であった。



<問23-1×問2 害虫の種類 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「ねずみ」は一戸建てでは21.5%であるのに対して、集合住宅では9.0%となっている。

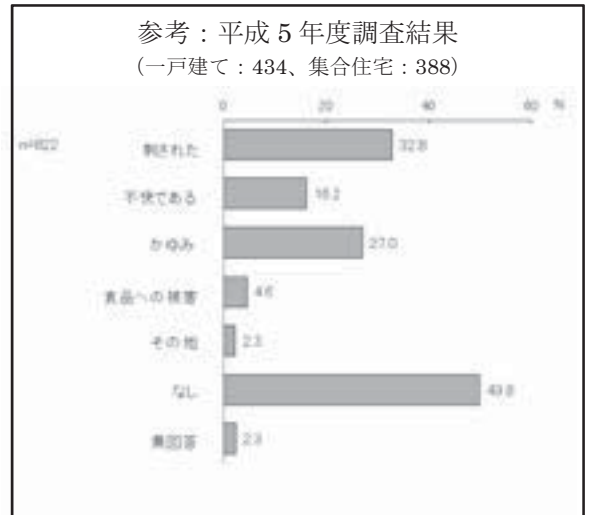
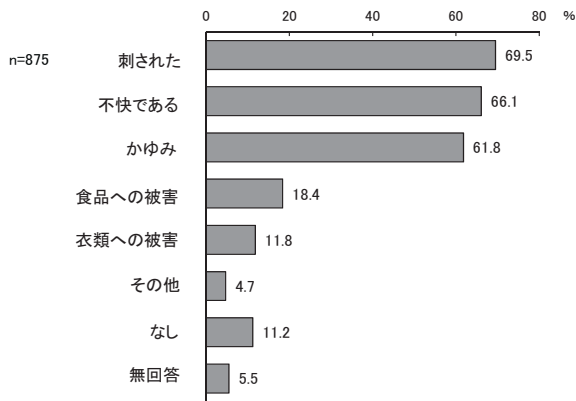


<問24 過去3年間の住宅内での害虫の被害内容> (複数回答)

過去3年間に、お住まいの住宅内で害虫やねずみ等による被害がありましたか。

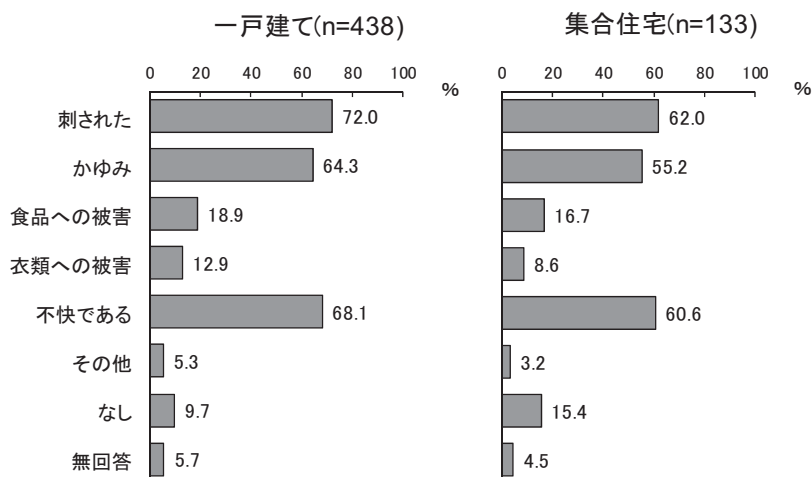
以下から①被害の内容と②害虫等の種類を選んでください。

○過去3年間の住宅内での害虫の被害内容について尋ねたところ、「刺された」が69.5%で最も高く、次いで、「不快である」が66.1%、「かゆみ」が61.8%であった。



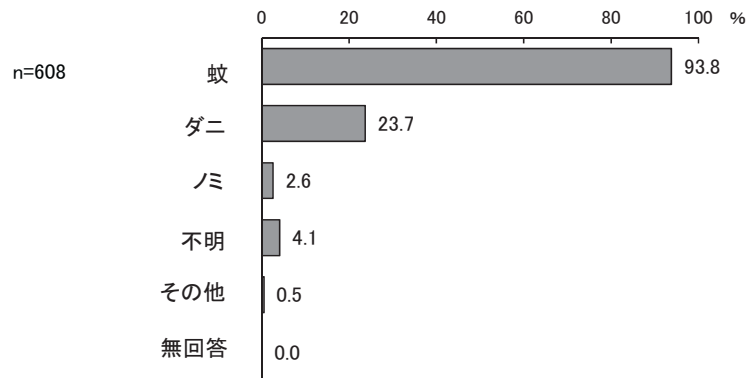
<問24×問2 過去3年間の住宅内での害虫の被害内容 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「なし」の割合は、一戸建てでは9.7%であるのに対して、集合住宅では15.4%となっている。



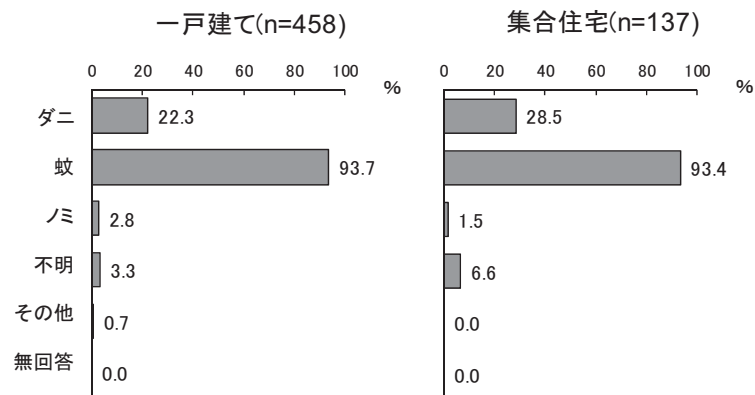
<問24-①1 害虫の種類(刺された)> (複数回答)

○害虫の種類(刺された)について尋ねたところ、「蚊」が93.8%で最も高く、次いで、「ダニ」が23.7%であった。



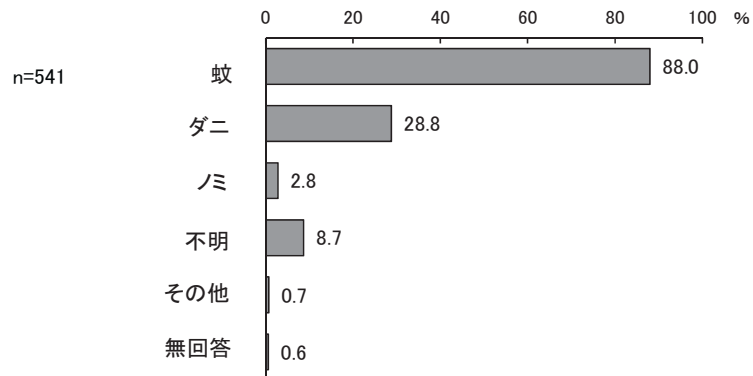
<問24-①1×問2 害虫の種類(刺された) 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「ダニ」は一戸建てでは22.3%であるのに対して、集合住宅では28.5%となっている。



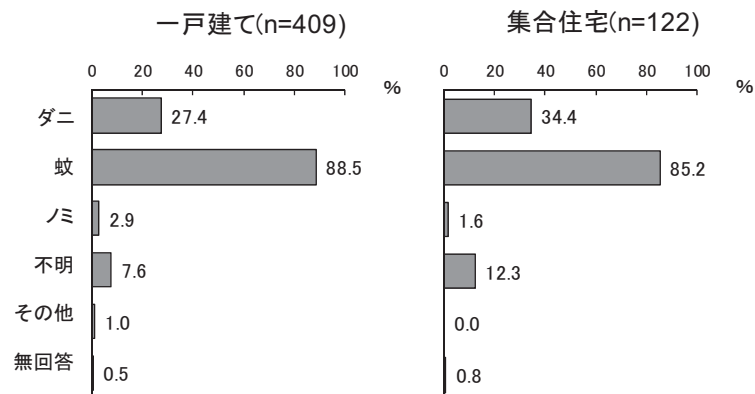
<問24-①2 害虫の種類(かゆみ)> (複数回答)

○害虫の種類(かゆみ)について尋ねたところ、「蚊」が88.0%で最も高く、次いで、「ダニ」が28.8%であった。



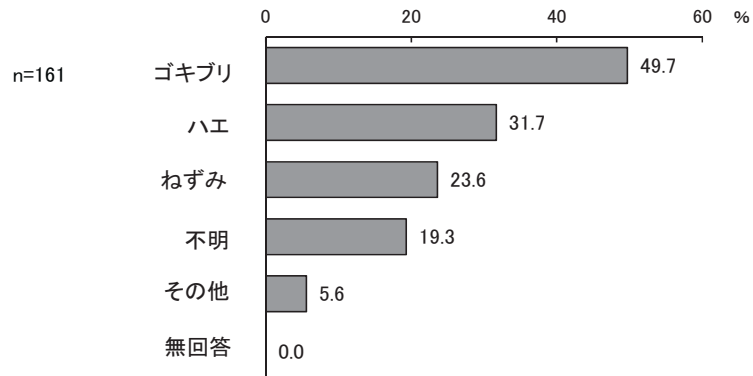
<問24-①2 × 問2 害虫の種類(かゆみ) 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「ダニ」は一戸建てでは27.4%であるのに対して、集合住宅では34.4%となっている。



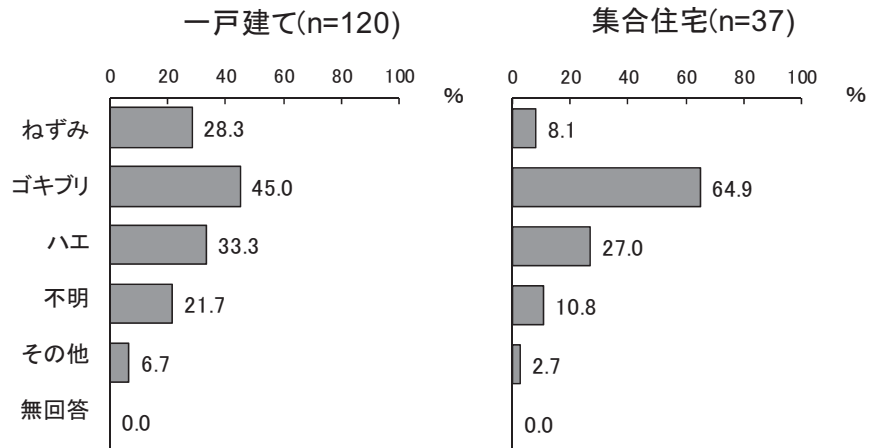
<問24-①3 害虫の種類(食品への被害)> (複数回答)

○害虫の種類(食品への被害)について尋ねたところ、「ゴキブリ」が49.7%で最も高く、次いで、「ハエ」が31.7%、「ねずみ」が23.6%であった。



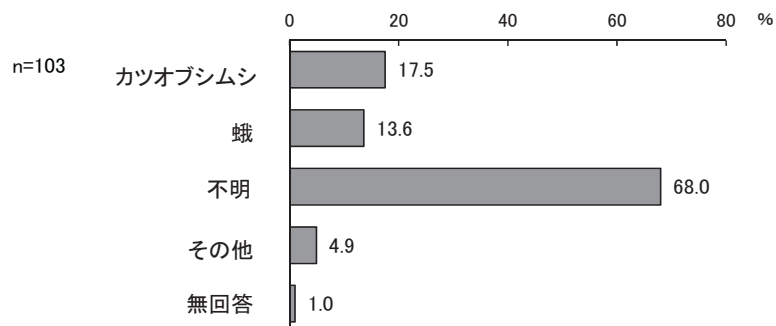
<問24-①3×問2 害虫の種類(食品への被害) 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「ねずみ」は一戸建てでは28.3%であるのに対して、集合住宅では8.1%となっている。また、「ゴキブリ」は一戸建てでは45.0%であるのに対して、集合住宅では64.9%となっている。

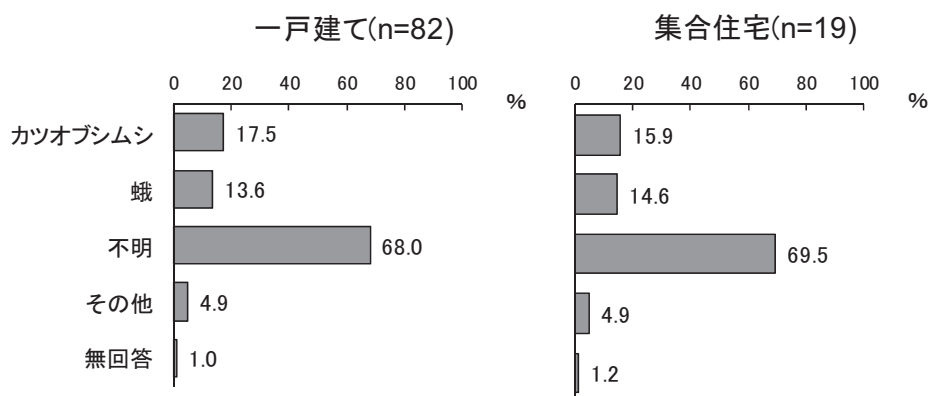


<問24-①4 害虫の種類(衣類への被害)> (複数回答)

○害虫の種類(衣類への被害)について尋ねたところ、不明が68.0%で最も高く、次いで、「カツオブシムシ」が17.5%、「蛾」が13.6%であった。

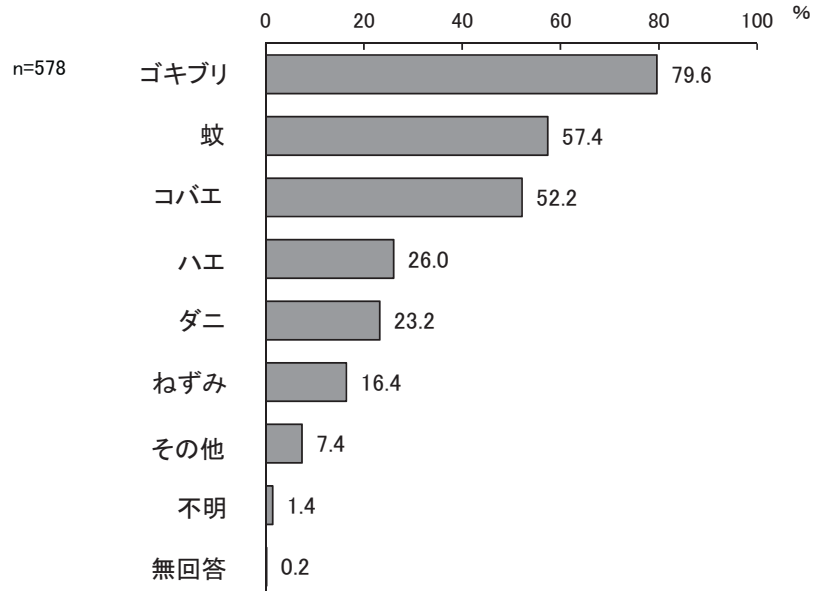


<問24-①4×問2 害虫の種類(衣類への被害) 住居別> (複数回答)



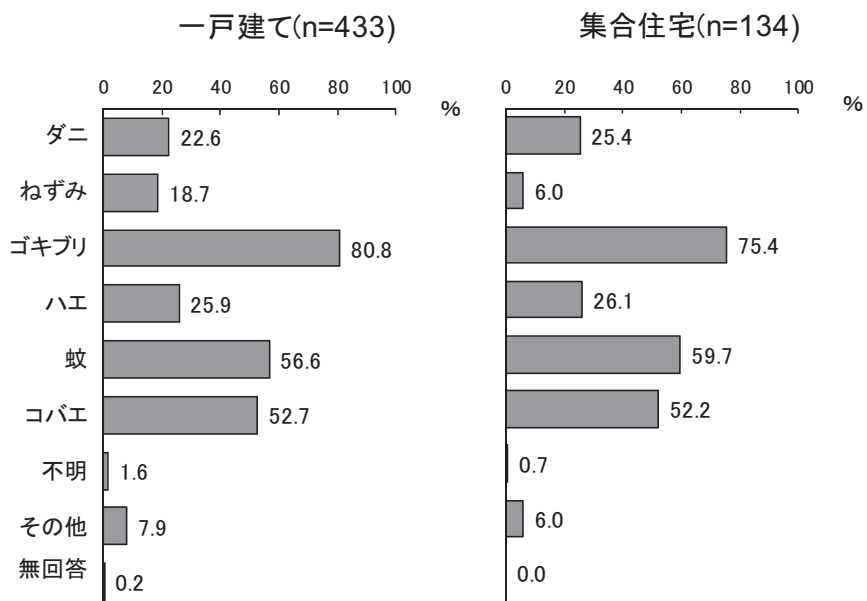
<問24-①5 害虫の種類(不快である)> (複数回答)

○害虫の種類(不快である)について尋ねたところ、「ゴキブリ」が79.6%で最も高く、次いで、「蚊」が57.4%、「コバエ」が52.2%であった。



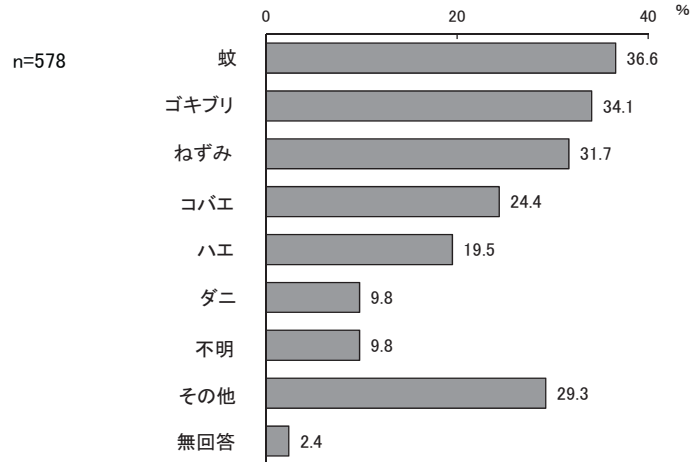
<問24-①5 × 問2 害虫の種類(不快である) 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「ねずみ」は一戸建てでは18.7%であるのに対して、集合住宅では6.0%となっている。



<問24-①6 害虫の種類(その他)> (複数回答)

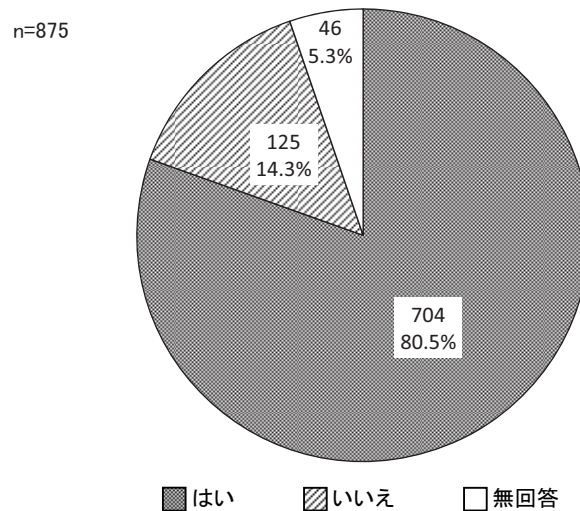
○害虫の種類(その他)について尋ねたところ、「蚊」が36.6%で最も高く、次いで、「ゴキブリ」が34.1%であった。



<問25 住宅内での殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用有無>

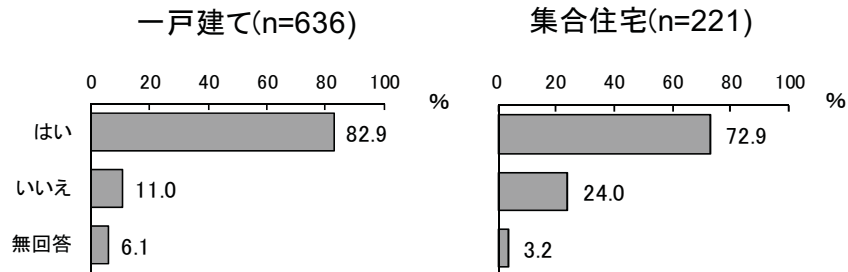
殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)をお住まいの住宅の中で使用していますか。

○住宅内での殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用有無について尋ねたところ、「はい」が80.5%、「いいえ」が14.3%であった。



<問25×問2 住宅内での殺虫剤・防虫剤・虫よけ（忌避剤）の使用有無 住居別>

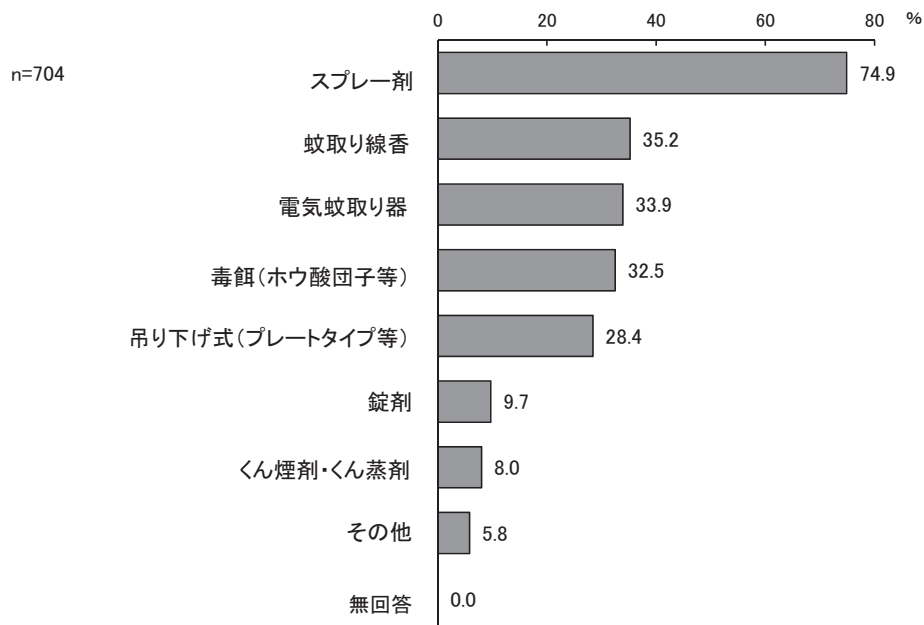
○住居別で見ると、「はい（使用している）」は一戸建てでは82.9%であるのに対して、集合住宅では72.9%となっている。



<問25-1 殺虫剤・防虫剤・虫よけ（忌避剤）の形状>（複数回答）

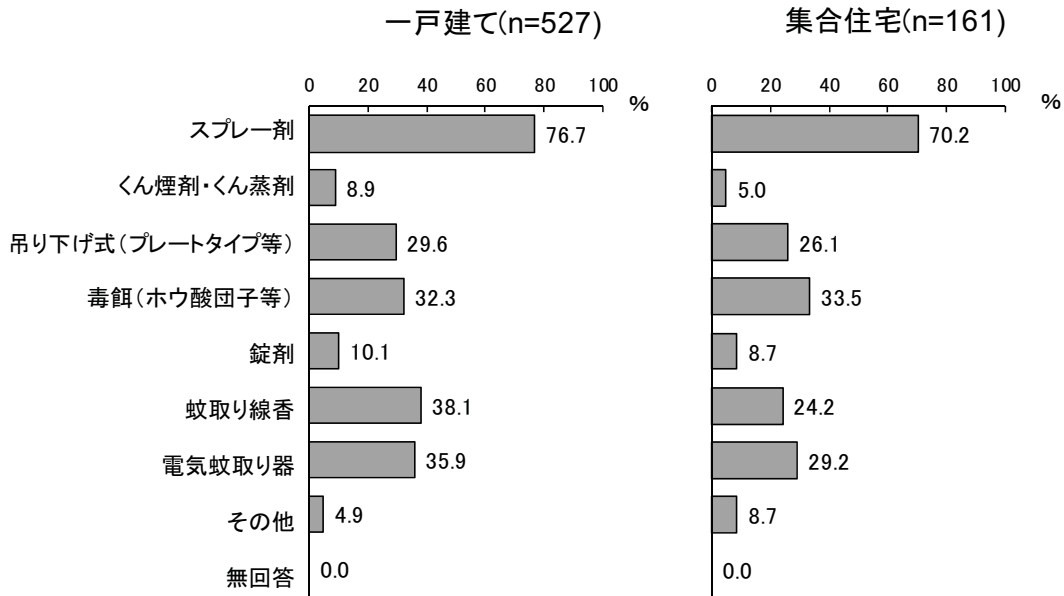
殺虫剤・防虫剤・虫よけ（忌避剤）はどのようなタイプのものを使用していますか。

○問25で「はい（使用している）」と回答した人に、殺虫剤・防虫剤・虫よけ（忌避剤）の形状について尋ねたところ、「スプレー剤」が74.9%で最も高く、次いで、「蚊取り線香」が35.2%、「電気蚊取り器」が33.9%であった。



<問25-1×問2 殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の形状 住居別> (複数回答)

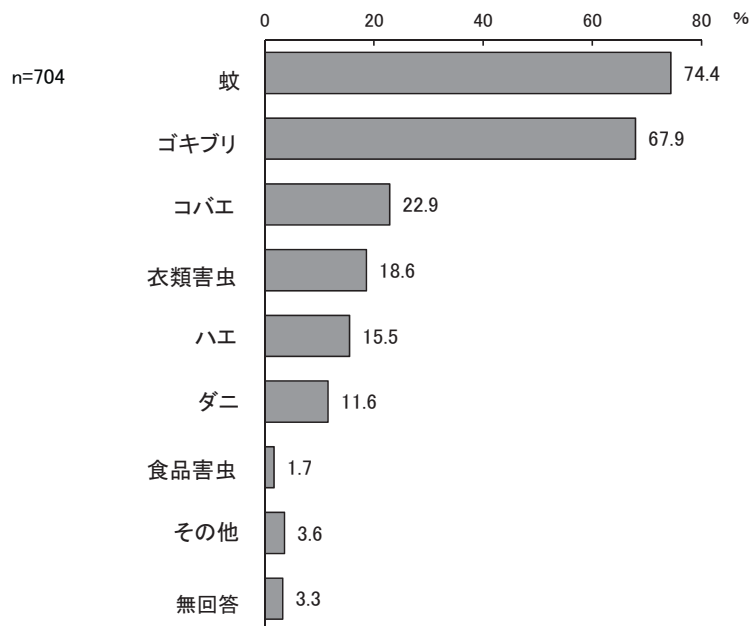
○住居別で見ると、「蚊取り線香」「電気蚊取り器」は、一戸建てではそれぞれ38.1%、35.9%であるのに対して、集合住宅では24.2%、29.2%となっている。



<問25-2 殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用目的> (複数回答)

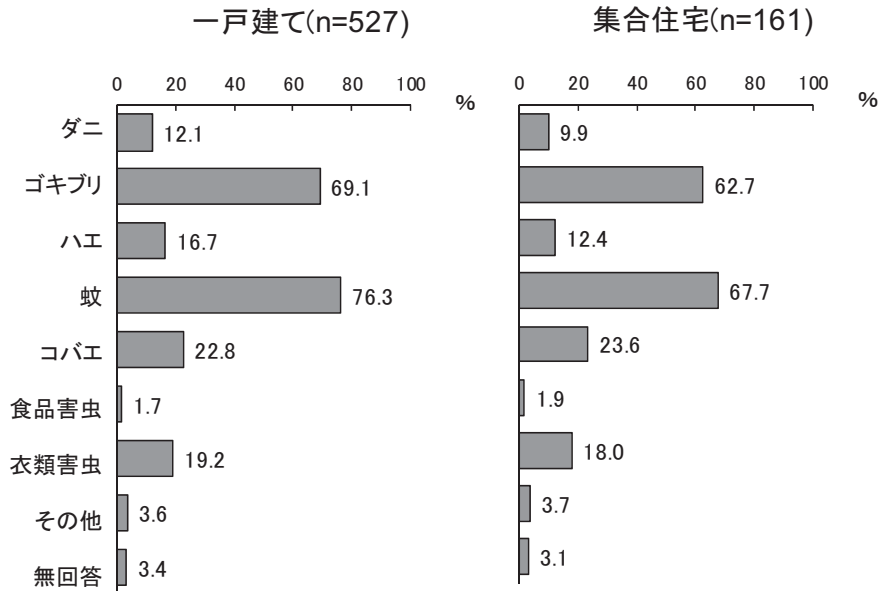
殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)は、どんな虫の駆除に使用していますか。

○問25で「はい」と回答した人に、殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用目的について尋ねたところ、「蚊」が74.4%で最も高く、次いで、「ゴキブリ」が67.9%、「コバエ」が22.9%であった。



<問25-2×問2 殺虫剤・防虫剤・虫よけ(忌避剤)の使用目的 住居別> (複数回答)

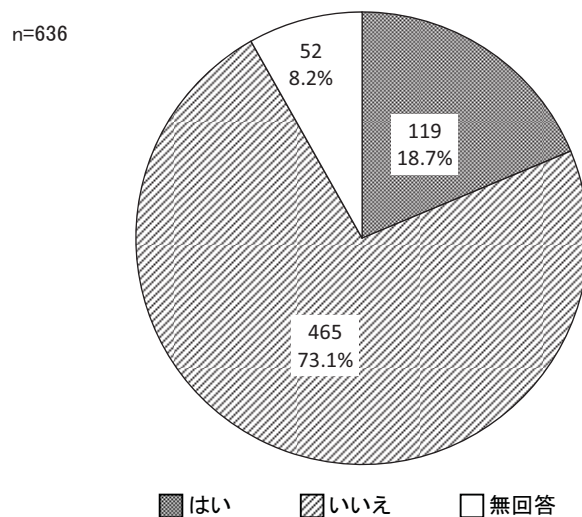
○住居別で見ると、「蚊」「ゴキブリ」は、一戸建てでは、それぞれ76.3%、69.1%であるのに対し、集合住宅では67.7%、62.7%となっている。



<問26 シロアリ駆除の有無>

お住まいの住宅で、シロアリ駆除を行ったことがありますか。[一戸建て住宅にお住まいの方のみお答えください]

○シロアリ駆除の有無について尋ねたところ、「はい」が18.7%、「いいえ」が73.1%であった。

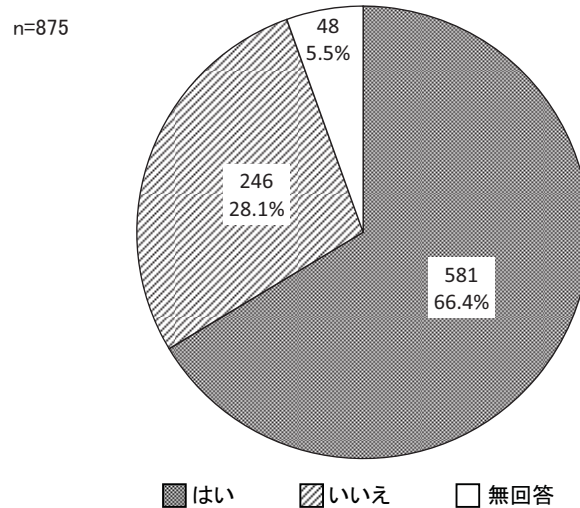


【(D) 消臭、洗濯等について】

<問27 住宅内での消臭剤や芳香剤の使用有無>

お住まいの住宅内で、消臭剤や芳香剤を使用していますか。

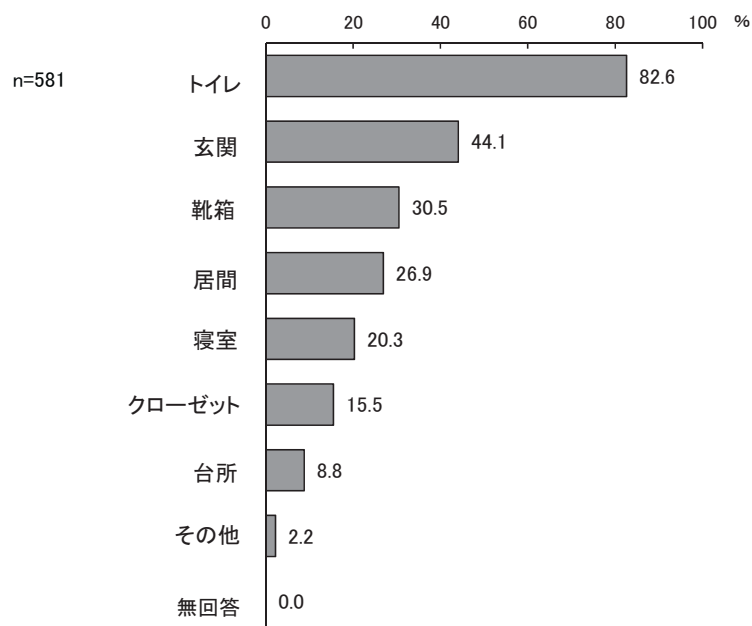
○住宅内での消臭剤や芳香剤の使用有無について尋ねたところ、「はい」が66.4%、「いいえ」が28.1%であった。



<問27-1 消臭剤や芳香剤の使用場所> (複数回答)

消臭剤や芳香剤はどこで使用していますか。

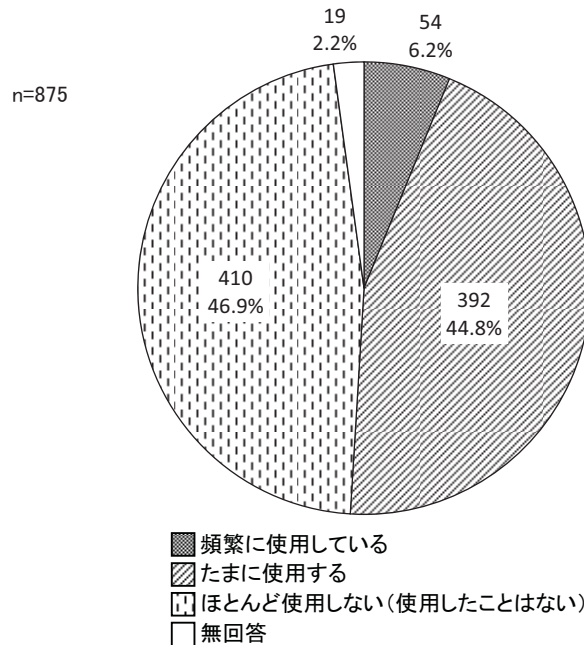
○問27で「はい」と回答した人に、消臭剤や芳香剤の使用場所について尋ねたところ、「トイレ」が82.6%で最も高く、次いで、「玄関」が44.1%、「靴箱」が30.5%であった。



<問28 布製品への消臭スプレー等の使用頻度>

衣類や寝具等の布製品に対して消臭スプレー等を使用していますか。

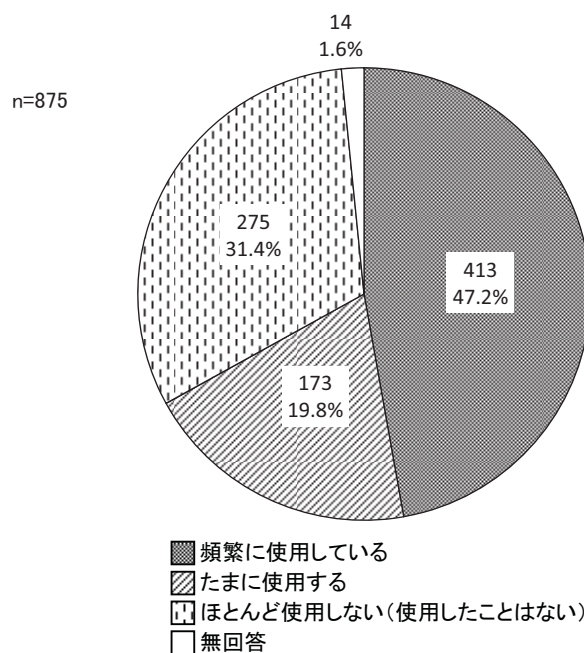
○布製品への消臭スプレー等の使用頻度について尋ねたところ、「ほとんど使用しない（使用したことはない）」が46.9%、次いで、「たまに使用する」が44.8%であった。



<問29 洗濯時の柔軟剤の使用頻度>

洗濯の際に香りが付く柔軟剤（衣類への香り付け効果が記載されたもの）を使用していますか。

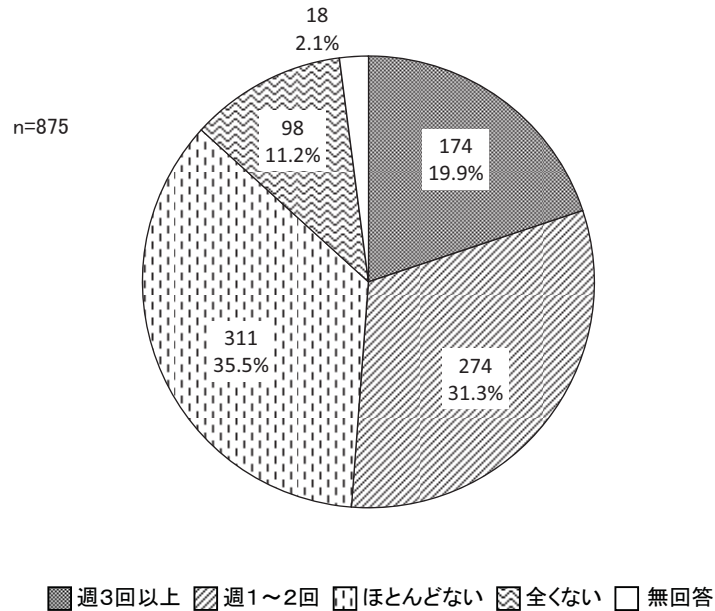
○洗濯時の柔軟剤の使用頻度について尋ねたところ、「頻繁に使用している」が47.2%、次いで、「ほとんど使用しない」が31.4%、「たまに使用する」が19.8%であった。



<問30 室内干しの頻度>

洗濯直後に居間や寝室で室内干しをする頻度はどのくらいですか。

○室内干しの頻度について尋ねたところ、「ほとんどない」が35.5%、次いで、「週1～2回」が31.3%、「週3回以上」が19.9%であった。

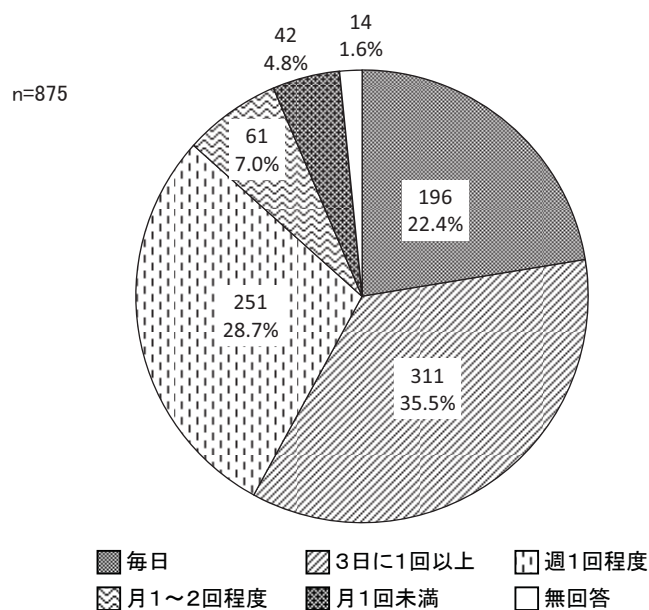


【(E) 清掃・寝具の管理等について】

<問31 居間での掃除機の使用頻度>

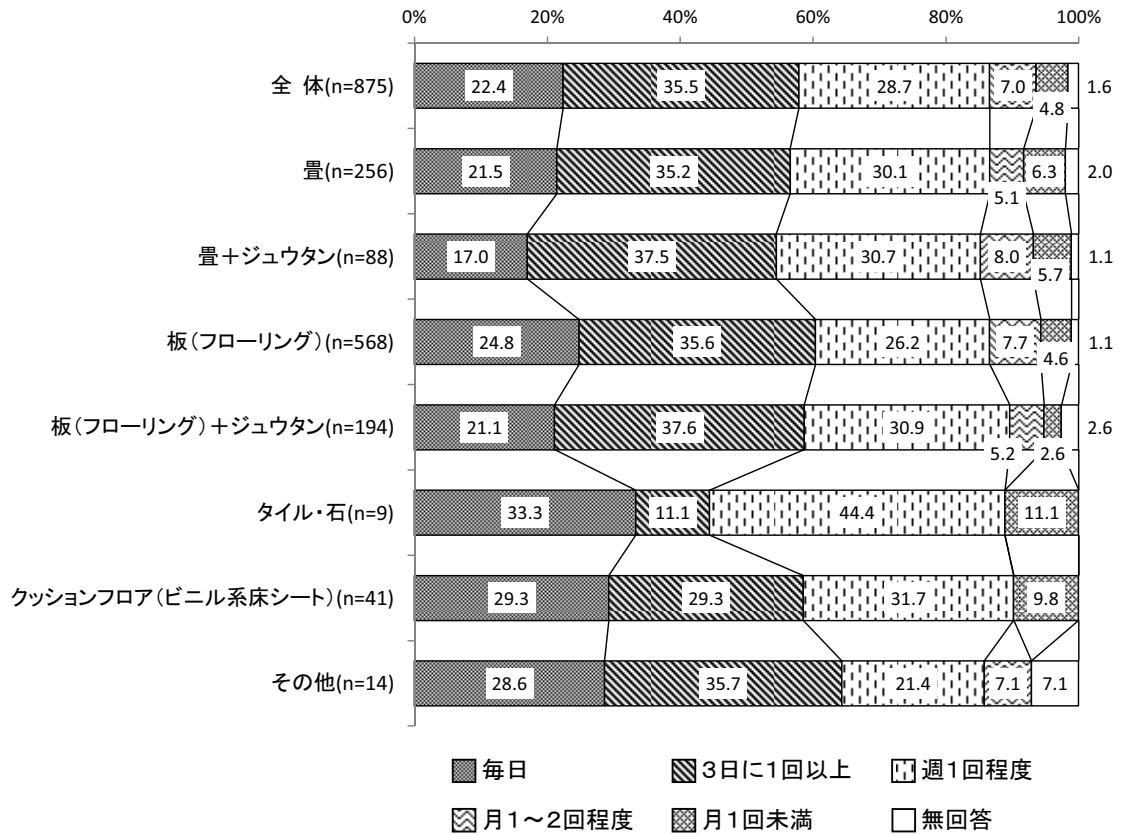
掃除機で居間の掃除をする頻度はどれくらいですか。

○居間での掃除機の使用頻度について尋ねたところ、「3日に1回以上」が35.5%で最も高く、次いで、「週1回程度」が28.7%、「毎日」が22.4%であった。



<問3 1 × 問7 居間での掃除機の使用頻度 居間の床材別>

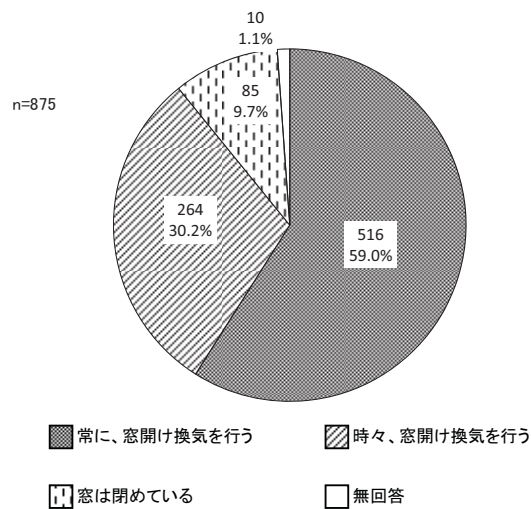
○居間での掃除機の使用頻度について尋ねたところ、「3日に1回以上」（「毎日」含む）は、全体では57.9%であるのに対し、「板（フローリング）」では60.4%となっている。



<問3 2 掃除機使用時の窓の換気頻度>

掃除機がけを行う時に、窓を開けて換気していますか。

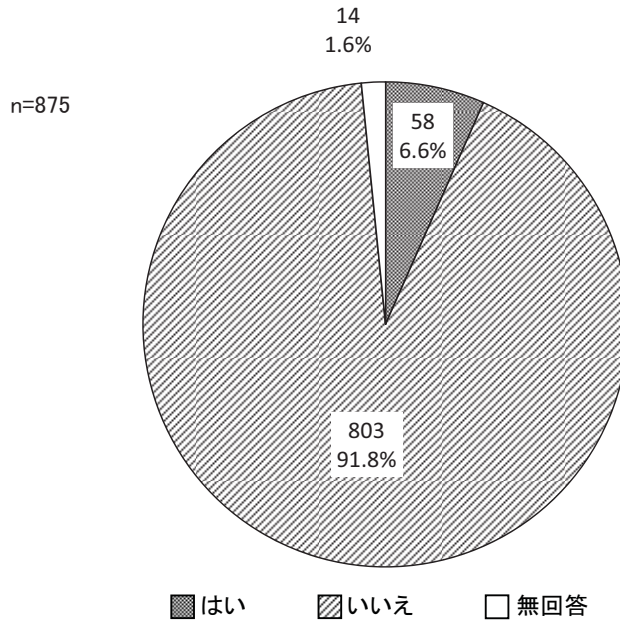
○掃除機使用時の窓の換気頻度について尋ねたところ、「常に、窓開け換気を行う」が59.0%で最も高く、次いで、「時々、窓開け換気を行う」が30.2%、「窓は閉めている」が9.7%であった。



<問33 ロボット掃除機の使用有無>

ロボット掃除機を使用していますか。

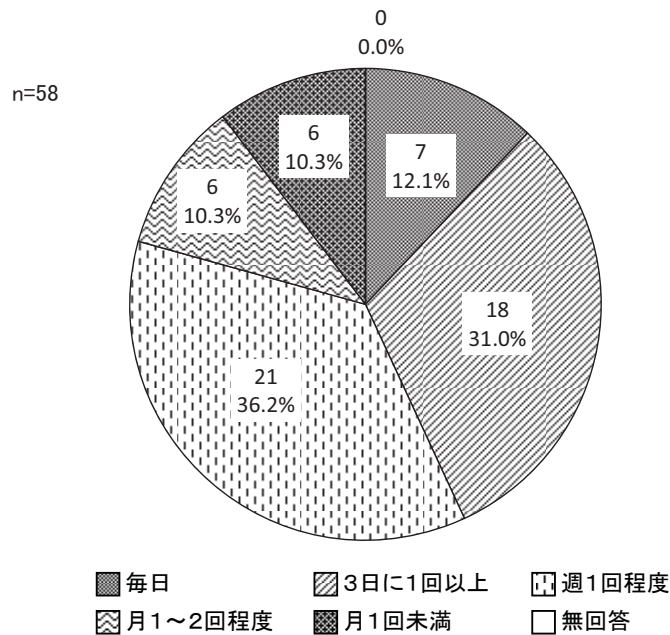
○ロボット掃除機の使用有無について尋ねたところ、「はい」が6.6%、「いいえ」が91.8%であった。



<問33-1 ロボット掃除機の使用頻度>

ロボット掃除機の使用頻度はどのくらいですか。

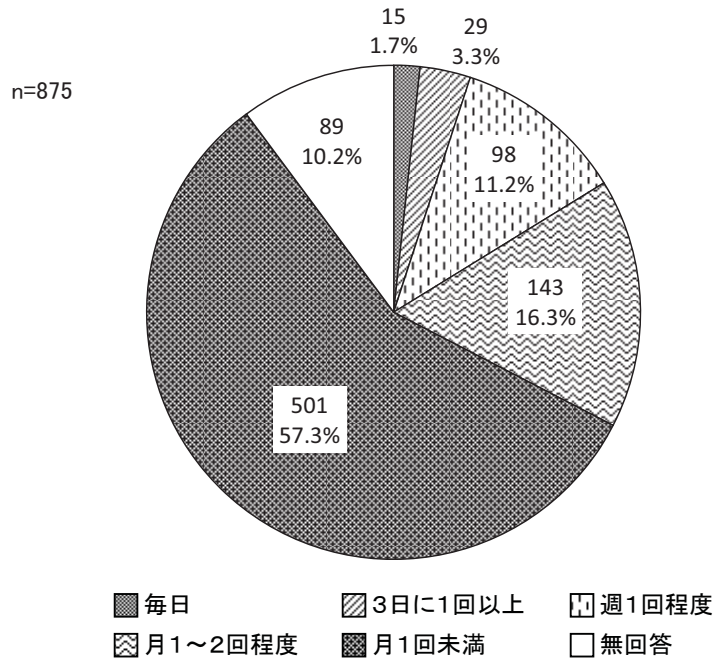
○問33で「はい」と回答した人に、ロボット掃除機の使用頻度について尋ねたところ、「週1回程度」が36.2%、「3日に1回以上」が31.0%、「毎日」が12.1%であった。



<問34 布団に掃除機をかける頻度>

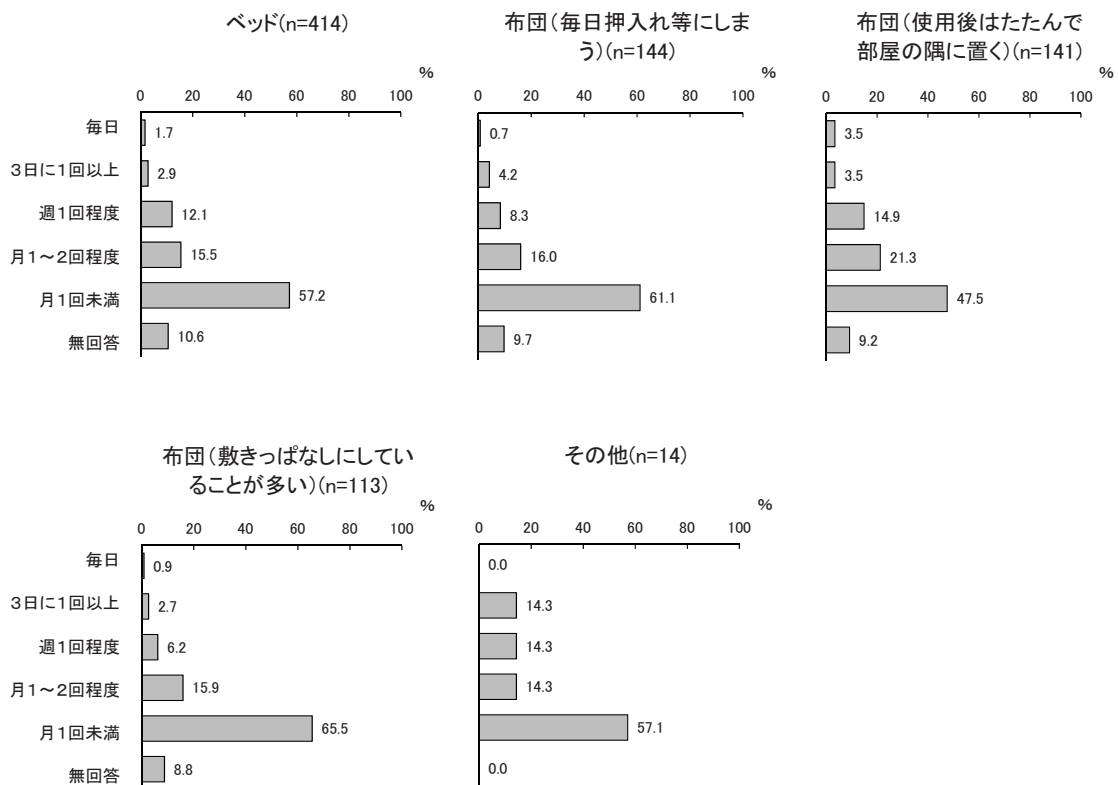
布団に掃除機がけを行う頻度はどのくらいですか。

○布団に掃除機をかける頻度について尋ねたところ、「月1回未満」が57.3%で最も高く、次いで、「月1～2回程度」が16.3%、「週1回程度」が11.2%であった。



<問34×問36 布団に掃除機をかける頻度 寝具別>

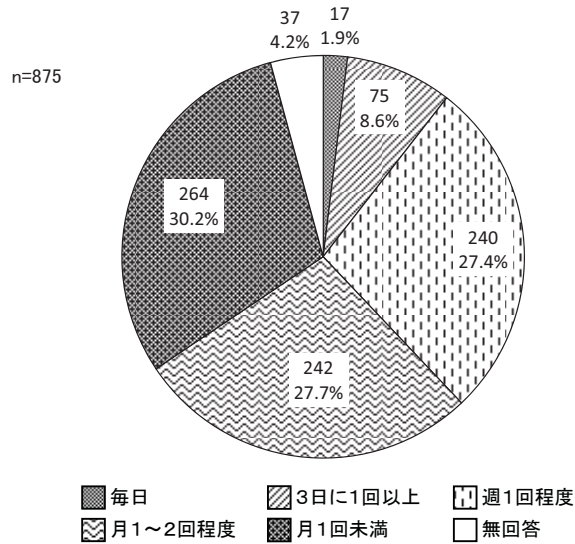
○使用している寝具別では、「月1回未満」は、「布団(敷きっぱなしにしていることが多い)」では65.5%であったのに対し、「布団(使用後はたたんで部屋の隅に置く)」は47.5%であった。



<問35 布団を乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)する頻度>

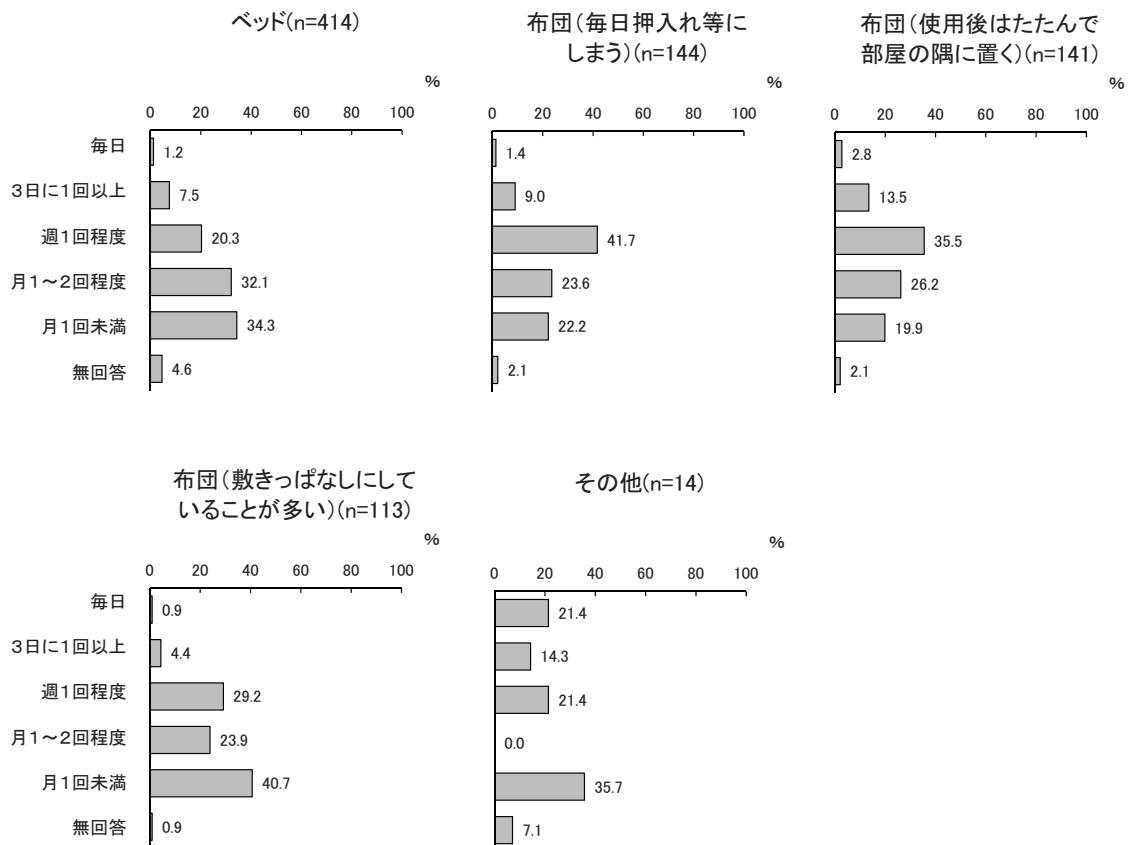
布団の乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)は、どのくらいの頻度で行いますか。

○布団を乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)する頻度について尋ねたところ、「月1回未満」が30.2%で最も高く、次いで、「月1~2回程度」が27.7%、「週1回程度」が27.4%であった。



<問35×問36 布団を乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)する頻度 寝具別>

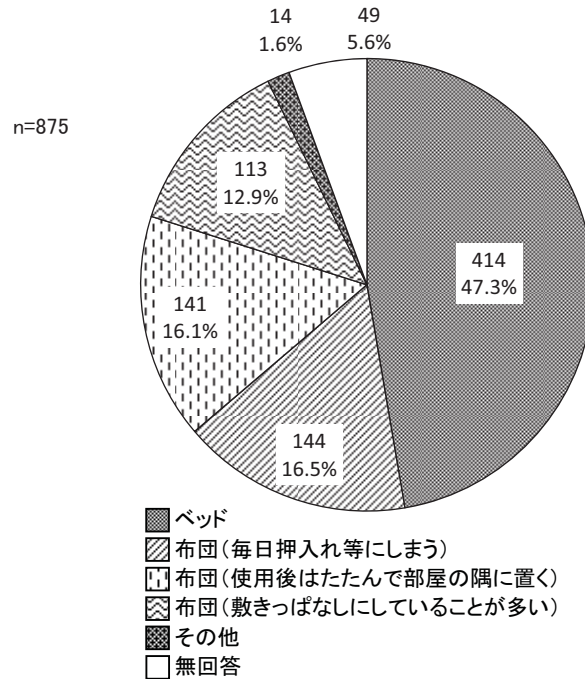
○布団を乾燥(日干しや布団乾燥機の使用)する頻度について寝具別にみると、「月1回未満」は全体では30.2%であったのに対して、「布団(敷きっぱなしにしていることが多い)」では、40.7%となっている。



<問36 主な寝具>

主な寝具はベッド又は布団のどちらですか。

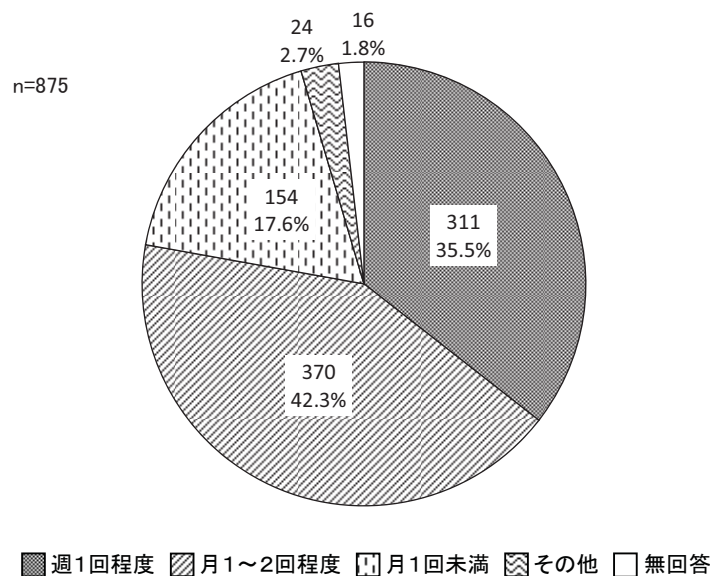
○主な寝具について尋ねたところ、「ベッド」が47.3%で最も高く、次いで、「布団(毎日押入れ等にしまう)」が16.5%、「布団(使用後はたたんで部屋の隅に置く)」が16.1%であった。



<問37 寝具類を洗濯する頻度>

寝具類(シーツ、カバー、ベッドパッド等の自宅で洗えるもの)の洗濯は、どのくらいの頻度で行いますか。

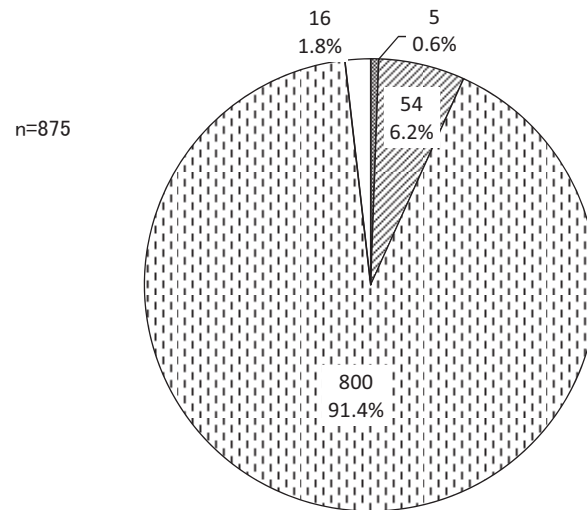
○寝具類を洗濯する頻度について尋ねたところ、「月1~2回程度」が42.3%と最も高く、次に「週1回程度」が35.5%であった。



<問38 コインランドリーの使用頻度>

布団の洗濯を行うために、コインランドリーを使用することがありますか。

○コインランドリーの使用頻度について尋ねたところ、「ほとんど使用しない（使用したことはない）」が91.4%と最も高く、次に「たまに使用する」が6.2%であった。



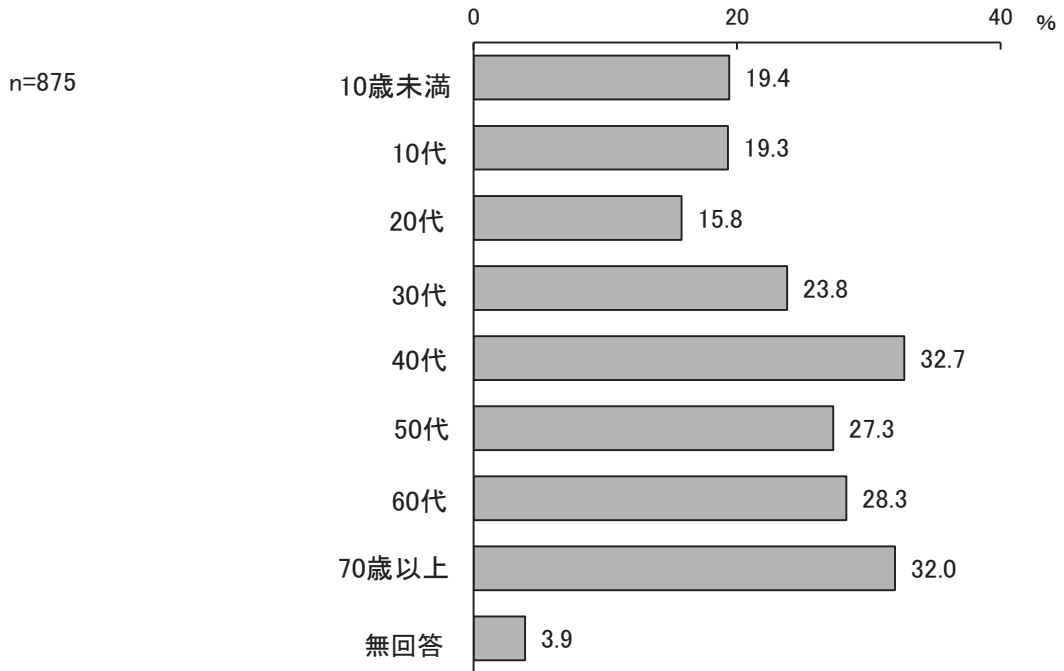
- 頻繁に使用している
- ▨ たまに使用する
- ほとんど使用しない(使用したことはない)
- 無回答

【(F) 家族構成とアレルギー疾患について】

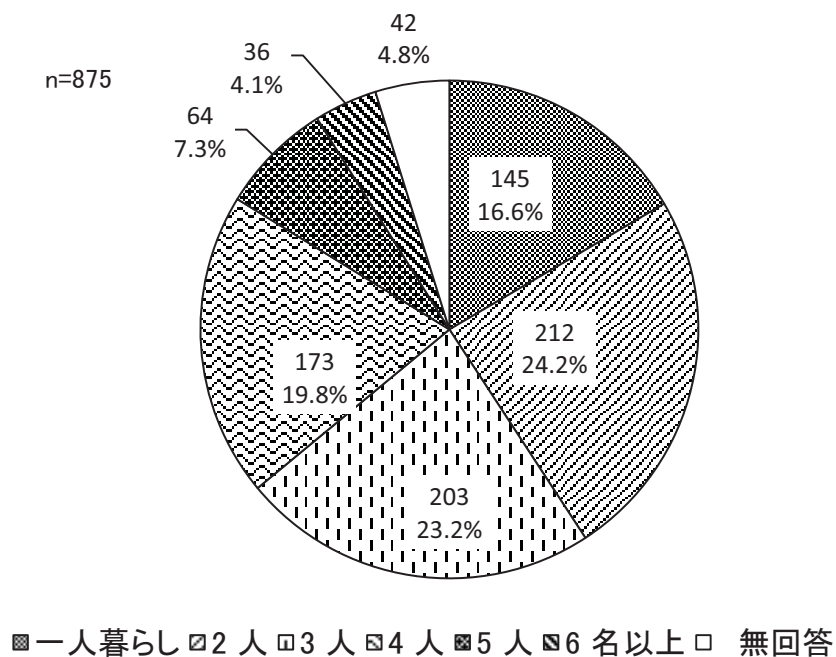
<問39 家族の年齢構成>

あなた自身及びご家族（現在同居している方）の構成についてお答えください。

○家族の年齢構成について尋ねたところ、家族に「40代」が含まれる世帯は32.7%と最も高く、次に「70歳以上」が32.0%、「60代」が28.3%であった。

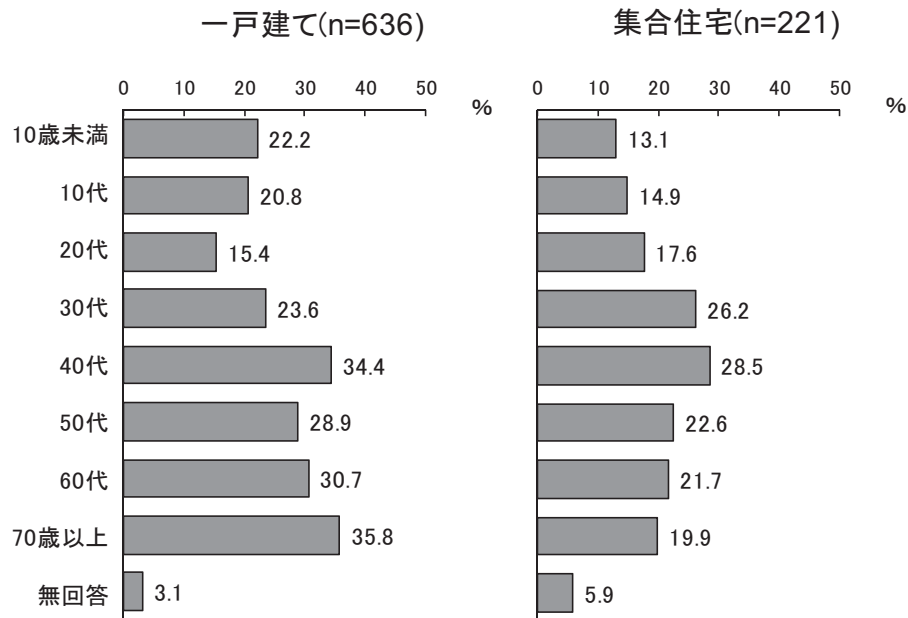


○家族の世帯人員について尋ねたところ、「2人」が24.2%と最も高く、次に「3人」が23.2%、「4人」が19.8%であった。



<問39×問2 家族の年齢構成 住居別>

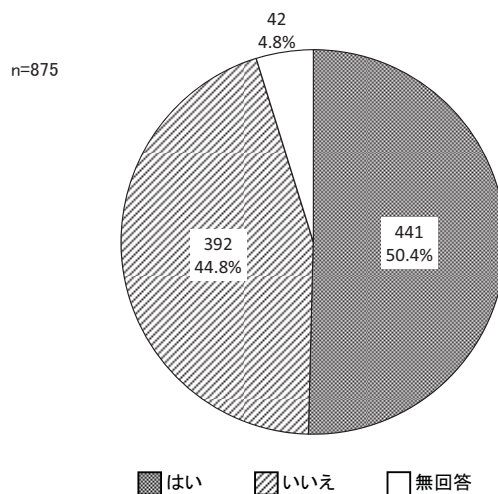
○住居別で見ると、家族に「10歳未満」が含まれる世帯は、一戸建てでは22.2%であるのに対して、集合住宅では13.1%となっている。また、家族に「70歳以上」が含まれる世帯は、一戸建てでは35.8%であるのに対して、集合住宅では19.9%となっている。



<問40 アレルギー疾患がある居住者の有無>

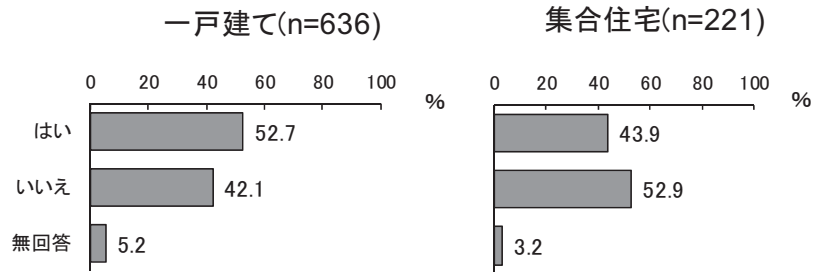
あなた自身及びご家族（現在同居している方）の中で、医師にアレルギー疾患だと診断され、過去1年間に症状があった方がいますか。

○アレルギー疾患がある居住者の有無について尋ねたところ、「はい（有）」と回答した割合が50.4%、「いいえ（無）」が44.8%であった。



<問40×問2 アレルギー疾患がある居住者の有無 住居別>

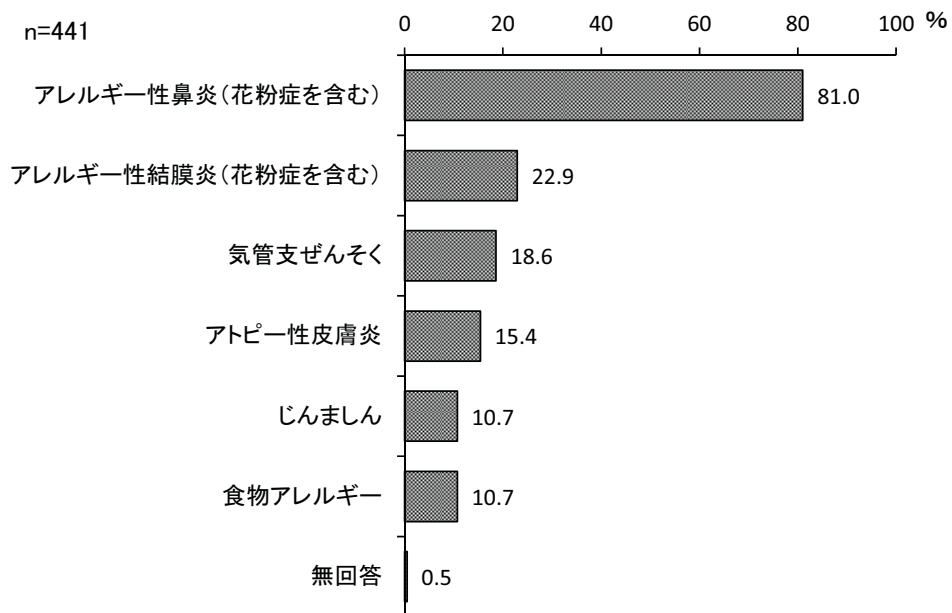
○住居別で見ると、「はい」は一戸建てでは52.7%であるのに対して、集合住宅では43.9%となっている。



<問40-1 居住者の該当するアレルギー疾患について> (複数回答)

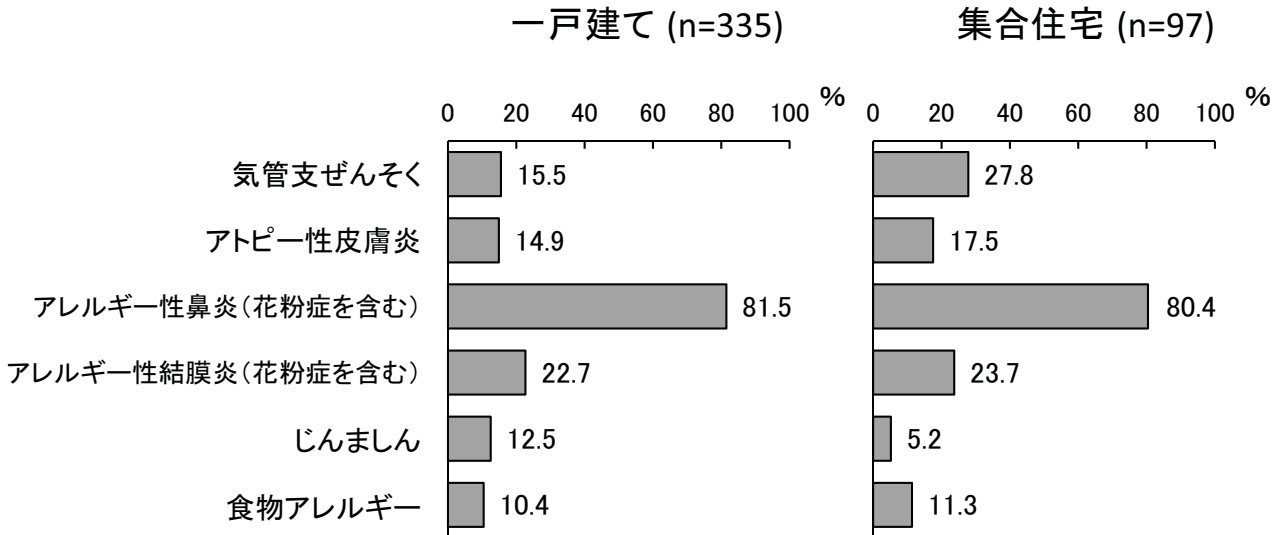
①該当するアレルギー疾患名に○を付け、②該当される方の年齢と性別、症状が悪化しやすい時期をご記入ください。

○問40で「はい」と回答した人に、居住者の該当するアレルギー疾患を尋ねたところ、「アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)」が81.0%で最も高く、次いで、「アレルギー性結膜炎(花粉症を含む)」が22.9%、「気管支ぜんそく」が18.6%であった。



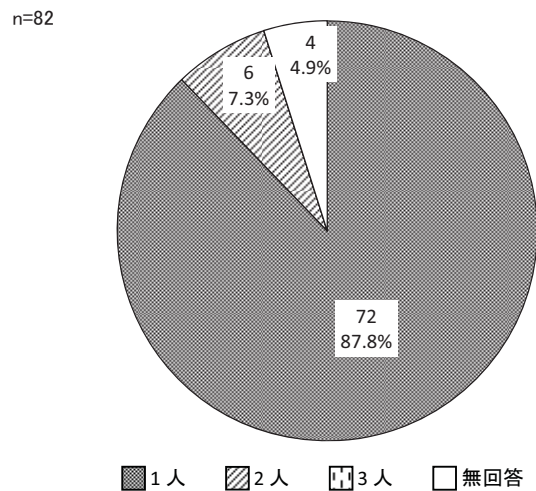
<問40-1×問2 該当するアレルギー疾患について 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「気管支ぜんそく」は一戸建てでは15.5%であるのに対して、集合住宅では27.8%となっている。



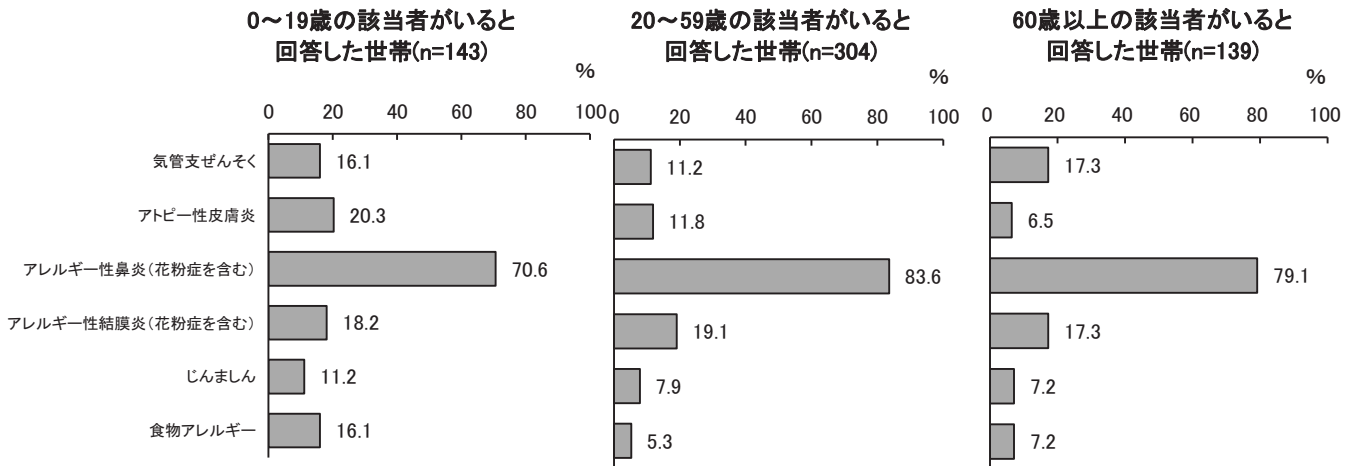
<問40-1 気管支ぜんそくの一世帯あたりの人数>

○問40-1で「気管支ぜんそく」と回答した人に、気管支ぜんそくの一世帯あたりの人数を尋ねたところ、「1人」が87.8%、「2人」が7.3%であった。



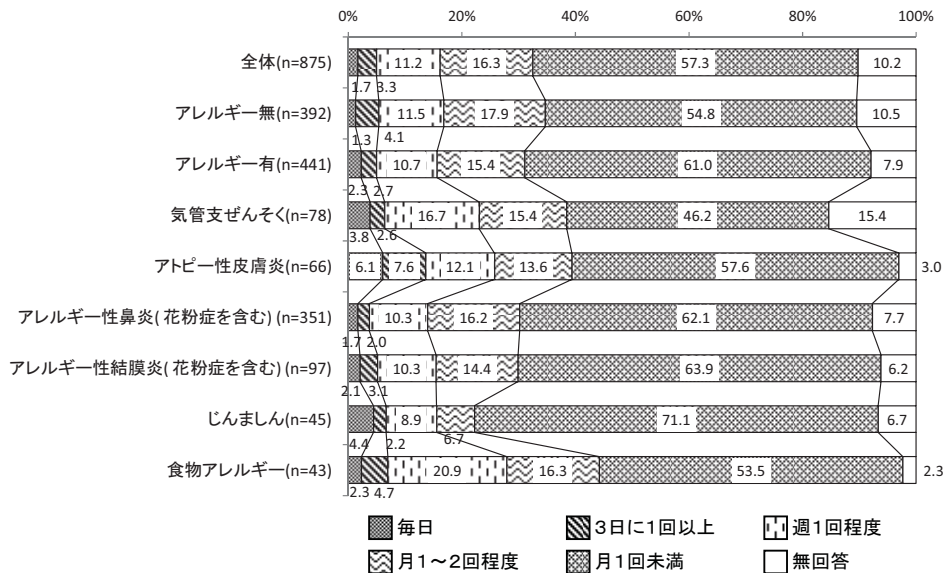
<問40-1 該当するアレルギー疾患について 年齢別> (複数回答)

○設問40で「はい」と回答した人に、年代別に該当するアレルギー疾患を尋ねたところ、「アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)」は0~19歳が70.6%、20~59歳が83.6%、60歳以上が79.1%であった。また、「食物アレルギー」は、それぞれ16.1%、5.3%、7.2%であった。



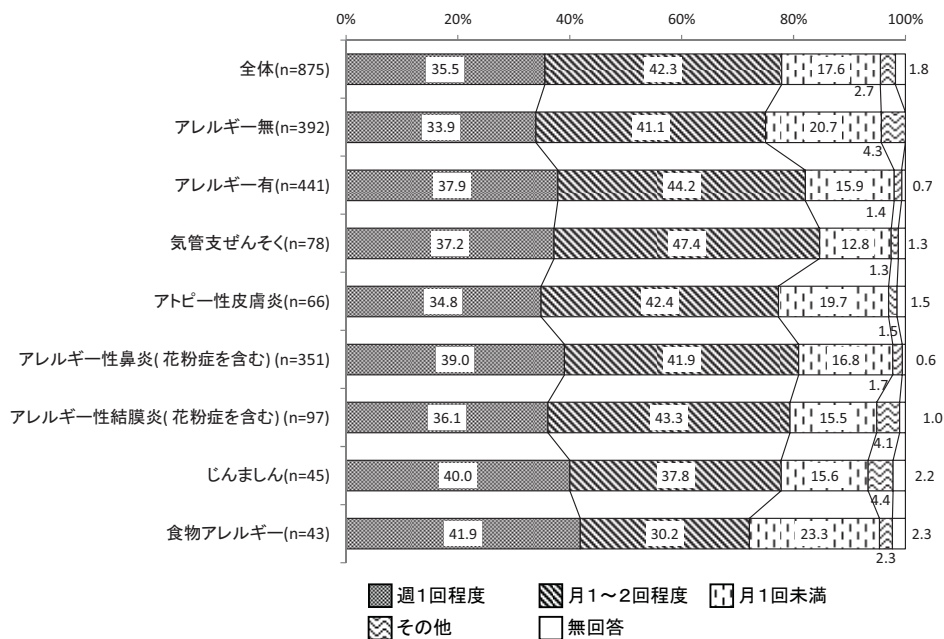
<問40-1×問34 世帯当たりのアレルギー疾患の有無別 布団に掃除掛けを行う頻度>

○該当するアレルギー疾患の有無別に布団に掃除機掛けを行う頻度をみると、「週1回程度以上(毎日、3日に1回以上含む)」は、全体では16.2%であるのに対し、「気管支ぜんそく」では23.1%、「アトピー性皮膚炎」では25.8%、「食物アレルギー」では27.9%となっている。



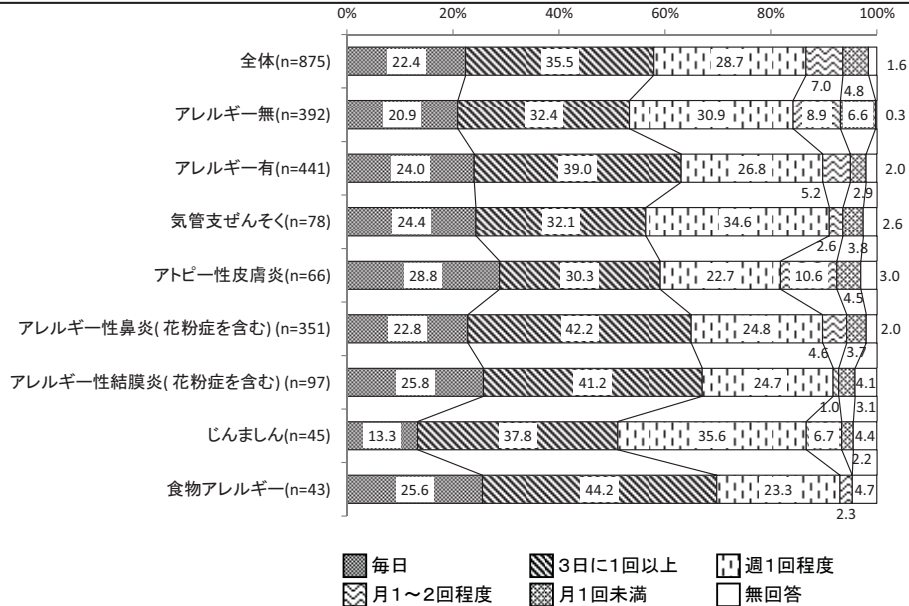
<問40-1×問37 世帯当たりのアレルギー疾患の有無別 寝具類を洗濯する頻度>

○該当するアレルギー疾患の有無別に寝具類を洗濯する頻度をみると、「週1回程度」は、「アレルギー無」では33.9%であるのに対し、「アレルギー有」では37.9%となっている。



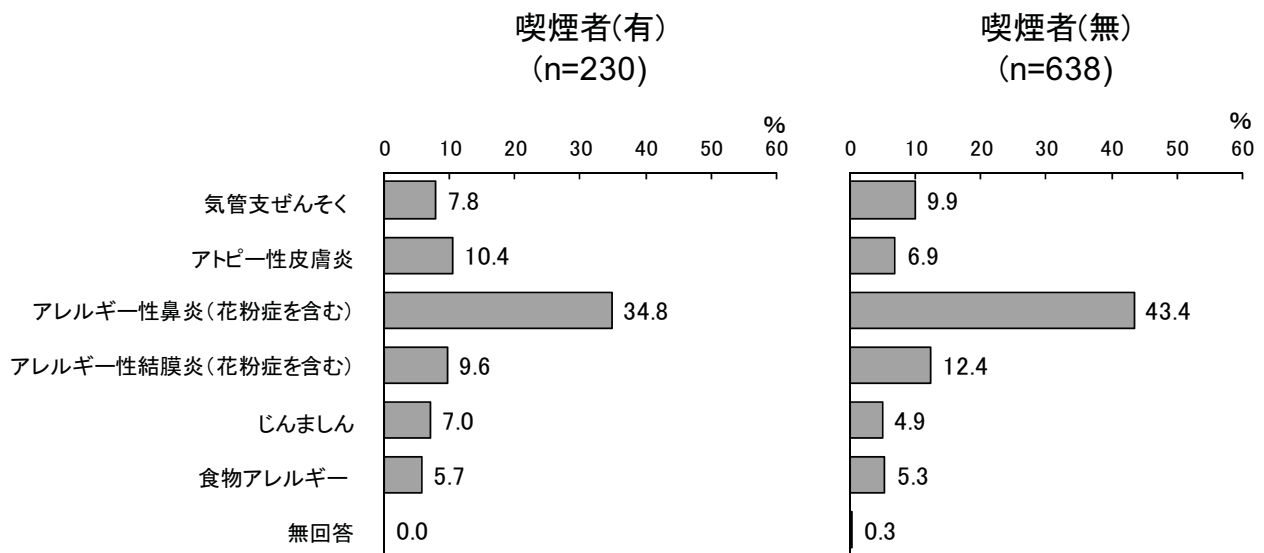
<問40-1×問31 世帯当たりのアレルギー疾患有無別 掃除機で居間を掃除する頻度>

○該当するアレルギー疾患の有無別に掃除機で居間を掃除する頻度をみると、「3日に1回以上（毎日含む）」は、「アレルギー無」では53.3%であるのに対し、「アレルギー有」では63.0%となっている。



<問40-1×問47 該当するアレルギー疾患について 住宅内での喫煙者の有無別> (複数回答)

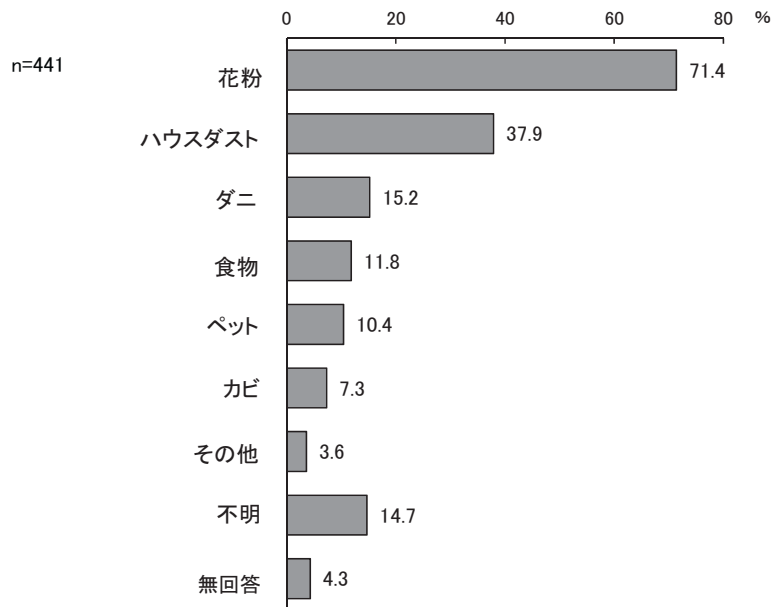
○喫煙者の有無別でみると、「気管支ぜんそく」「アレルギー性鼻炎(花粉症含む)」は、喫煙者「有」と回答した人では、それぞれ7.8%、34.8%であるのに対して、喫煙者「無」と回答した人では9.9%、43.4%となっている。



<問40-2 アレルギー疾患の原因について> (複数回答)

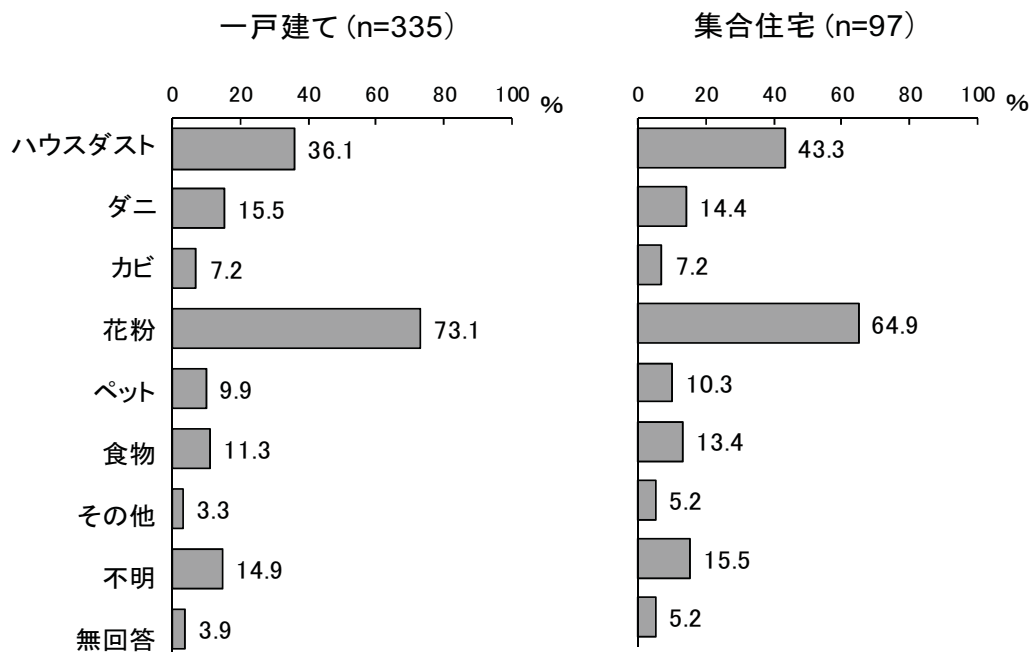
あなた自身及びご家族(現在同居している方)のアレルギー疾患の原因として特定されたものがありますか。

○問40で「はい」と回答した人に、該当するアレルギー疾患の原因を尋ねたところ、「花粉」が71.4%で最も高く、次いで、「ハウスダスト」が37.9%、「ダニ」が15.2%であった。



<問40-2×問2 アレルギー疾患の原因について 住居別> (複数回答)

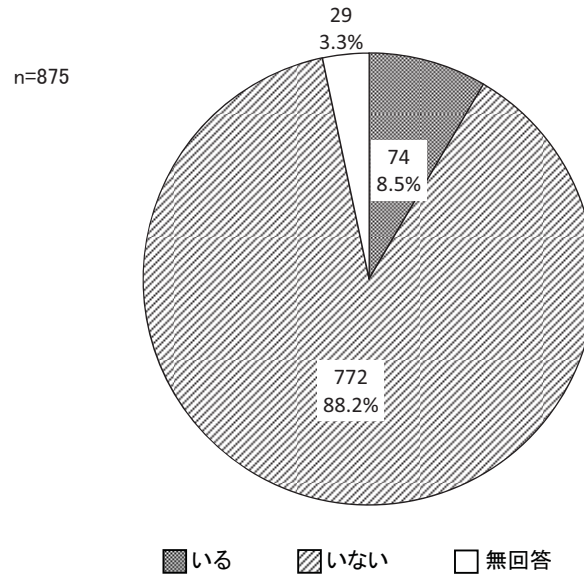
○住居別で見ると、「花粉」「ハウスダスト」は、一戸建てではそれぞれ73.1%、36.1%であるのに対し、集合住宅は64.9%、43.3%となっている。



<問4 1 要介護者の有無>

あなた自身及びご家族（現在同居している方）の中で、介護を必要とする方がいますか。

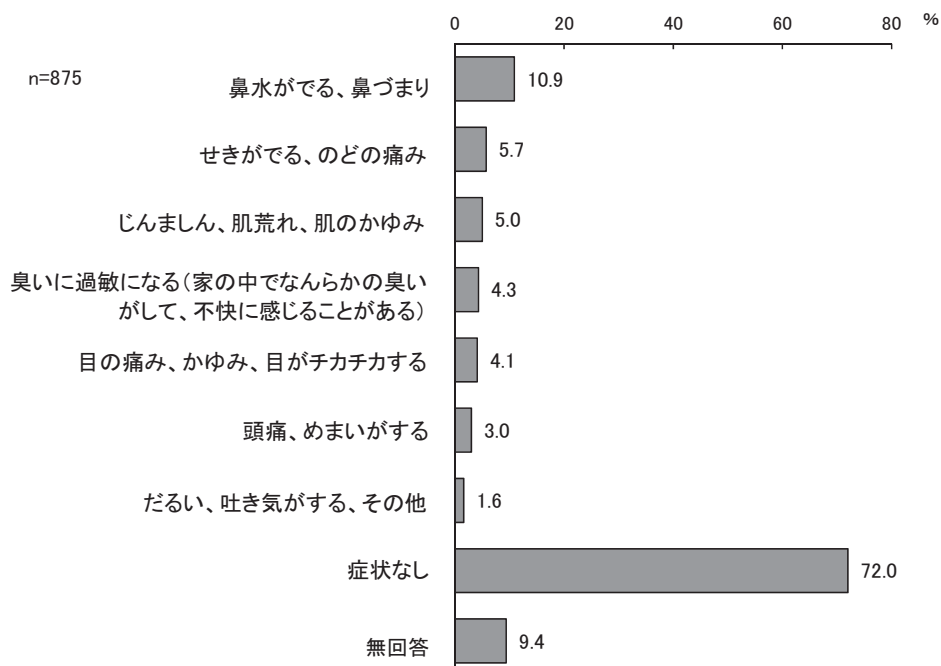
○要介護者の有無について尋ねたところ、「いる」と回答した人が8.5%、「いない」が88.2%であった。



<問4 2 住宅内での体調の不調について>（複数回答）

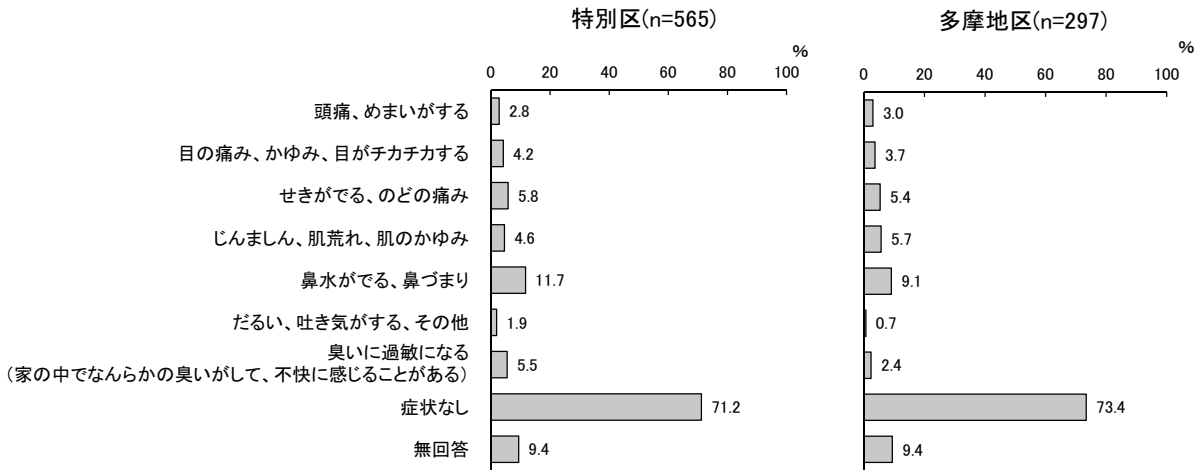
あなた自身及びご家族の中で、お住まいの住宅内にいるときだけ、次のような体調の不調（風邪等の場合を除く）を感じたことがある方がいますか。

○住宅内での体調の不調について尋ねたところ、症状がある人では、「鼻水がでる、鼻づまり」が10.9%で最も高く、次いで、「せきがでる、のどの痛み」が5.7%、「じんましん、肌荒れ、肌のかゆみ」が5.0%であった。



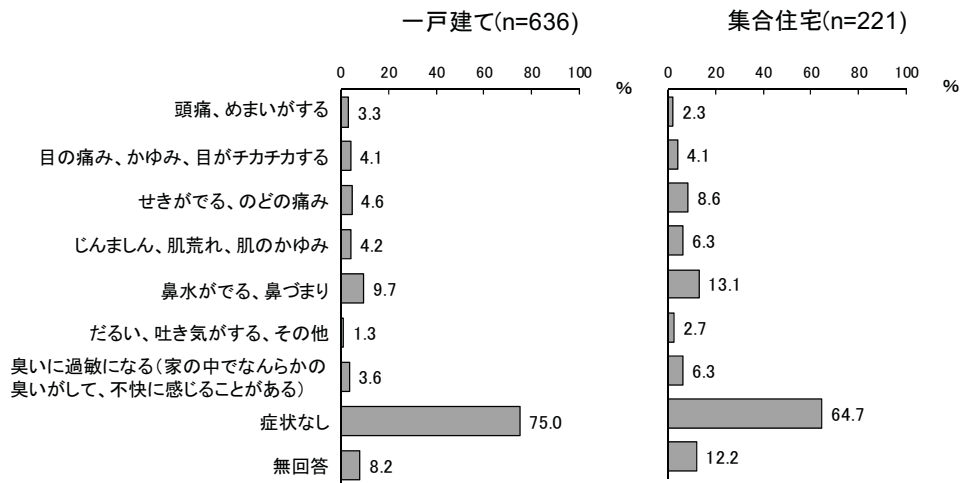
<問4 2 × 問1 住宅内での体調の不調について 所在地別> (複数回答)

○住宅内での体調の不調について所在地別にみると、特別区では、「臭いに過敏になる」「鼻水が出る、鼻づまり」はそれぞれ5.5%、11.7%であるのに対し、多摩地区では2.4%、9.1%であった。



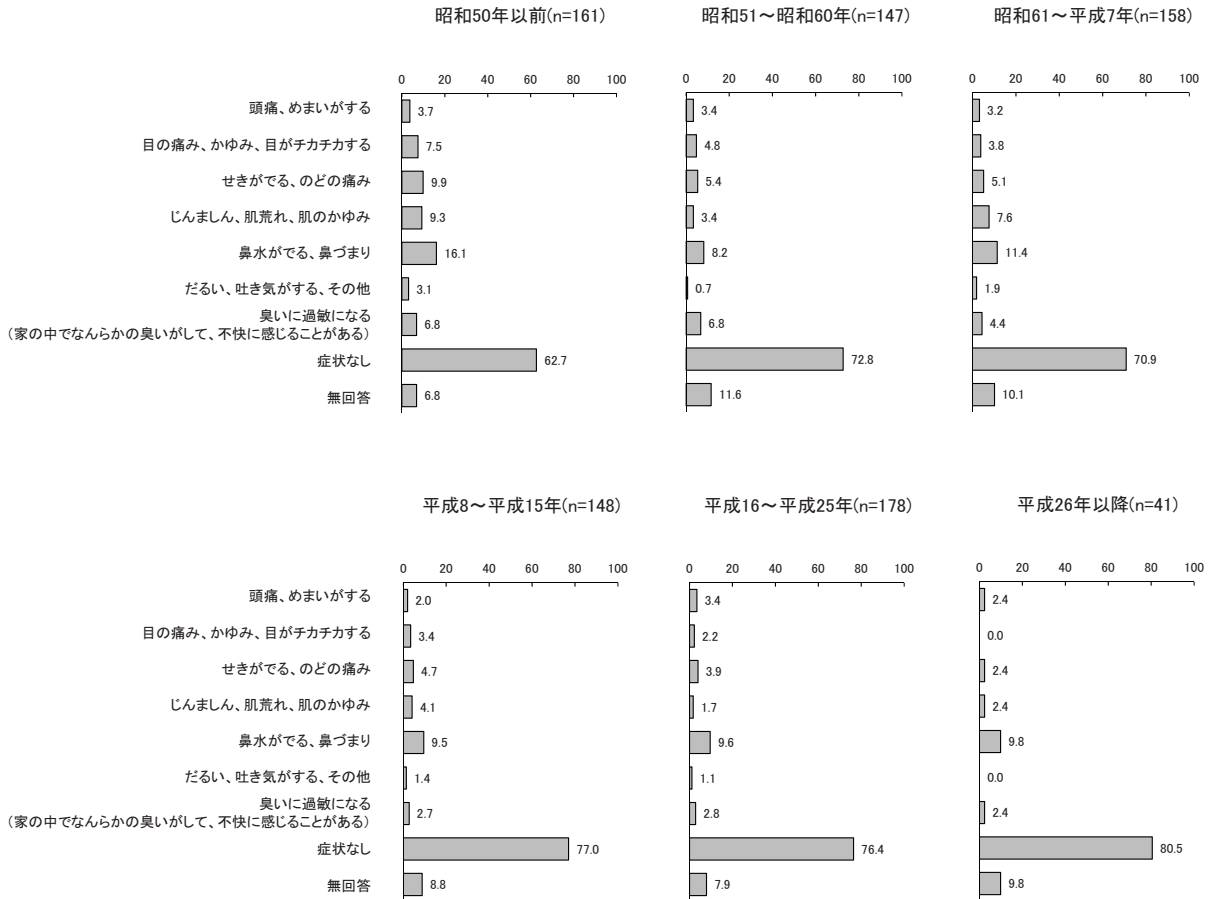
<問4 2 × 問2 住宅内での体調の不調について 住居別> (複数回答)

○住居別で見ると、「症状なし」は、一戸建てでは75.0%であったのに対し、集合住宅では64.7%であった。



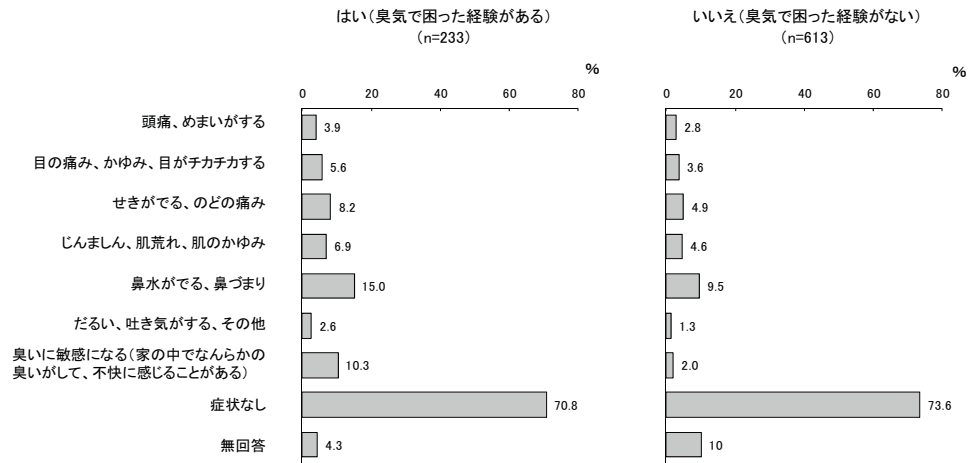
＜問4 2 × 問3 住宅内での体調の不調について 建築年別＞（複数回答）

○住宅内での体調の不調について建築年別にみると、「症状なし」は、昭和50年以前では62.7%であったのに対し、平成26年以降では80.5%であった。



<問4 2 × 問4 6 住宅内での体調の不調について 臭気の有無別> (複数回答)

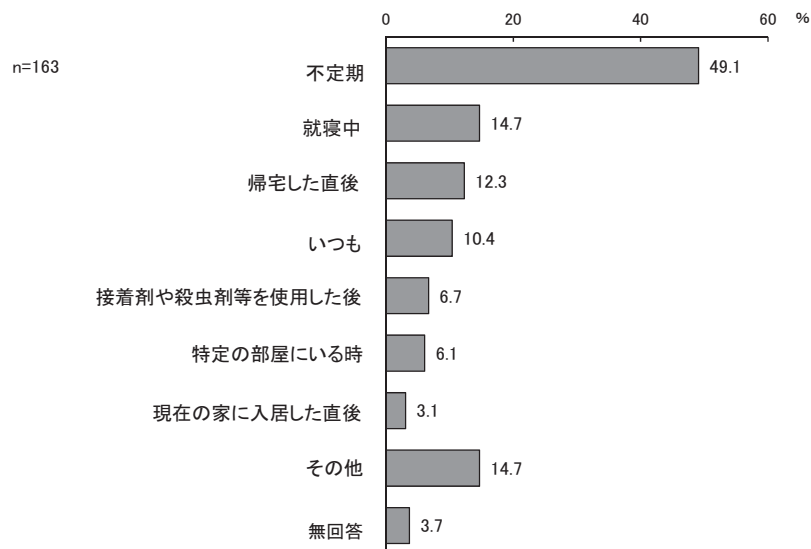
○住宅内での体調の不調について、「臭いに過敏になる」と回答した人は、臭気で困った経験がある人では10.3%であるのに対して、臭気で困った経験がない人では2.0%となっている。



<問4 2-1 住宅内での体調の不調になる時期について> (複数回答)

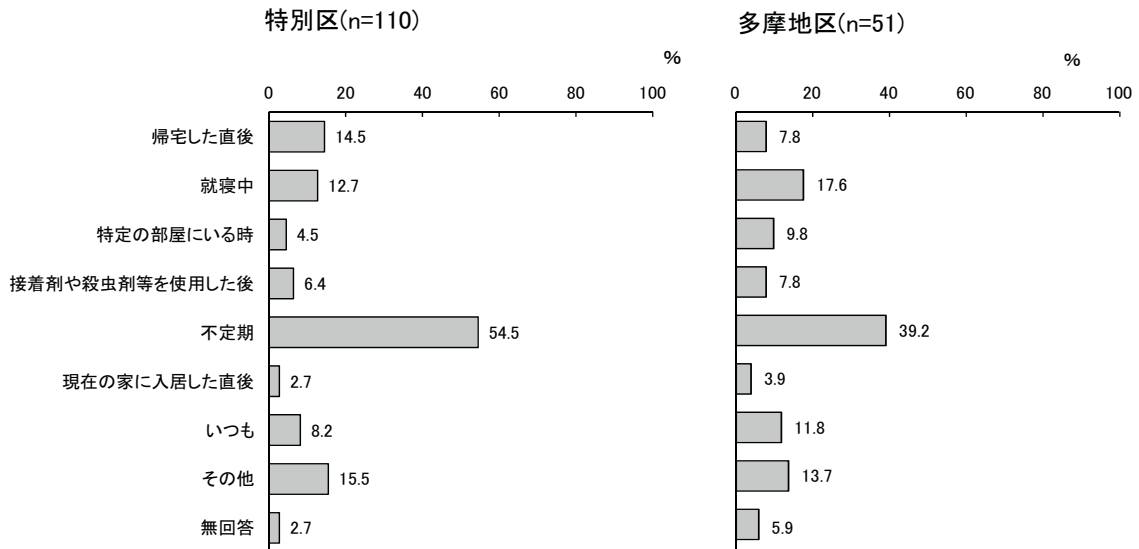
これらの症状はどのような時に発症するか(発症したか)。

○問4 2で「症状がある」と回答した人に、住宅内での体調の不調になる時期について尋ねたところ、「不定期」が49.1%で最も高く、次いで、「就寝中」が14.7%、「帰宅した直後」が12.3%であった。



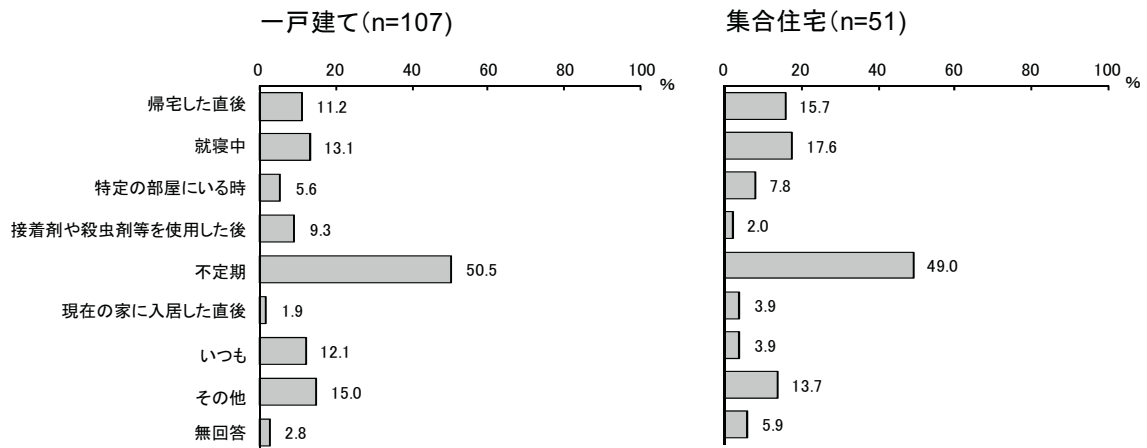
＜問4 2-1 × 問1 住宅内での体調の不調になる時期について 所在地別＞（複数回答）

○住宅内での体調の不調になる時期について所在地別にみると、特別区では「不定期」と回答した人が54.5%であるのに対して、多摩地区では39.2%であった。



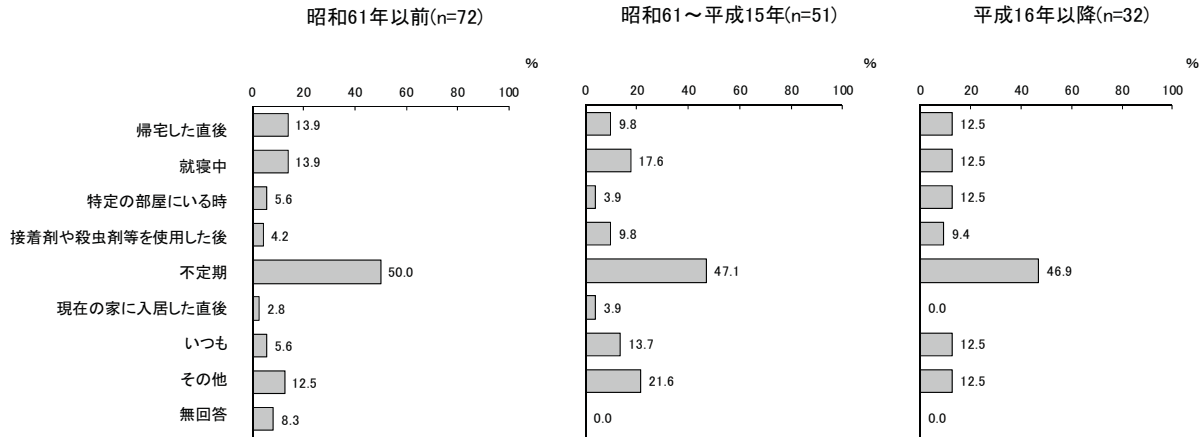
＜問4 2-1 × 問2 住宅内での体調の不調になる時期について 住居別＞（複数回答）

○住居別でみると、「いつも」と回答した人は、一戸建てでは12.1%であるのに対し、集合住宅では3.9%であった。



＜問4 2-1×問3 住宅内での体調の不調になる時期について 建築年度別＞（複数回答）

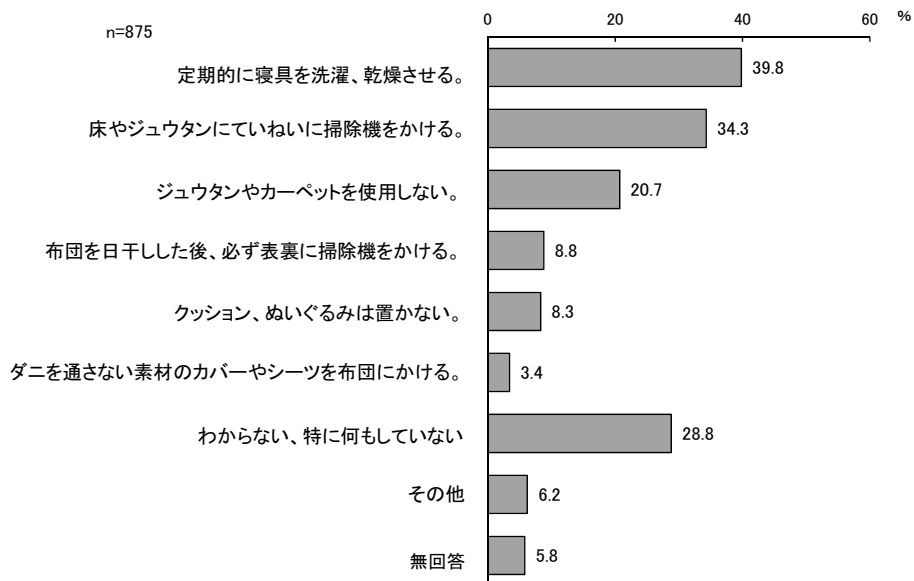
○住宅内での体調の不調になる時期について建築年度別にみると、「不定期」と回答した人は、昭和61年以前では50.0%、昭和61年～平成15年では47.1%、平成16年以降では46.9%であった。



＜問4 3 ダニ対策について＞（複数回答）

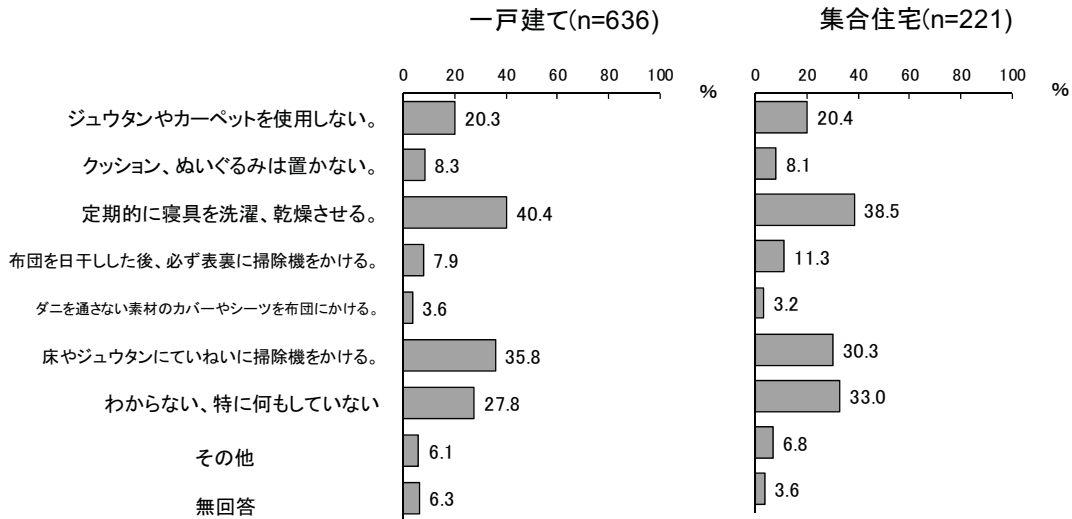
ダニは、ぜんそく等のアレルギー疾患の原因となることがありますが、ダニ対策のために意識して実行していることがありますか。

○ダニ対策について尋ねたところ、「定期的に寝具を洗濯、乾燥させる。」が39.8%で最も高く、次いで、「床やジュウタンにていねいに掃除機をかける。」が34.3%、「ジュウタンやカーペットを使用しない。」が20.7%であった。



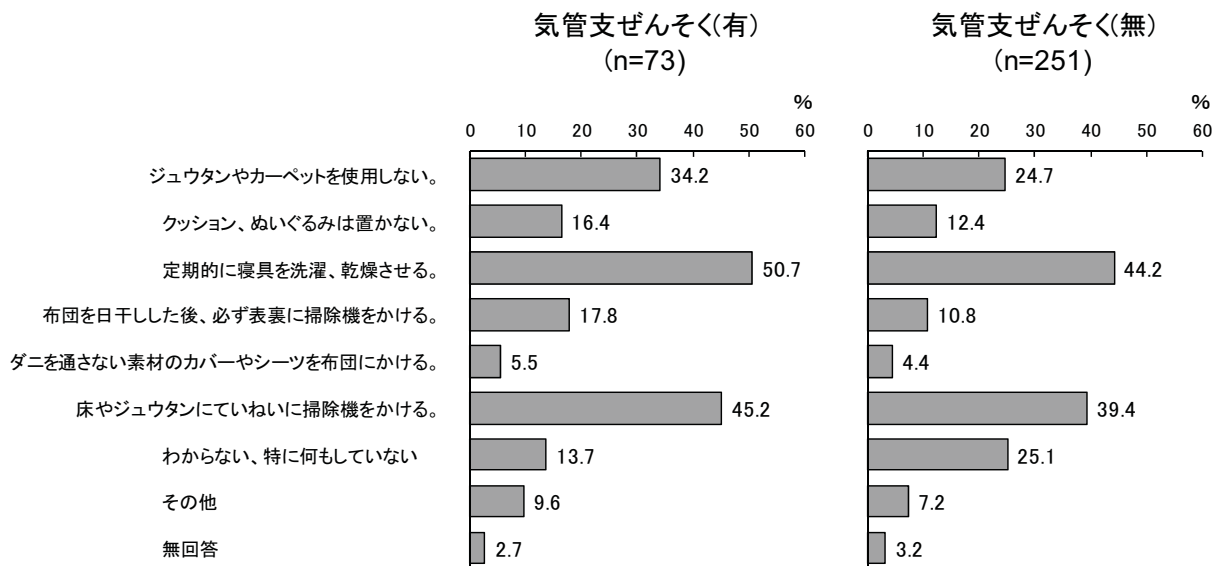
<問43×問2 ダニ対策について 住居別> (複数回答)

○住居別でみると、「床やジュウタンにていねいに掃除機をかける」「布団を日干しした後、必ず表裏に掃除機をかける」は、一戸建てではそれぞれ35.8%、7.9%であるのに対し、集合住宅では30.3%、11.3%であった。



<問43×問40-1 ダニ対策について 気管支ぜんそくの有無別> (複数回答)

○ダニ対策について気管支ぜんそくの有無別にみると、「ジュウタンやカーペットを使用しない」「布団を日干しした後、必ず表裏に掃除機をかける」は、「気管支ぜんそく(有)」では、それぞれ34.2%、17.8%であるのに対し、「気管支ぜんそく(無)」では、24.7%、10.8%であった。

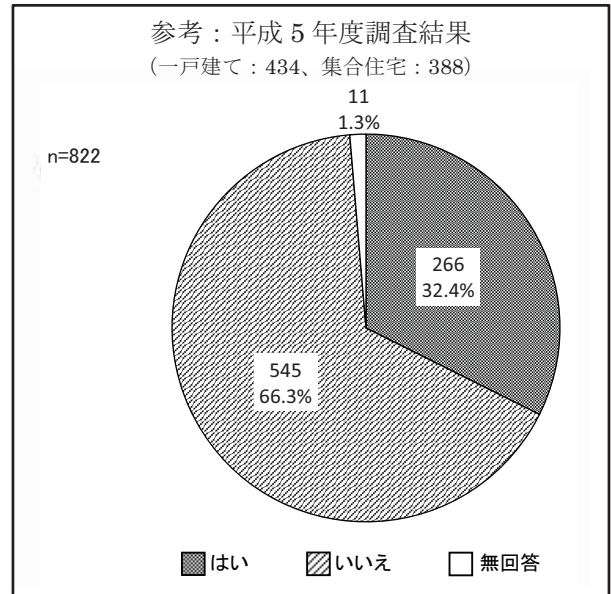
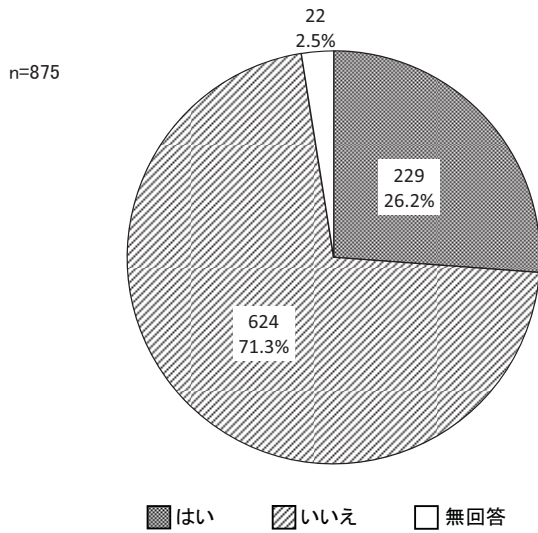


【(G) ペット（動物）について】

<問4 4 過去3年間のペットの飼育状況>

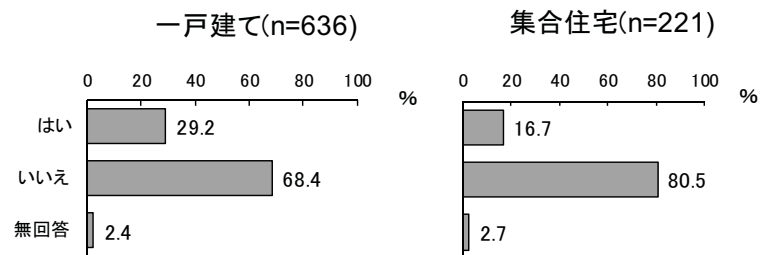
過去3年間に、ペット（動物）を飼っていましたか。

○過去3年間のペットの飼育状況について尋ねたところ、「はい」と回答した人が26.2%、「いいえ」が71.3%であった。



<問4 4 ×問2 過去3年間のペットの飼育状況 住居別>

○住居別で見ると、「はい」と回答した人は、一戸建てでは29.2%であるのに対し、集合住宅では16.7%であった。

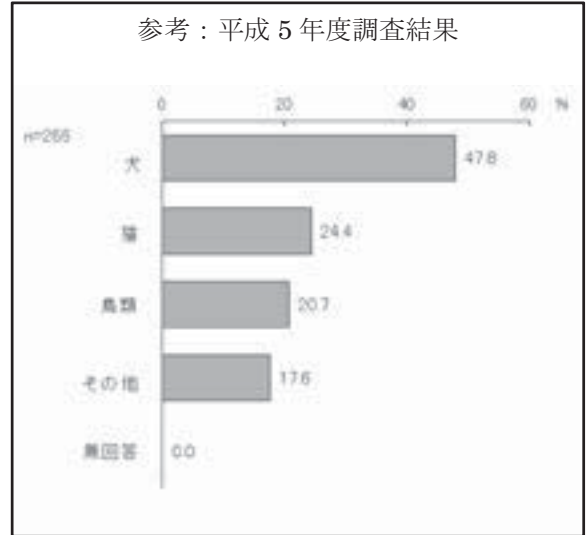
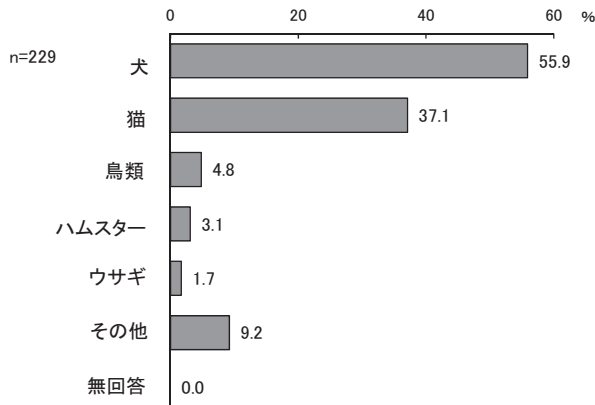


<問44-1 ペットの種類> (複数回答)

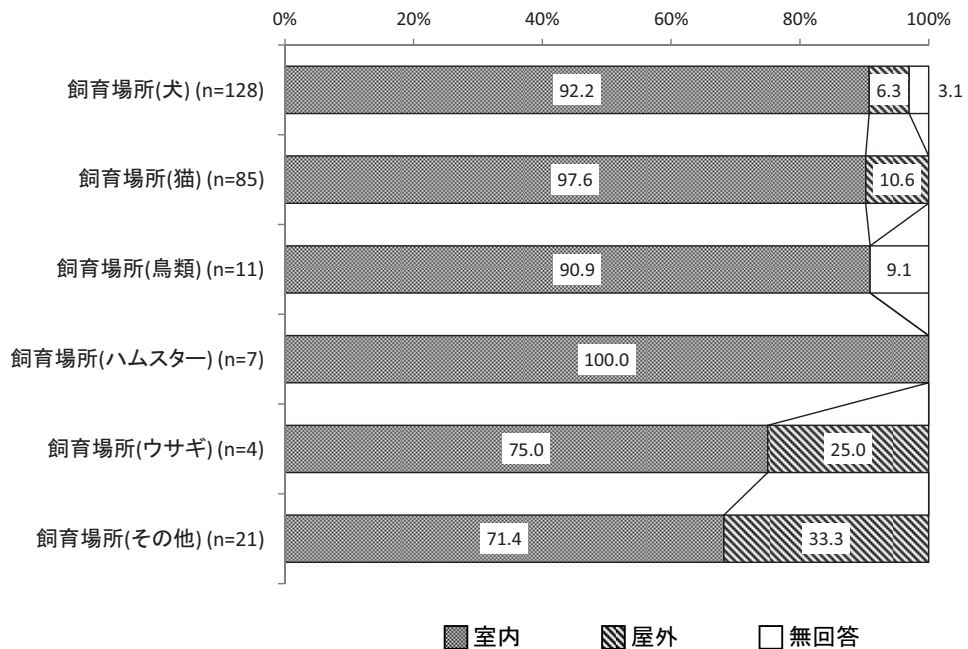
ペット(動物)の種類と飼育場所をお答えください。

○問44で「はい」と回答した人にペットの種類について尋ねたところ、「犬」が55.9%で最も高く、次いで、「猫」が37.1%であった。

【ペットの種類】(複数回答)

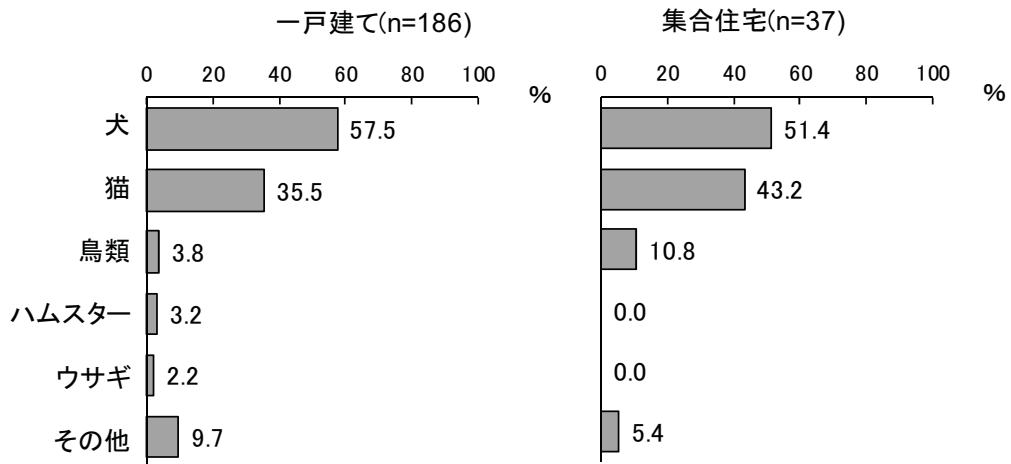


【ペットの飼育場所】(複数回答)



<問4-1×問2 ペットの種類 住居別> (複数回答)

○住居別でみると、「犬」「猫」は一戸建てでは、それぞれ57.5%、35.5%であるのに対し、集合住宅では51.4%、43.2%であった。

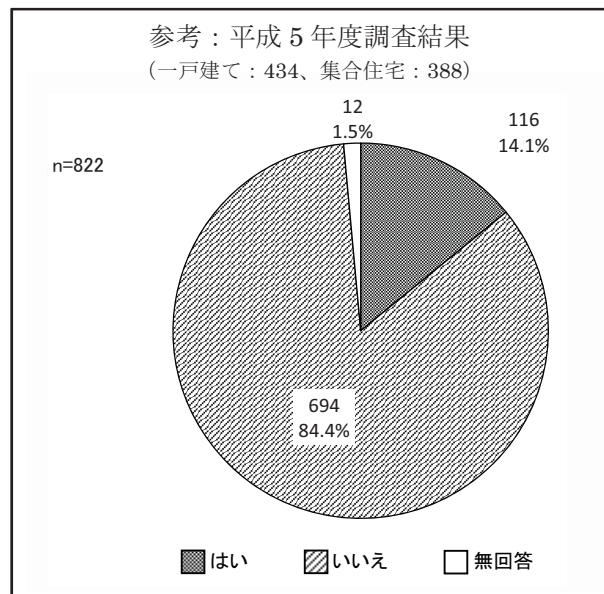
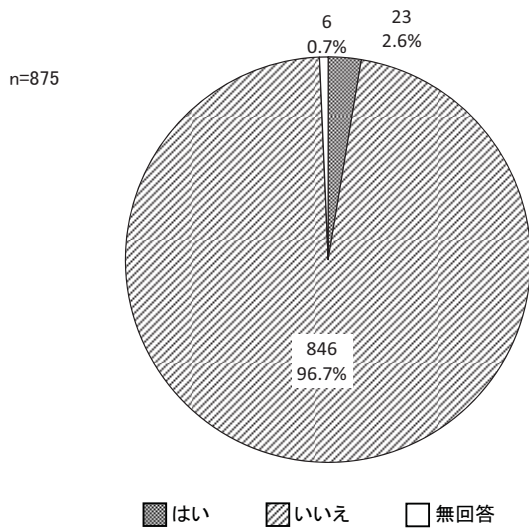


【(H) 給水や臭気、居住環境等について】

<問4-5 過去3年間の赤水の有無>

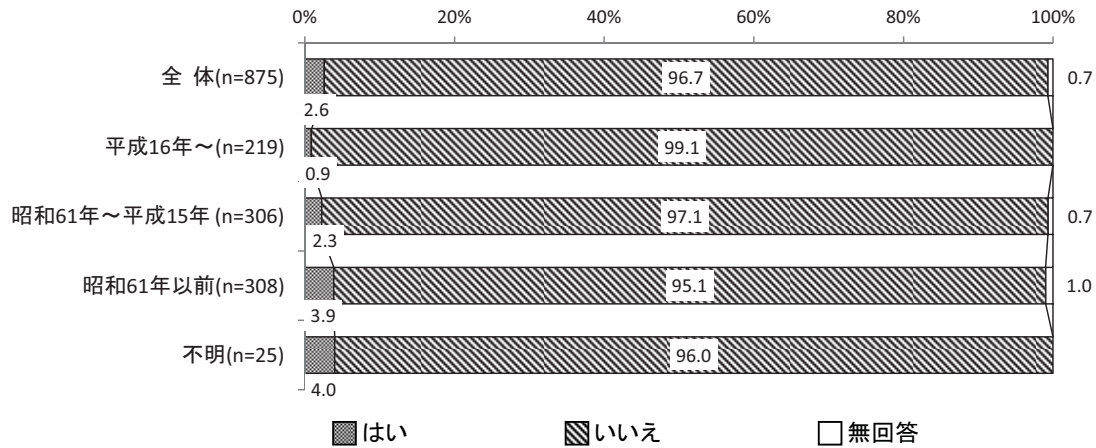
過去3年間に、蛇口から赤水が出たことがありますか。

○過去3年間の赤水の有無について尋ねたところ、「はい」と回答した人が2.6%、「いいえ」が96.7%であった。



<問45×問3 過去3年間の赤水の有無 建築年別>

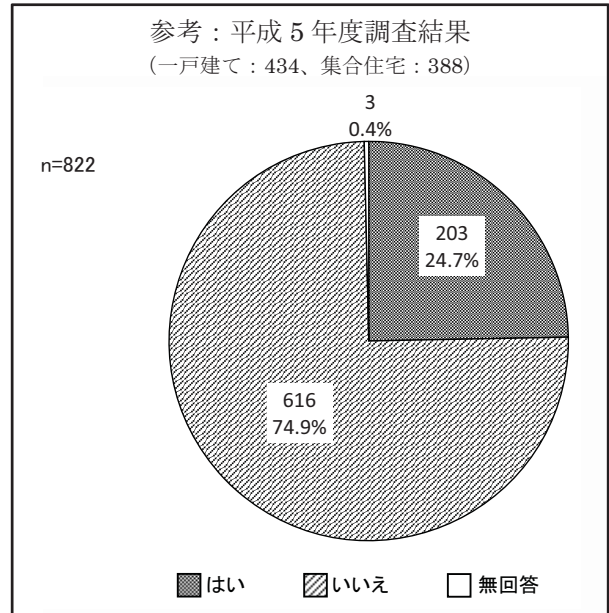
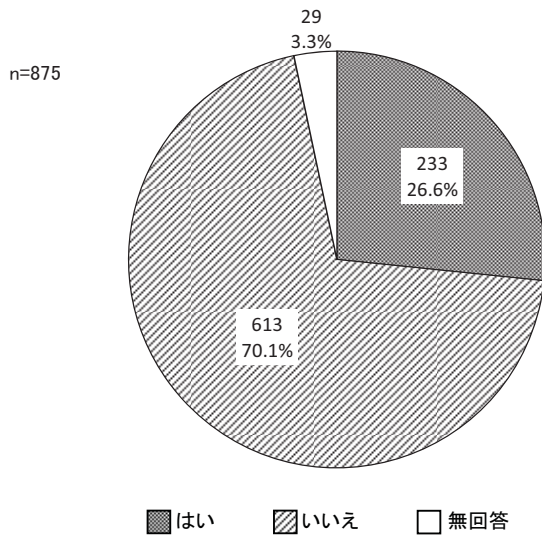
○建築年別にみると、「はい」(赤水有)は、昭和61年以前では3.9%、昭和61年～平成15年では2.3%、平成16年以降では0.9%であった。



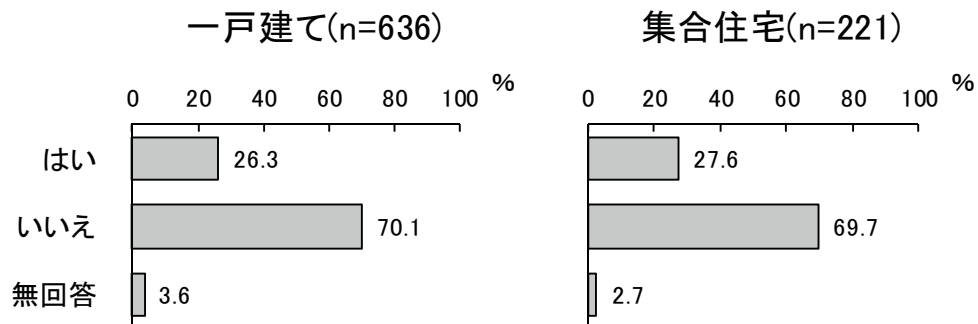
<問46 過去3年間の不快な臭気で困った経験の有無>

過去3年間に、ご自身又はご家族が部屋の中や外からの不快な臭気で困った経験がありますか。

○過去3年間の不快な臭気で困った経験の有無について尋ねたところ、「はい」と回答した人が26.6%、「いいえ」が70.1%であった。



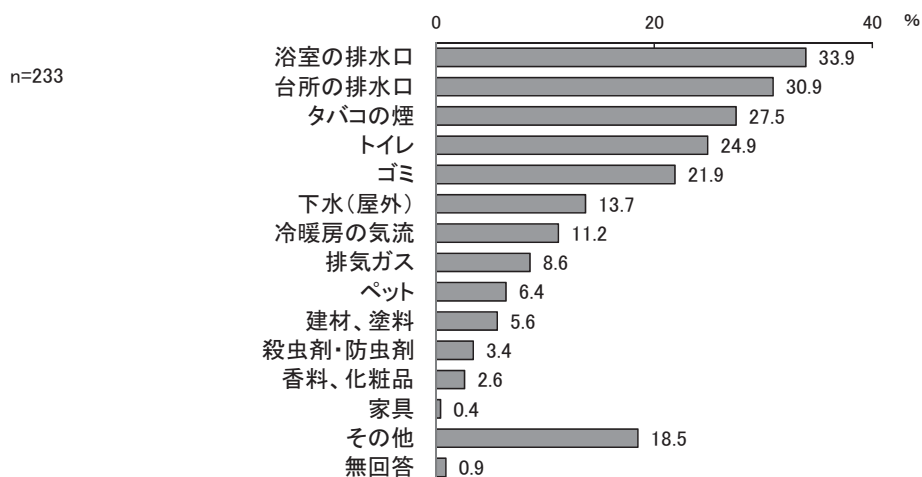
<問46×問2 過去3年間の不快な臭気での困った経験の有無 住居別>



<問46-1 臭気を感じる対象> (複数回答)

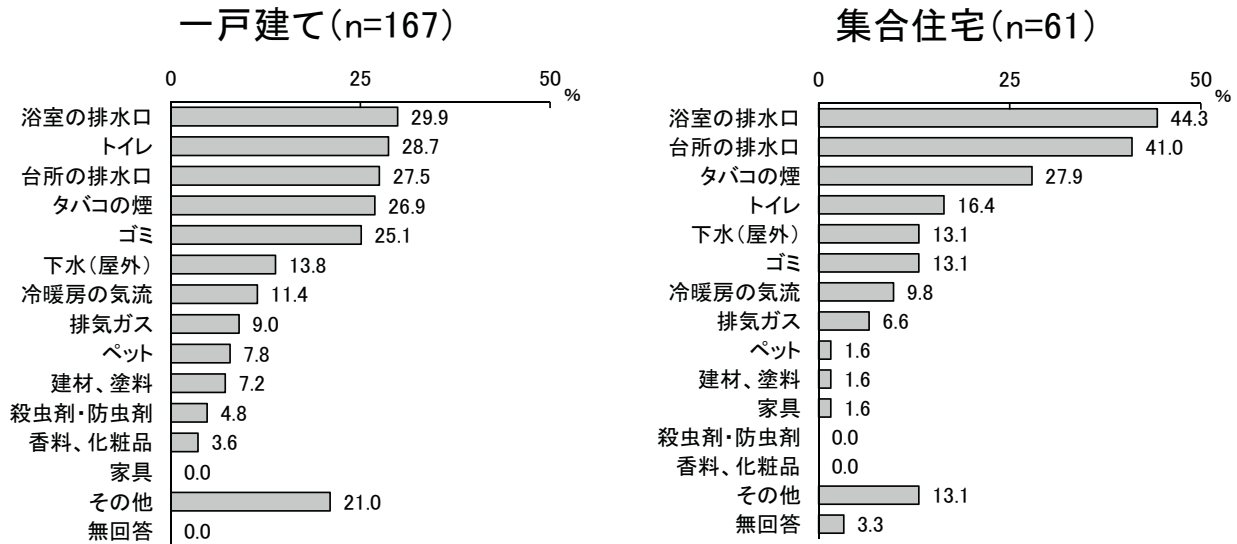
臭気を感じる具体的な対象は何ですか。

○問46で「はい」と回答した人に、臭気を感じる対象について尋ねたところ、「浴室の排水口」が33.9%で最も高く、次いで、「台所の排水口」が30.9%、「タバコの煙」が27.5%であった。



<問46-1×問2 臭気を感じる対象 住居別> (複数回答)

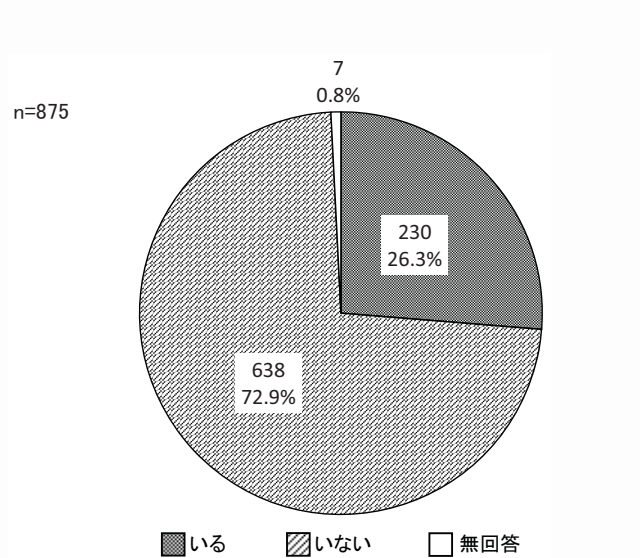
○住居別で見ると、「浴室の排水口」「トイレ」は、一戸建てではそれぞれ29.9%、28.7%であるのに対し、集合住宅では44.3%、16.4%であった。



<問47 住宅内での喫煙者の有無>

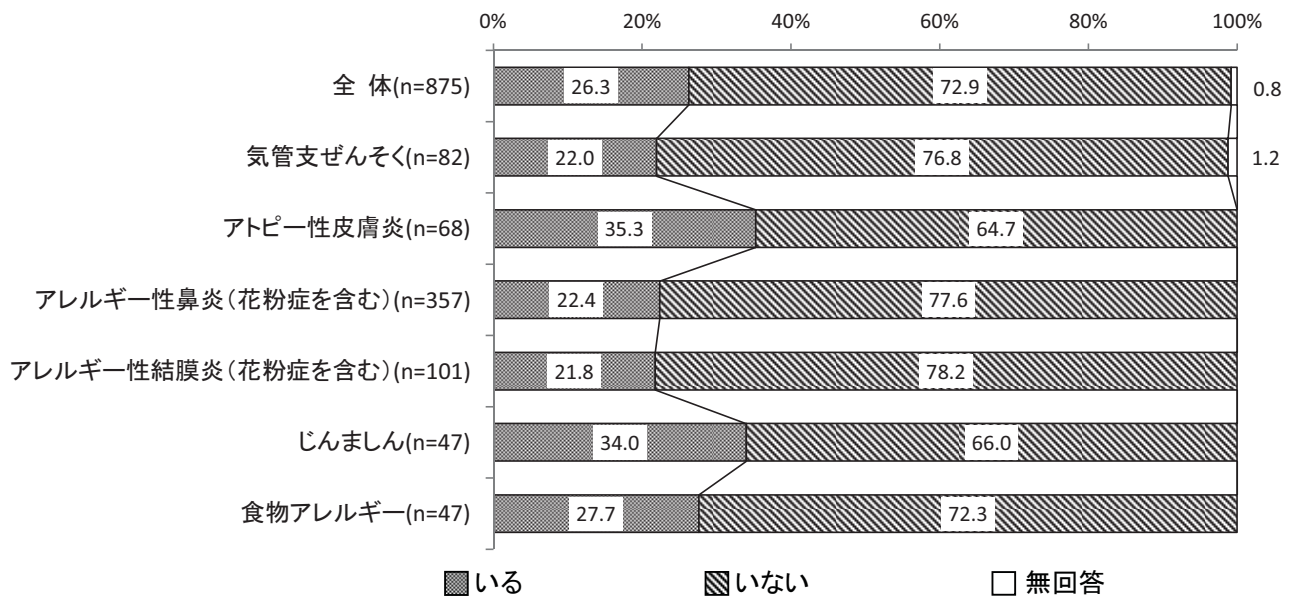
住宅内(自宅のベランダを含む)で喫煙する方はいますか。

○住宅内での喫煙者の有無について尋ねたところ、「いない」が72.9%、「いる」が26.3%であった。



<問47×問40-1 住宅内での喫煙者の有無 世帯当たりのアレルギー疾患有無別>

○世帯当たりのアレルギー疾患有無別で見ると、「いる」(喫煙者有)は、「全体」では26.3%であったのに対し、「アトピー性皮膚炎」では35.3%、「じんましん」では34.0%であった。



<問49 室内環境対策の要望> (複数回答)

室内環境対策として、要望することを次の中から選んでください。

○室内環境対策の要望について尋ねたところ、要望がある人のうちでは、「住まいの衛生に関するパンフレットの配布」が19.1%で最も高く、次いで、「室内アレルギー(ダニ、カビ等)の現場調査と改善策の助言」が11.5%、「ねずみ及び害虫被害の現場調査と駆除相談」が11.2%であった。

